京城日報

二月四日夕刊 (朝夕併せて八頁)

本紙定價 一箇月金七十五錢 ▲前金三箇月金二圓十錢 ▲六箇月金四圓廿錢 ▲壹箇年金八圓 ▲郵券代用二割増
廣告料金 五號活字一行一圓五十錢 ▲二號活字一行二圓 ▲三號活字一行二圓五十錢 ▲四號活字一行一圓八十錢 ▲六號活字一行七十錢 ▲九號活字一行一圓五十錢

發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介

京城太平通一丁目 發行所 合資會社京城日報社
電話番號 編輯用三六一番三六二番 營業用三六四番三六五番 振替京城三〇〇番

第四十一回帝國議會

貴族院豫算總會 (三日)

劈頭國際聯盟問題に花を咲かす

午前十時半開會

▲高橋作衛氏 起立國際聯盟は既に成立せるや其成否如何に依り南洋諸島の領有が國際管理に決する譯なり、南洋諸島の領有は英佛の承諾を得たりと聞けるが若し聯盟の管理に置くとせば日英同盟の効果如何又太平洋平和維持は列國の共同責任なり然るに國際管理の下に置くは太平洋の平和維持を聯盟に提供する事とならずや如何

▲原首相 聯盟は目下巴里に於て會議中にて詳細の辯を爲す能はず又占領諸島管理問題も那邊に決定せらる可きや未定なり、世間に傳へらるゝ聯盟には誤謬あり植民地委任管理と云ふも聯盟其者が直轄するに非ずと明答す次に

▲江木翼氏 追加豫算第一次の編成先例に反す又戰時利得税を豫算より三倍も增徴せりと聞く果して然らば政府の見込違ひに非ざるかと難詰す

▲西野政府委員 第一次編成形式は從來と雖も之と同樣のものあり、戰時利得税增收は所得税の全三箇年間の見込額を標準とし計算したる爲めにて見込違ひに非ず

▲柳澤保惠伯 軍需局は存置するの意ありや所見如何

▲原首相 當分存置し設置の目的を達する筈なり次に阪本彰之助氏臨時軍事費の内容に就き質す所あり之に對し政府より明細書を提出する事とし夫より河村讓三郎氏戰時敵國より受けたる個人の損害賠償に就き政府の所見を質す

▲中西遞信次官 船舶貨物の損害は之を計算して全權委員に交附しあるも如何なる形式の下に表はるゝか尚明答し難しと答へ阪本氏との間に工業所有權に關し二三質問あり終つて追加豫算は分科會に附す可きや否やを採決し結局之を分科會に附せざる事に決し散會す(東京特電延著)

貴族院本會議 (三日)

大雪の爲めか議場頗る寂寥外交官席に伊國西飛行將校二名傍聽せるを見る、軈て議員の定數に達するを俟ちて開會、諸般報告の後日程に入り、本田男外二名請暇の件を許可し

大正七年度歳入出總豫算追加案臨時軍事費追加案審査期限を定むるの件に就き原首相登壇、藏相より說明すべき筈なれど藏相次官病氣の爲め出席する能はず餘儀なく政府委員をして說明せしむと述べ次いで西野政府委員兩豫算に對し詳細なる說明を爲し淺田德則氏より只今より日程に上りし追加豫算審査期限は日限を定めず審査結了次第報告せんとの發議あり滿場同意し同十時過ぎ散會(東京特電延著)

衆議院分科會 (三日)

之が方針の主張に努む

▼第一分科會 (外務省所管)

午前十時四十分開會押川方義氏(無所屬)の質問に對し幣原外務次官日支兩國は特殊關係あれど這は日本が支那を壓迫する意味に非ず特殊關係あるが故に日本が主動的地位に立ち南北妥協を勸告せるなり人種差別問題に就きては明言する能はずと答へ次に鈴木富士彌氏(政友)に對し講和會議內容に就ては機を見て一括發表すべし新聞紙の傳ふる處は揣摩臆測多しと述べ引續き望月小太郎氏(憲政)に對し日本委員は講和會議に際し服從するが如き事無く一定の方針の下に會議に臨み之が方針の主張に努めつゝありと辯じ終つて柏原文太郎氏(國民)より鳳凰山借款、日支通商貿易等に就き質問あり之にて外務所管の質問を了し正午過休憩(東京特電延著)

▼第二分科會 (內務省所管)

午前十時二十分開會、高木正年氏(憲政)の質問に對し床次內相勞働組合は現行法にても組織不可能に非ず我國にては勞働組合を積極的に公認する必要無かる可し但し健全なる發達を爲さしむるは可なりと答へ尚磯部尚氏(政友)の質問に對し郡制改正の要はあらんも今期議會に提出の意無しと辯じ夫より佐々木正藏(憲政)松岡勝太郎(憲政)兩氏より地方費輕減其他に就き質問あり內相之に答へ正午休憩(東京特電延著)

▼第三分科會 (大藏省所管)

午前十時三十分開會、大正元年以降八年度に至る歳入豫定及考査額其他の提出あり午前中は各委員之が調査を爲す事とし休憩(東京特電延著)

▼第四分科會 (陸軍省所管)

午前十時十五分開會、高木益太郎(國民)武藤金吉(政友)山田珠一(憲政)高木正年(憲政)清水市太郎(政友)諸氏の質問あり之に對し山梨陸軍次官陸軍の現在不要地は四百零四萬坪價格三百八十餘萬圓軍馬補充に就ては蒙古馬に着目し尚朝鮮馬に就きても調査中なり熊本城の櫓は歷史的遺物として保存したく來年度豫算に經費を計上し度し、飛行機の一隊と云ふは二十機一時半再開、高木益太郎氏(國民)馬匹補充策として競馬奬勵如何と云ふ淺川馬政局長馬券に就ては考慮中なりと述ぶ柏原文太郎氏(國民)產馬奬勵の爲め相當價格にて買上ては如何淺川長官米價騰貴と產馬とは正比例せり昨今米價騰貴し居るを以て產馬數增加す可し柏原氏豫後備將校を小學校教官として採用するは至當なり其資格如何山梨陸軍次官資格を與ふべく昨今考慮中なり高木正年氏農繁時には二年兵にも休暇を與へては如何山梨次官歸休兵增加に就ては考慮中なり小田切磐太郎氏(政友)一年志願兵經費自辨の趣旨如何山梨次官全部官給とするは將校養成の趣旨に添ふ所以に非ず小田切氏兵役と犯罪に就て問ふ山梨次官輕微なる犯罪者は導くに法を以てすれば善化し得るを以て六年以上と以下にて重輕罪者を分てりと答へ尚高木正年氏と山梨次官との間に問答あり午後三時廿分散會(東京特電延著)

▼第五分科會 (農商務省所管)

午前十時三十分開會、磯部尚氏(政友)の質問に對し山本農相今日迄外米輸入意の如くならざるは各產地に於ける輸出禁止又は制限の爲めなり又豆類澱粉輸出禁止は鑑定中にて大麥小麥粉類關稅撤廢は近く議會に提出の筈なり尚西貢米は日本に對し輸出を便にすべく回答あり支那米輸入の前途も有望なり雜穀關稅撤廢は近く提案すべく大麥小麥は勅令を以て米の關稅撤廢期たる十月三十一日迄に撤廢し小麥粉は同期迄相當減率を爲す筈なりと答へ尚ほ武藤金吉氏(政友)の質問に對し小麥粉關稅減率は一割なりと答へ更に磯部尚氏の製鐵問題に對する質問に對し原鐵を安價に且つ豐富に供給せんが爲め目下考慮中なり又米國の投げ賣りに對しては未だ成案を得ず尚ほ斯業の資本を合併し分業的に經營せしむるを得策とす、石炭の騰貴は經濟界の順調に歸するに從ひ低落すべく水力電氣を奬勵するも一方法なり又撫順炭の採掘を增加し內地に供給するは不可能なりと答辯し正午休憩に入る(東京特電延著)

▼第六分科會 (遞信省所管)

午前十時四十分開會、正木照藏氏(憲政)の質問に對し野田遞相造船業は戰後衰微の兆あるも尚ほ戰前の如くにて方法を講ずべく今直ちに補助奬勵を爲すの意無し其他正木、川口兩氏の質問に對し野田遞相並に中川政府委員より電話遲滯するも電話の普及發達より見れば自動交換機を使用する意無き事、米國とは國情異なる故電話を民間經營たらしむるは困難なる事郵便物停滯に就ては三等郵便局の給與を增加し改善に努めつゝある事を述べ正午休憩す(東京特電延著)

◇佛紙のウ氏攻撃

大戰の意義を疑ふ 日英佛の不滿足

獨領植民地問題は三十日開會の會議に於て大體五大國の意見一致したるも濠洲、南阿、新西蘭其他に於て此解決案を好まざる委員あり未だ確定に至らざるもの、如くウイルソン案の國際管理は統治委任國は軍事設備及び稅關を許さず又市場の獨占を許さず舊獨逸植民地は一切開放すべしとなすものにて統治委任を受けたる國は何等利する所無くされば英領印度日英佛等がウイルソン案に不滿足なるは當然にして佛國新聞の如きは遠慮會釋なくウイルソン氏を攻撃し『戰爭は何の爲めに行はれたるや獨逸に利用せらるゝ爲めに非ず』と極論せり(巴里特電)

◇土耳其領土管理問題

=講和會議公報=

三十日講和會議公報=五大國委員は引續き太平洋、阿弗利加に於ける獨逸植民地問題に就き意見を交換しつゝあるが當日は英國自治領代表者、佛植民大臣サルバゴ、ラッグ公等參列し既報の如く滿足なる假協定成立せり午後の會議には白耳義委員オルツ氏も出席しコンゴーに關する白耳義の見解を說明せり尚ほ講和會議は土耳其領土管理に關し講和會議決定迄土耳其秩序維持の爲め全聯合國軍事代表者は即時會同し派遣すべき軍隊の負擔を最も均等に最も經濟的に聯合國に分つ方法に就き報告を求むるに決せり(巴里電報)

◇ウ氏提議と英紙

ウイルソン氏は舊獨逸諸島に對し國際管理を提議したりとの事なるが倫敦デーリーメール紙は該提議を太平洋に於ける獨逸諸島に對する日米間の妥協なりと解釋せり(巴里特約員發電)

◇膠州灣還附要求

支那全權委員は一千九百十五年五月の協約を無視し膠州灣を直接獨逸より還附されんことを要求せり(巴里特約員發電)

◇常備軍募集通過

米國は明年度に於て差當り五十萬の常備軍を募集するの案を一月三十一日全員一致を以て下院委員會を通過せり。同案は二十五萬の二年服役志願者及び二十五萬の一年志願兵を以て二十箇師團の陸軍を編成せんとするにあり(華盛頓電報)

◇チ軍シンシア占領

チェック軍は歐露東部のシンシアを占領せり(倫敦電報)

◇露都に暴動起る

ペトログラードに暴動起り六萬の職工加擔し形勢益險惡を呈しつゝあり(倫敦電報)

◇過激主義東洋宣傳

朝鮮方面へも入込むべしとの說あり

過激派主義東洋方面宣傳者バクチメエフは西伯利、支那方面主任として一箇月前支那に入り目下露東に在り又ブラヴィンフも支那に在りて同主義の宣傳に努めつゝあるが尚ほ朝鮮方面へも入込むべしとの說あり(東京特電)

◇日本兵駐屯希望

一部引上に依り再び不穩の兆候

我軍の一部引上げに依り各地方再び不穩の兆候あり黑龍州代官は當地代官に向け日本兵の成るべく黑龍州に留まらんことを請願せられ度しと電照し來れり(浦鹽電報)

◇外調會開會

臨時外交調査會は三日午後一時首相官邸に開會當日外相缺席の爲め幣原次官代りて出席講和會議の經過を報告するが聞く所に據れば獨逸植民地處分問題に關する電報に接したるを以て三日急遽開きたるなりと(東京特電)

◎定例長官會議

四日午前十時より總督第一會議室に定例長官會議を開き谷川總督山縣政務總監以下各部長官局長並に諸官署長參集要務に就き協議する所ありたり

◇友愛關西大會

友愛會關西支部にては二日午後六時より神戸青年會館に學生勞働者聯合大演說大會を開きたるが折柄の降雪にも拘らず男女勞働者の來會する者一千五百名中に數名の婦人ありしは殊に異彩を放ちたり先づ久留友愛會主事の開會の辭に次いで學生勞働者交々起ちて川上久雄博士の出題に係る勞働組合公認の必要に就き各意見を述べ九時散會せり(神戸特電延著)

◇辭令

三日左の如く辭令あり(東京特電)

遞信技師 池田武智

朝鮮に出張を命ず

◎在鮮銀行現況

朝鮮內に於ける本支店銀行數に付其の筋の調査を聞くに特種銀行本店二その他本店數五十六普通銀行本店十五、支店四十四なるがその內譯左の如し

▲朝鮮銀行(本店京城)支店一〇 ▲朝鮮殖產銀行(本店京城)支店四十六 ▲十八銀行支店九 ▲第一銀行支店二 ▲百三十銀行支店四 ▲漢城銀行(本店京城)支店八 ▲韓一銀行(本店京城)支店四 ▲朝鮮商銀(本店京城)支店七 ▲京城銀行(本店京城)支店一 ▲密陽銀行(本店密陽) ▲鮮南銀行(本店大邱) ▲七星銀行(本店元山) ▲慶南銀行(本店釜山)支店三 ▲釜山商業銀行(本店釜山)支店三 ▲大邱銀行(本店大邱)支店二 ▲湖西銀行(本店禮山)支店一 ▲三和銀行(本店鎭南浦) ▲新義州銀行(本店新義州) ▲東萊銀行(本店東萊) ▲北鮮商業銀行(本店咸興)

◎醫藥輸出取締

醫藥品輸出取締に關する制令は五日の官報を以て公布即日施行さるべきが右は本文二條より成り大正三年總督府令第百二十八號戰時中に於ける特種醫藥品の輸出取締に關する件は廢止し醫藥品輸出取締を圖る目的を以て內地と步調を一にしたるものなるも休戰後尚其必要を除く外殆んど其必要を認めざるに至りたるを以て該令は之を廢止す但し『モルヒネ』其他數種の醫藥品は今後に於ても尚需給の關係上當分輸出制限を持續する必要あり大正七年十二月內務省令第二十三號の維持上朝鮮も同樣の法規を設け取締の統一を期する必要あるに因るものなり

◎資金集散豫想

二月中朝鮮に於ける資金集散の概況に付朝鮮銀行の調査を聞くに收納は地稅及び酒稅の徵收期にてその額五百萬圓を超ゆ散出は鮮銀外三十餘社の利益配當あり旁緊縮化の豫想にて內容左の如し

▲收納

地稅及酒稅	五、八九八、六〇八圓
關稅水產外八種雜稅	三一五、〇〇〇
計	六、二一三、六〇八
一月以降累計	六、五二三、三三五

▲散出

鮮銀外廿社配當	九七九、六八三圓
勸業債券利拂	一、六四〇
計	九八一、三二四
一月以降累計	一、〇〇一、六四一

◎私營造林成績

大正七年中朝鮮に於ける私營造林事業は面積三萬五千三百八十町步植付本數一億五百五十萬本に達し明治四十三年以降の累計は面積十五萬四千三百町步此の植付本數四億六千六百五萬本に達する由

◎日伊航路計畫

伊國政府の準備

伊國政府の御用船ローマ號は浦鹽より歸航の途橫濱港に數日間滯在し本邦の貨物を滿載して廿三日伊太利ネープルスに向け出帆せるが其出帆の際見送り旁橫濱に赴きたる本邦駐劄伊太利大使及び同商務官の語る所に據れば從來伊太利には日本との定期航路なく又ローマ號が橫濱に入港せるは今回を以て嚆矢とする次第なるが戰前日伊間の貿易品は多く歐洲經路の日本船又は東洋航路の英國汽船等に依り輸送せられ居れり併し乍ら伊太利は羊毛其他の雜貨品を日本に出し日本は生絲及び其他諸種の輸入品を伊國に輸出し居りて戰時中は多大の日本品を輸入し居れり戰後も引續き日伊兩國の貿易は尚ほ一層旺盛の域に進む可きを信じて疑はずされば兩國の貿易を益々助長發展せしむる爲め日伊間定期航路を開始するの必要を政府當局に於て認め七八千噸級の貨客船數隻を配してネープルス及び橫濱間を往復せしむべく着々計畫を進捗しつゝあれば愈々該計畫にして遂行せらるゝに於ては日伊兩國間の貿易狀勢益々活況を呈すべきは勿論兩國々民の交情も漸次親密を加ふべしと(東京)

◎仁川期米奔騰

一月二十日前場の仁川期米は大阪高報に各限ともに奔騰し先限は三十七圓八十四錢寄付高值三十八圓二十錢を現はし一時賣物に幾分下押したるも三十八圓十一錢と打止めたり

◎銀行券小縮

一月二十六日より二月一日に至る一週間の銀行券發行平均高は一億零六百七十一萬圓にして週末の發行高は一億四百九十萬圓に縮少したり尚ほ二月は滿洲大豆の出廻り期なれども鐵道輸送力不足のため滯貨少なからざる如く荷動きも活潑を缺けるやにて銀行券の伸力も滿洲に於ては前程の力なし

◎東拓移民渡來

東拓にて昨年內地に募集せし移民は二月一日より三月末日までに渡鮮する事となりしに付會社にては一月末移民課員を釜山に派出しその案內事務を掌らしむる事となりたり尚ほ移民の渡來は二月末より三月に入りて多かるべし

◎朝鮮運輸聯合會

朝鮮運輸聯合會の第十二期大會は三日午後二時より花月に開會七年度の決算承認八年の豫算を審議決定(八年豫算は歲入出略八千餘圓)役員の改選をなししが會長は引續き龍山大和組次郎氏重任し副會長は仁川の川井田藤三氏就任理事六名を選任更に正副會長理事の會議に於て評議員二十名を選任する事となり午後六時より開宴十時過ぎ散宴せしが出席者は全鮮の會員約百名に及び宴會には谷府尹松崎郵便局長等も列席し盛會なりき

◎學校組合會流會

京城學校組合にては三日午後三時より會議を開く筈なりしも議員中旅行病氣其他事故にて缺席多く議員定數の半數に達せざりし爲め流會の已むなきに至りたるより來る五日後三時より改めて組合會を招集すべしと

◎博邦公入京挨拶

三日夜入京せる伊藤博邦公は四日午前十時總督府に長谷川總督山縣政務總監を訪問し入京の挨拶を爲したり

◎入江書記官入城

拓殖局第一課長入江海平氏は四日朝釜山上陸午後九時十分南大門驛着列車にて入城すべし

◎藤井專務歸省

不二興業株式會社專務取締役藤井寛太郎氏は母堂逝去の爲め此程鄕里德島縣板野郡鴨島町字喜來藤井德一方へ歸省せり

人事消息

▲竹村利三郎氏(一銀支店支配人) 歸鄕中の所四日夜歸任

▲足立瀧次郎氏(十八銀行支店支配人) 長崎本店出向中の所四日夜歸任

▲井松次郎氏(土木局仁川出張所長) 結氷狀況並に港灣調査の爲め三日附にて敦賀浦鹽釜山神戶に出張を命ぜらる

▲伊藤賢三(總督府技師) 專賣課出張所事務視察の爲三日附平南及京畿道內へ出張を命ぜらる

八面鋒

◆大論議を醸したる、舊獨領南洋群島問題も、愈々鉾が付きたるが如く、赤道以南は濠洲、以北は日本に委託統治と云ふ。國際聯盟の下に委託統治と云ふ、其間に於ける條件の差別あらんや。但、稅關其他の主要條件を國際聯盟のもとに置き、唯統治權のみを有したりとて何の利益ありや。却つて手數の係る許り也。腐つた餅を抱へしと同樣也。◆而も其の統治權の委託には、舊時の海外貿易會社に與へられたる許狀の如きものを與ふべしと、以て更に其時許狀が、赤道以南と以北とは、大いに其の性質を異にすべし。國際管理にても、或は併合領有にても、委託統治にても、赤道一つ越ゆれば、全然其の意義を異にすべきは奇々怪々也。文學者と地文學者が、便宜上假定したる赤道に、人文上の意義迄も附加したる處は、餘りに奇拔にして、恐縮せざるを得ざる也。◆日本の提案が赤道以北の小部に滿足したるは、所謂謙讓の美德を發揮したる處也。群島が國際管理とならば、米國外交の大功と云はざるべからず。米國の最も苦痛とすべきは、米領土の鼻先に、他の勢力の設定せらるる事にして、委託統治とならば、敢て恒久的軍事設備等をなす事を得ざるが故に、米國の可恐危懼も深くに及ばず。故に委託統治は米國外交の成功となさざるべからず。然れども日本全國民の、五年以來の期待は、其の半ばは水泡に歸すべきは明か也。◆講和會議に於て、支那委員は、大戰中支那職工が聯合國の爲めに大に努力せしは、之れ聯合各國君の能く知悉する處なりと大言壯語せり。然れども其のお得意なる職工連が歸國に際し、お土產として支那と調和し能はざる、思想を持參するには非ざるか。露國過激派に傭兵たりし支那人等も續々歸還し來ると、洵に不安に絕へず、事無くんば幸也。

朝鮮學術研究會編 發行所 京城本町 振替二三三 ウツボヤ書店

新刊 中學校 商業學校 高等女學校 高等普通學校 入學試驗問題答案集

大正七年度 四六版二百頁 定價金五十錢 送料四錢

入學の榮を得たき學生諸氏は至急本書を座右に備へられよ

發賣元 京城太平通 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

取次販賣所 ▲大阪屋 ▲岩松堂

國末式ペント金庫

進步せる學理と最新の機械力とにより製作せられたる

國末式ペント金庫は

人爲的破壞は勿論猛烈なる熱火と重量物の墜落に無限の抵抗力を有するは國末式ペント金庫の本領とす

內閣諸官省御用 金庫製作所

國末金庫店

東京市日本橋區通四丁目 電話本局三八五番 振替東一九九〇三

△營業入商品目錄は御報次第進呈仕候

代用制實施と期米

米高は國民怨嗟の聲と化し輿論の勃興は今や政府者を督して徹底的調節の策を講ぜしむるに至る=外米の解禁は食糧の缺陷を補充し二月新市より實施の外米代用制と相俟て硬派に酬ゆる一大鐵槌たらん=於此第十四回を組織し弘く同好の士を募る。致富の要訣は速斷實行に在り。今を逸して將た孰れの日か此好資場を需めん。乞ふ速に參加あれ

申込期間二月十五日迄 加入金壹口參拾圓(債券代用不苦)

日本信託證券部

第十四回 二期米賣同氣會

大阪市北區堂島濱通一丁目二番 電話北長二四番 長九七二一 一九〇四番 振替大阪四〇五六九

△會則說明書贈呈▽

陸軍御用

各支店及全國有名なる藥店に販賣仕居候

萬一品切の節は本店へ御注文願上候

朝鮮京城本町 津村兄弟商會

電話一四八〇番 電話一八七〇番

振替京城三五一番 電略(ツ)又は(ムツ)

大正七年七月一日改正現行

○温顔に御涙を浮べ

皇室の好意を謝されし故太王殿下

李王世子御用掛として謁したる日日古谷久綱氏談

李太王殿下薨去あらせられたとの悲報に接するや予は只茫然として爲す處を知らなかつた甞ては上また花前の風あるかと洩れ咲かん久しうしたのであるか王世子殿下の御慶典は既に眼前に迫り殿下の御衣裳品さへも搬入せられつゝあつた時突如御他界の悲報を傳へなければならないとは實に李王家の爲めに御不幸の事でさへ何とも申上ぐるに詞さへ無い次第ではないか

予が李太王殿下に拜謁した最初は明治三十七年の三月日露戰の前後であつた時即ち故伊藤博文公に從つて彼の地に至つた時であるそれより猶ほ故公に從つて拜謁した事は實に屢々であつた伊藤公の薨去に次で末松子の御職あり井上公の薨去の後伊藤博邦公の職を辭さるゝに及んで不肖ながら予は

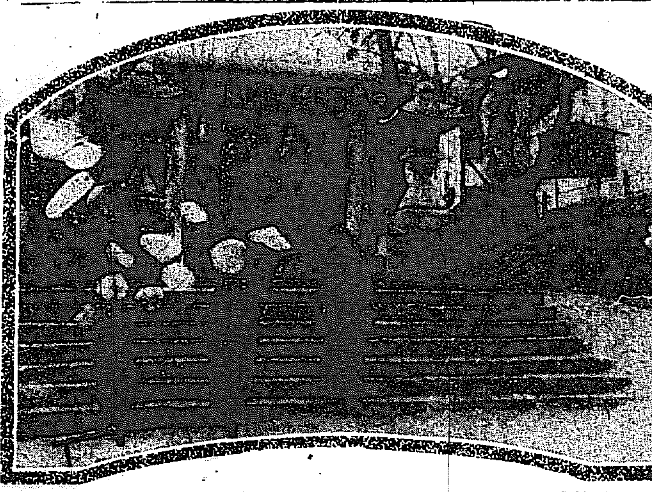
▲王世子殿下 の御用掛りとして侍し奉つたのと是より李太王殿下に親しく謁し又有難い御言葉を賜る事も屢々となつたので其務愈々平らか職を辭するに至つて御暇乞ひの謁を賜つて以來は久しく温容を拜するの機を得る事もなかつたが去る大正六年に予が滿鮮巡遊の途にあつた時に偶拜する光榮を得たのである追想すれば即ち是れが最後に謁したこととになつたのである其の時に賜つた御鄭重なる御言葉は今猶腦裡に明かであると共に

▲殿下の當時 の御状態へ偲ばれて坐ろ感慨の感がある殿下は實に如何なる場合と雖も人々に相接せらるるに不快の顔容をなされた事はなかつた假令御健康勝れさせ給はぬ時さへも其れと知る事の出來ない迄に笑顔を以て接する人々をして坐ろに敬慕の念を増さしめられたのである其の温容には拜せられたのであつた内憂外患交々至る中にあつても專心政治に携はらせられた殿下も漸く日鮮併合となるに及んで始めて樂き春の如き生涯に入られるに至つたのであるが恐に至る迄の殿下の

▲御心勞の程 は實に申すも恐れ多い程であつた去る年殿妃御他界の折柄予は王世子殿下の御供を申し上げて朝鮮に至り李太王殿下に謁を賜つたのであるが其の時に當り王世子殿下の賢明にして而も英姿堂々たる儀を見られて涙さへ流されて我が皇室の好意を謝させられたのである其の花とも玉ともいつくしまる王世子殿下には今や梨花の香り床しき梨本宮方子女王殿下と偕老の契を結ばせらる目出度くもいと目出度き吉辰を前にせられて敢なくも還らぬ旅に赴かれ其の

▲御心殘りの 程は如何許りであつたであらうか御推察申し上ぐるだに轉た悲涙の胸に迫るを覺ゆる次第である然し乍ら世に稀に見る國葬の御禮遇を賜らせらる。は實に有難き事であつて我が皇族の御方々さへ共に特別なる功勞のある方々の外には此の有難き國葬を賜らせらる。事は曾て無い程であるが太王が此の有難き國葬を賜らせらる。に及んでは我皇室及び政府の李王家に對する

▲好遇の程 偲ばれて掌さしても轉た感泣する次第である朝鮮人士としても此の恩典に浴するに及んでは如何許りか感喜してゐるであらう(東京電話)



◇節分　鶯遊び乾きて山は春に入る(四日京城神社にて)

○今日根柢を造れ

最近の西伯利を視察して……

忽ち人口四倍す恐るべき支那人の活動

總督府事務官　本岡榮次郎氏車中談

總督府事務官本岡榮次郎氏は西伯利視察中の處三日[illegible]京城に歸任せるが同氏は語りて曰く

昨年十一月半ば京城出發以來前後八旬に亘り西はイルクツクを限りとし黑龍線烏蘇里線に依り浦鹽に出で更に哈爾賓へ引返して歸つて來たのであるが何分歸任の上報告を終らぬ迄は視察に關する詳しい話をする自由を持たぬのは遺憾である西伯利は擾亂の後であつて諸般の制度總てが混亂であるがそれ丈け今日に於て深く彼の地を研究して置く必要がある譯で其意味に於て

◇邦人の視察 を喜ぶのである又現に知名の大會社豪商等は視察員を派し朝鮮銀行の如きも一般に重要な活動をしてゐる勿論之こて現在の西伯利の状態では民間一般の商行業務を行ふ譯には行かず主として軍隊の仕事であるが今日に於て根柢を作つて置く事は最も必要な時期と思ふ過激派も今日では日本軍あるが爲め終熄の形となつてゐるが經濟の手の緩むを見て何時起つて來ぬとも限らぬからである西伯利に今日流通してゐる貨幣は過激派が發行した其數若くは其地方以外には通用せぬ紙幣で一般的に流通してゐる帝政時代のもの又はケレンスキー時代に發行されたものなどがある

◇隨分不便で ある然し之れを整理する事は困難な事業である物資の缺乏は後貝加爾地方に最も甚だしく日は漸次利を見るに敏なる支那商人其他の手に依て多少の補給を見てゐる様であるが運輸機關の管理宜しきを得ず之が爲め物資の供給を阻害さるゝ事は甚だしいものである支那人の發展は將來必ず恐る可きものがあると思ふ哈爾賓のみでも三年前迄四萬人に過ぎない人口が今日では四倍の十六萬人の支那人を算するに至つた事のみでも驚目に値するが地に這入つても彼等支那人は

◇土著の決心 を持つて其土地のみに於て衣食する事に滿足してゐるが爲め種々の都合よき利益があるそして盛んに何處からとも無く粗惡な日本製商品を輸入し當局の役人に賄賂して脫税を計り輸送上の便宜を得てゐる日本品の不評判等も全く彼等の手に依て爲される事を思へば憤慨に堪へぬ次第であるが斯くして著々根帶を深くしつゝある彼等は又恐る可きものと謂はねばならぬ西伯利の假政府は財政補給の一端として目下各種の新聞に廣告を掲載して無限に横はつてゐる

◇鑛山及森林 の一部の拂下を行ふ事になつてゐるが此の如き利權を得て置く事は將に我事業家の乘ず可き機會では無いかと思ふ尤も露國西伯利は昔から自國内に於ては外國人が少しの權利を所有する事を許さぬ規則になつてゐるが之は唯名義のみであるから露人の名義を借用せば何人にも權利は得られる譯である又沿海州は此の三四月の交に於て漁場の入札を行ふ筈であるが之は日本人の入札を認め其の入札も東京に於て漁業組合の手に行はれる筈であるから宜しく資本家は西伯利の

◇利源を開拓 し彼我共通利益の爲めに之等の事業に著手せん事を希望してゐる米國の赤十字基督教團の活動は目覺ましいものがあつて救濟に施療に慰安に各努めてゐる近時我國の基督教青年會等も追々活動を開始してゐる樣である

○哈爾賓の舊正月

支人國勢回復を狂喜す

哈爾賓支那商人間に於ける今年の舊正月迎探振りを見るに至つて上景氣らしく何れも得意にて大道狹しと聞で氣を切るの手合も少からず右の横暴の理由を聞けば同地は從來

◇露國人 の勢力地帶なれば支那人側の勢力は一向に振はざりしも昨年來露國側の衰微に連れて支那人が勢力を回復せし結果毎年頭痛の種たりし爆竹も今年は自然公然堂々と

◇打揚ぐる 程の勢力にまで挽回されたる一事ですら此上なき誇りの一事にて他は推して知る可し珍奇なる理窟あればそかあられぬか今日に於ける正月經營地方の支那人側には嬉しきものはなく云は、國勢回復の新紀念なりとは無理もなし(哈爾賓)

○佛飛行團員所澤移轉

時事航空術練習委員長ポー中佐以下の佛國陸軍航空團員中ペルヌ少佐以下將校五名准士官七名下士七名は四日所澤に移轉し市外航空團將校以下を收容する爲め特に收築したる新兵舍に入る筈なり右人員は航空機製作及び修理に任ずべきものにて將來同所に於て之が訓練を開始する爲め其の準備に著手する豫定なり(東京特電)

寒空へ　機上ロー夫人(一日[illegible]洲にて)

○舵手を離した双手を天に擴げて……

二千呎の寒空へ

宙返り、逆轉、橫轉、木の葉落し!!!

◇颯爽たる雨服を纏ひたる英の一婦人飛ぶ

茶革の飛行服に飛行頭巾を著け靴も著た雨服を纏ふた長靴でキリツと締めたロー夫人は

◇竹馬に乘つ たやうな恰好でハンドルを握ると觀衆に向つて嫣然一笑して直に空中へ飛んだ、午後二時(一日)の日光を遮る厚い灰色雲に風こそ見れね鵞の片が飛ぶかと思はれた、駕の西空から舵を左に轉じて低く周圍を描くこと二回、蒼黴色の顔に靄付く打つ衝突も宙指に光る二個の指環も鮮かに見られたが二周目の終りに猛烈なる弦の如く一直線に引返して

◇群衆の歡呼 に應へてハンドルから放した双手を天に向つて擴げたと思ふ機首を強く起して二回かして二千呎の高空に突入し宙返り、逆轉、橫轉の秘術を續け樣に演じ木の葉落しのフラくした降り方で十五分間を費して着陸した、『ブラヴォー』と云ふ聲を聞いて擴げた夫人は滿足な顔で我國飛行家の長岡將軍等と堅く握手しつゝ語る『高い程宙返りは仕易いのですけれど雲が厚くて

◇下から見え ないからでした』『今日は二千呎の所で廢めました、其代り多少の危險を冒して低空飛行をしたのは皆樣をお喜ばせしたいからでした』佛英語と自動車學校を卒業し今回ロー夫人に入門して

◇歸國に伴は れる筈の上野節子(廿一)女史や赤坂林家の子、内田良平氏夫人、田安之助氏夫人等からの花環に李王を嬉しげに受けて同三時十五分再び機上に現はれた、今度は五六米突の低空を往返して其都度觀衆の肝を縮めさせた後グンくく上昇し急に眩の小圓周で宙返りを十回、夫に續けて得意の左側横轉を數回演じ同三十五分美しく上氣した顔をニコくさせて地上に降りた(東京)

○大阪大雪

大阪地方には二日午後二時より降雪あり夜半過に至り漸く止みたるが積ること二三寸に及び當地には稀に見る大雪なりき(大阪電話)

○憲法記念祭

質素に祝賀の意を表す

◇李太王國葬の爲

來る十一日の紀元佳節を卜して青山練兵場の明治神宮外苑に憲法記念館を舉行せらる。過般來滿洲年紀念祝賀會は當日の東京祝賀催しは李太王國葬の爲め極めて質素に行はれることゝなり卅一日の幹事會に於て左の如く決定せり(東京)

一、市內各戶に國旗及軒燈を掲揚すること又電飾の設備あるものは可成點火すること尚電車に國旗を掲揚すること

一、祝賀の爲特に市會を開くと

一、市立學校に於て祝賀式を擧げ講話を爲すこと

一、市長、市會議員及同待遇者は市役所に於て祝賀すること

一、祝賀會行幸御通輦の注意整理すること

○過激派殘黨南下

鑛山を襲ひ金塊を奪ひ慘劇行はる

イルクツク方面人心恟々

イルクツクより歸著せる某氏の談に曰く『昨今過激派の巢窟とも云ふべきゼーヤ北方及び

▲貝加爾地方 は有力なる我が守備隊の警戒にて抔に跳梁するを得ざるもイルクツク方面の北方は交通の關係上警戒困難なるもの、如く現に數日前五百餘名の過激派殘黨ボダイボ(ゼーヤに近く金山地)附近に蜂起して數個所の鑛山を占領し四十萬留の金塊を奪ひ一千餘名の坑夫を煽動してオムスク政府を覆へさんと決議し

▲南下計畫を 發表せり其の結果貝加爾湖畔の住民は續々イルクツクに避難し來り人心恟々たりイルクツクのチエツクはオムスクに於て過激派を乞ひ來り居れるが日本軍は出來得る限り之が威に對する由なるもボダイボ附近に過激派の爲に晝夜の別なく數件宛の強奪行はれ居れりとの報あるも日本人の被害幸ひになしと

◇支那の鼠疫豫防◇

○惡感冒再び京城に……

此際注意を要す

昨秋より冬にかけて猖獗を極め多數の人命を奪つた彼の恐るべき流行性感冒は其後全く終熄したるものゝ如くであつたが內地到る所の盛り返しと共に當地に於ても昨今本病に犯さる。者があるので或は盛返すのではあるまいかと一般に憂慮さる、樣になつた右に就き總督府醫官武田醫官は語る『胸の流行性感冒が

◇盛り返し て來るのではないかと思はる、節は爰二三週間前から彼々罹病する者がある樣になつた傳染病へは病氣が重くならない、こ來ない傾向があるので何の程度で流行して居るか一寸想像が及ばないがそれでも爰二三週間中に肺炎を併發した流行性感冒患者が數名へ發見して居るのを見ても本病が再び流行しつ。ある事を想像するに足る此際注意が肝要であらう』と

○支那山西の肺ペスト

死者七十名

支那山西省地方に肺ペスト患者發生せし[illegible]ペストの根據地と稱せらる。支那山西省に於ける[illegible]々新に發生を見て[illegible]太原を距る約三十里の臨縣に發生し其後漸次蔓延の兆ある爲め西伯利[illegible]は之が救助方を內務部に通牒したるに直ちに防疫出張して目下極力防疫に努めつゝあり、爲に今回の流行は發生地たる臨縣附近に假病舍を建て村民に豫防法を施しつゝある狀況なり

○芝罘邦人殺害事件

母娘を殺し二千圓を强奪す

一日芝罘日本商人[illegible]藥房主田國三郎宅に於て國三郎不在中同人內縁の妻大野はな(三九)に八ケ所の重傷を負はせて[illegible]尚ほ娘まで[illegible]つて之を殺し[illegible]所に於て刺殺し現金一千八百圓を强奪し去りたる兇賊あり犯人は勿論支那人なるべく同地方に於ける邦人の被害事件は是を以て嚆矢とす(芝罘特電)

○西伯利惡疫

病死者續發す

西伯利に於ける[illegible]支那人七十餘名の死者を出し[illegible]に於ては交通[illegible]人は[illegible]防衛方法を講ずべく講究中なり

[illegible]は完全なる裝具衣又は武器を有せずして西伯利の酷寒と戰ひそれ西伯利政府は之が救濟の爲め一般人民に對して政府の

救濟資金 不充分なるを以て援助されたしと訴へつゝあり今や全西伯利は到る處病者死亡者[illegible]窒扶斯の流行せる地多く哈爾賓の如きは喉頭炎流行し窒扶斯患者あり米國

赤十字社 は斷えず救護の爲め車を發して救護に努めつゝあるも未だ十分目的を達せず殊に運輸機關缺乏の爲め日々甚だしくなりゆく爲め非常に困難を加へつゝあり

○應召兵へ注意

朝鮮在留の在鄉軍人にして本年度▲教育召集應召者は三月一日迄▲點呼應召者は四月一日迄に本籍地聯隊區司令官宛に願出づべし許可を受けたるものは▲演習應召者にありては四月一日迄▲點呼應召者にありては五月一日迄に第十九師團長宛に許可願を出すべく尚詳細は在鄉軍人分會又は府廳兵事係りに問ひ合すべし

○鼻で犯人を嗅ぎ出す

探偵犬

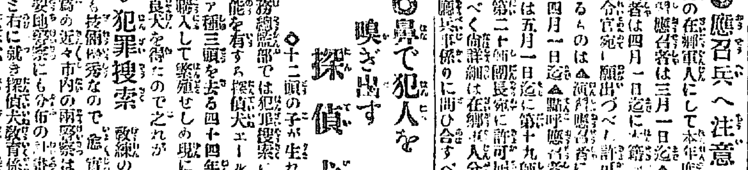
◇十二頭の子が生れた◇

[illegible]務總監部では犯罪捜索に特別の技能を有する探偵犬エールデルテリア種三頭を去る四十四年獨逸より購入して繁殖せしめ現に七頭の優良犬を得たので之れが

◇犯罪捜索 教練の結果何れも技術優秀なので愈々實地活用の爲め近々市內の兩警察は勿論各憲兵分隊警察にも分配の計畫中である右に就き探偵犬教育係員は語る『探偵犬は例の敏細に働く鼻を以てクスくと犯罪者を嗅ぎ出すに妙を得て居るので實地に活用の曉は犯罪捜擧に有功である事は言ふ迄もない然しながら犯罪捜索を敎へ込む迄が一通りでなく敎へて居る內に隨分障る事もあるが根氣よく敎へて居ると犬もよく覺ねて來る現に敎練して居るは何れも成績が良好である又つい此間二頭の牡犬が五頭と七頭の子犬を

へ分娩して 今が恰度可愛い盛りであるが此子犬も半年後には敎練の上大阪愛知の兩縣警察外各所へ分布する事となつて居る』

○本田老辯護士　七十二歲の老辯護士として知られたる京城長橋の本田調氏は一日夜逝去せり



悪性感冒に効験第一と世に認められし

かぜねつに一番よくきく

キナピリン

効 驗

キナピリンは◉感冒◉熱病◉頭痛◉インフルエンザ◉リウマチス◉間歇熱(マラリヤ)等に大効あり

價 十錢、廿錢、卅錢、五十錢、壹圓

大阪市堂島元蛇(?)橋 本舗 高橋盛大堂藥局

同心齋橋筋傳勢町 發賣 高橋盛大堂分店

東京市神田柳町 同 高橋盛大堂出張所

上海英租界安通路 同 日信大藥房

◉到る處の藥店にて販賣す

▼特賣廣告▲

▲絖、縮緬 一尺ニ付金五十五錢

但し作品回少

御下命願上候(以て販賣仕候間至急)京城太平通(電話構內)一三番

京城日報代理部

振替口座京城一〇〇番

天下一品

白鶴

增本酒店

京城本町三丁目(電話一〇一九番)

花柳病專門

外科

◉梅毒◉淋病◉泌尿生殖器病◉睾丸病◉痔疾病◉皮膚病◉婦人病◉神經衰弱ヒステリー

606

京城南大門通農工銀行裏

司生堂醫院

電話三〇六九番

京城西小門通

畑硝子工場

主加 畑兼兄弟

電話二七四六

工場特製入浴エキス瓶…に限る其他一切の御注文に可應候

開業大披露 割引提供

大阪難波稻荷町一丁目

岡部式 製繩機

岡部合名會社

實驗付製品店算[illegible]說明書送呈

贊化病院

內科 小兒科

入院隨意

毎日五名を限り施療す

醫學博士 古城憲治

金澤醫學士 打田義芳

京城[illegible]町一丁目一番地

寫眞

寫眞銅版、亞鉛版

精練せる技術を以て最も低價に迅速に調製す

京日寫眞製版部

父利一儀病氣ノ處養生不相叶本月三日正午死去致候間此段本人辱知諸彥ニ謹告仕候也

追而葬儀ハ途中行列ヲ廢シ南山本願寺ニ於テ六日午後正三時ヨリ相營可申候尚勝手ナガラ供花放鳥等堅ク御斷申上候

男　內藤信一

親族總代　秋田義正

同　野村嘉一

友人　光井成香

同　山內、一賢

同　副島安一

親族總代　伊藤松治

○鮮銀券の分野

朝鮮銀行券總發行高の分野即ち朝鮮滿洲シベリアに於る流通額の推[illegible]ひにより各地に流通し居れるかを知るは金融上興味ある問題に付發行高と回收高の關係旅客來往の狀態貿易の實際等各種の點より[illegible]

滿洲　約二千萬圓

浦鹽　約二百萬圓

北滿洲西伯利　約六百萬圓

滿洲は財力の大なる點に於て今少しく多からずやとの[illegible]りて右の外間島天津並びに濟南地方に於ても若干の流通を見居れども未だ開店後久しからざるに付き大なる[illegible]

○東拓哈市進出

(哈爾賓)

東洋拓殖株式會社は從來哈爾賓に[illegible]の進展に伴ひ北滿より西伯利亞[illegible]評員として南三名來哈する事となりたるが何れ適當の家屋を設け哈爾賓に支店を設置し此の經濟勢力[illegible]

一等七[illegible]本城、[illegible]田一枝、[illegible]トシ、伊[illegible]、大[illegible]、佐伯[illegible]、[illegible]田[illegible]、太[illegible] 二等四十五名[illegible]田口、[illegible]間[illegible]、山根[illegible]、岩[illegible]、京輔、同市井、同[illegible]子、[illegible]、清水[illegible]、[illegible]、池[illegible]、成[illegible]、小[illegible]一太郎、島田[illegible]三郎、[illegible]一[illegible]、坂本[illegible] 三等二〇六名[illegible]

○三日午後入港 [illegible]丸一二等客一等六名[illegible]二、山本[illegible]外人六名

京城地方(四日自正午)

天氣　晴一時曇

▼京城今朝氣溫▲

日出七時三十五分　日入六時一分

仁川 滿潮 午前七時五十五分 午後七時二十五分 干潮 午前一時[illegible] 午後一時四十五分

釜山 滿潮 午前[illegible] 午後[illegible] 干潮 午前[illegible] 午後[illegible]

……ざる事情あり何となれば毎月引續く旅客の往來銀行間の現金其他の關係あればなり旁現在の發行高一億七千萬圓は如何なる振り合……

▲發行高分配 朝鮮 約八千萬圓

……に研究の結果當らずと雖も遠からざる數字は左の如くなるべし……らず先づ朝鮮の四分の一見當に過ぎざるべし唯通貨の流通狀態は之を朝鮮に比し頗る繁忙なるに併たる……結果膨脹となりたるためなるが刻下の財況より見て當分現在の通貨額を維持さるべし

……必要在るより近日中に奉天より常に……活動すべしと云ふ(哈爾賓)

◎朝鮮統治狀況(十三)

大正七年に於ける一般施設

財政(一)

朝鮮の財政は產業振興の結果民力充實に伴ない比年鞏固なる發達を遂げ來り、殊に大正七年に於ては一般經濟界の異常の進展に伴ない愈順調に進み健實の度を重ぬるに至れり。大正七年度豫算は既定の財政獨立計畫に基づき時勢の進運に適應せる施設に必要なる經費を計上せるものにして、之が實行に當りては何等支障を見ざるのみならず關稅、印紙、遞信及び鐵道收入の如きは豫定以上の成績を擧げ、地稅賦課方法の改正及び煙草稅令の改正等も極めて順調に之が實施をなすことを得たるを以て既定計畫の遂行上極めて良好の成績を擧ぐべく、朝鮮開發上必須の施設は來々其の步武を進め財政獨立計畫の如きは八年度より確實に之が實行を見るの確心を得るに至れり ◆土地調査事業の完了と伴ない各府郡島に亘りて土地臺帳及び地籍圖を整備し之れに依て土地制度の基礎を鞏固ならしめたるを以て、大正七年六月制令第六號を以て地稅令を改正し從來の課稅標準たる結數を廢し土地臺帳に登錄したる地價を標準として全道一律に地價の千分の十三を賦課し以て課稅の公正、負擔の適實を期せり。元來地稅賦課方法の改正は從來に於ける負擔の偏倚を矯正し得べきは勿論課稅額は土地の收益の多寡に適應するを以て賦斂に厚薄あることなく、蓋し地稅制度の基礎は地價課稅の施行に因つて茲に始めて確立したりと謂ふべし。地稅令改正の結果に基づく大正七年度地稅收入豫算額千百五十萬千餘圓にして之を大正六年度同上豫算額九百八十七九萬千餘圓に對比せば百六十萬二千餘圓の增加を算す。之れ新に發見したる課稅地若くは課稅地の面積增大なりたるに伴ひ從來課稅を免れたる土地に對する課稅に依る增收の一部を收めたるに基因す。而かして輓近地方經濟は著しく發達したるのみならず穀價亦騰貴し土地所有者の利益劇增したるを以て一般に地稅の負擔は頗る輕微なることを俟たず。然りと雖も地稅令改正の結果從來に於ける課稅額當を得ざりしものは自ら新舊地稅額の間に著しき軒輊を生ずることなきを必せず、殊に中農階級以下にして負擔額の增加したる者に在りては納稅上痛苦あるを免れざるべきを認め一面に於て地稅年額十圓未滿を納付する者に對しては田、畓、池沼及び雜種地の一部を免除し以て過渡期に於ける納稅の緩和を圖り、一圓以下の小額地稅に對し一時納付の途を啓きて納稅を簡易にし、更に荒地に對する地價低減、開墾地免稅期間延長、地目變換地の地價据置等の制を設けて以て土地利用を促進するに努めたり以て一般に好感を持し假令納稅額の增加したる者と雖も之を當然の結果と目し何等私見を挾むものなきが如し。殊に前年來米價昂騰したるのみならず本年の米作は豐穰なりしを以て地稅の納付は極めて容易にして地稅令の改正は經濟界に何等の影響なかるべし

◇人口史談(二)

渡邊彰

高麗衰亡の後を承けて朝鮮半島に國を立てたる李朝は其の立國後年久しからずして雖ども明君の輩出ありたる太宗王の治世に於て經文緯武の一策に確立し其の後を承けたる世宗王は克く先緒を紹ぎて百般の施設に手を下し外明朝に對して事大主義を徹底的に實行し內政に熱誠を注ぐと同時に日本に對しても亦隣好の誼を厚うせしが故に文治の成績彬々として擧り戶口調査の事業も亦立國後三十五年に大成せり。然れども世宗王八年丙午の歲(應永三十三年)以後宣祖王三十九年丙午の歲(慶長十一年)に至る迄百八十年間に於ける戶口統計は之を考徵すべき

文書を今日迄未だ

發見せず惟ふに宣祖王二十五年壬辰(文祿元年)の歲に於ける事變に際して亡失せしなるべし。而して宣祖王三十九年丙午の歲に於ける京城の戶數は一萬二千九百六十五と算せられたる記錄あるも其の人口に至りて全然調定數を記したるものなし。今此の戶數を以て之を世宗王八年丙午の歲に於ける調定數一萬六千九百二十一に比すれば三千九百五十六戶を減少せり。單に戶數の增減比較上より見ても京城は今を距る四百九十四年前の世宗王時代よりも今を距る三百十四年前の

宣祖王時代が衰微

の狀態に在りし事實を了解するに難からざるべし。下りて今を距る二百七十二年前の仁祖王二十六年戊子の歲(慶安元年)には京城の戶數一萬〇〇六十六戶に減少し其の人口は九萬五千五百六十九人と算せられ次で今を距る二百六十三年前の孝宗王八年丁酉の歲(明曆三年)の調によれば戶數の調に於ては稍增加して一萬五千七百六十戶となりたれども其の人口に至りては仁祖王二十六年戊子の歲よりも

一層減じて八萬

五百七十二人となりたり是れ李王太祖が都を開城より移して此のかた今日に至るまで最も多く京城の人口の減少したる時期なりとす。而して今日以後は人口の增加すべき傾向あるのみなれば京城の衰微る極度は孝宗王の時代に在りと云ふも歷史上矛盾する所なきものとす。以上の如く記述的に人口戶數等の增減論を述ぶることは却つて過眼に煩はしきを以て先づ調査したる年代を逐うて左に要目を表出し後に所見を述ぶることゝせり

二百七十二年以來京城に於ける戶口表

代	(時代)	戶	人	年前
慶安元年	仁祖廿六年 戊子	一〇、〇六六	九五、五六九	二七二
明曆三年	孝宗八年 丁酉	一五、七六〇	八〇、五七二	二六三
寛文九年	顯宗十年 己酉	二三、八九九	一九四、〇三〇	二五一
延寶六年	肅宗四年 戊午	二三、七四〇	一六七、四〇六	二四二
享保二年	同四十三年 丁酉	二八、三五六	一八五、八七二	二〇三
享保八年	景宗三年 癸卯	二九、四四四	一四七、七七二	一九七
享保十一年	英祖二年 丙午	三二、七四七	一八〇、五一七	一九四
寶暦三年	同二十九年 癸酉	三四、九五三	一七四、二〇三	一六七
安永六年	正祖元年 丁酉	三八、五九三	一九〇、九五七	一四三
天明六年	同十年 丙午	四二、七八六	一九九、一二七	一三四
文化四年	純祖七年 丁卯	四五、七〇七	二〇四、八八六	一一三
天保八年	憲宗三年 丁酉	四五、六四〇	二〇〇、九二五	八三
嘉永五年	哲宗三年 壬子	四五、六七八	二〇四、〇五三	六八
元治元年	李太王元年 甲子	四六、五六五	二〇二、六三九	五六
明治三十七年	光武八年 甲辰	四二、七三〇	一九二、三〇四	一六
明治四十三年	合併の初年	六四、五八二	二七八、九五八	一〇
大正元年	今上元年	六五、八〇〇	三〇二、六八六	—
同五年		五八、〇八二	二五三、〇六八	—
同六年		五八、〇六三	二五三、一五四	—
大正元年		五一、二二八	二四九、六八〇	
同五年		三九、八二三	一八二、八六六	
同六年		三九、九二九	一八四、九〇二	

以上によりて京城戶口の增減を時期に逐ひ且つ大正八年迄の經過年數を別に達觀し亦簡易に了解し得べし而して此の表に見ろ所に就て特に

注意を要すべき點

を述ぶれば明治廿七年以前即ち舊韓國の光武八年以前の戶數人口は國が出さざれども明治四十三年以後の統計は內地人及び在留外國人の戶口をも合算せるものなり。又大正五年以後の統計は大正三年四月京城府治の地域を修正して同地域內に居住する者の總數を計査せしものなれば直ちに此の數を以て合邦前と實施後の比較對照の資料となす事能はざるなり尙朝鮮人の戶口統計を表出すれば左の如し

合邦前と合邦後

	戶數	人口
四十三年	五二、六九七	二三八、四九九

京城に於ける人口增減の史談的敍述は茲に筆を止め是より將來に對する希望を述べむとす此れ本問題の提綱にして又研究の眼目とする所なり

◎滿洲に於ける滿期兵の農業

滿鐵は滿蒙に於ける邦人の農產業の健實なる發展助長を目的として去る大正三年より在滿軍隊滿期兵にして滿洲に於て自ら農業に從事せんとするものに對しては特別の各種便宜を與へ附屬地を貸付け來たりしが現在此の恩惠に浴し居るものは三十二名に達し居れり元來滿蒙に於て邦人が農業に從事し生活程度の低き支那土人と競爭し得るや否やに就ても多くの疑問ありしこゝにて尠く共從來の如く比較的元始的農業に近き耕作狀態にて支那人間に伍して邦人が耕作に從事(?)くは生產經濟上甚だ困難なりしは爭ふべからざる事實なりし此の種の滿期兵農業者に就ても滿鐵が保護に於て多くの特典を與へ借地料を至つて安價に爲し居れるも以上の邦人にて尙相當の結果を納め得ざるものとせば支那人間に伍しての邦人農業は不可能と先づ斷定し得べきものなれば滿鐵は此等の各人個々に對して經營の調査を爲し居れるも概見する所に從へば種々の恩惠を得つゝあるも結果の面白からざる模樣あり勿論此等の耕作に於ても其他的農業の行はるゝに至らば又自ら別問題なるが目下純農經營に就ては滿鐵が如く疑問ありと云ふ今後の滿鐵の調査は此の意味に於て注目に値する滿期兵農業者は牧畜等農家の副業は全く爲すことなき模樣なれば此の點に對しては考慮を要すべき事項なるべし

◎全北の米と全南の棉(上)

吉松慶北第一部長談

全羅南道に於ける棉花の施設並に出廻り狀況は近時朝野の宣しく提唱しつゝある問題にして本道にては第二期棉作奬勵計畫の實現の曉には同一の問題に逢著するやも計られざるべし近く十箇年の後には我紡績界が朝鮮棉花の聲價を認めたるは偏に全南棉花の急激なる發達に歸せざるべからず目下問題とせらるゝ販賣制の可否は暫く措き同道の大正七年作付反別四萬三千四百町の生產たる三千萬斤內外の實棉は棉花業者の

垂涎措かざる所

にして恰も木浦滯留中最も痛切に感じたるは我國棉花界の重鎭たる三井物產を始め日本綿花の分身たる朝鮮棉花及鈴木商店も見らるべき顏觸にして活躍せる狀なり實に木浦を中心とし激烈なる競爭を呈し此の間鎭南浦西鮮繰綿及び群山不二興業等は之に木浦光州南の棉花ブローカーと共に之が競爭を助長せしむ

各繰綿業者が全南

に於て既に買付を了したる見込高は朝鮮棉花約六百萬斤、三井物產約四百萬斤、鈴木商店百萬斤、不二西鮮南工場の各十萬斤內外木浦、光州、麗水各地に於るブローカーの手持品約百萬斤內外にして總計約千二百萬斤內外此の額三百萬以上に達すべし而して今後の見込は約三百萬斤內外と稱せられ目下

問題の焦點と成る

が如き殊に作柄關係に就ては收穫期の多雨多濕なりしこと最も原因となせらる、所にして山間部に位する谷城、求禮方面が平年作以上の成績を呈したる外一般收穫は豫想の狀を呈し而も全南道廳に屆出を了したる三千餘人の棉花買收業者は公入札に依る棉作組合の共同販賣と密賣買の間隙に乘じ混戰の狀全鮮の天地を動かし慶南全北の如きは之に牽制せらるゝもの尠からざるが如し斯くして棉花の出廻りは綿、綿布の高價、耕作者の思惑及び作柄の買收價不足等に歸因し出廻り遲々として工場繰棉少なり然れども

完全なる開墾を

企圖し居れり實に慶北棉作の狀態は前記の事情と殆ど相反するものなく反當收穫增進の如きは指導奬勵に今後大いに徹底を期せざる可らず中來全南の棉花と慶北の夫とは素地を有する點に於いて彼の如く現今の狀況と何ら異なる所なしと雖も現今の狀態は其の十箇年前と我現今の狀態は其生產に伴ひ耕作者は勿論三千人の棉花買收業者と大資本家の進出したる棉花智識は之が發達を促進したることは論なく木浦に於ける經濟會、光州の商工會、全南地主會等が官民一致の棉花奬勵が今日最も奏効を呈したるもの、如く慶北の如き又棉花に向けても大いに

官民提携の實を

◎四平街より

◇滿鐵局長二氏の新任

兩局長活躍

新任吉村鐵路局長兼運輸局長は著任匆々席温かならず局長に於て催されたる新鐵路局長歡迎會に臨み三十一日午後三時八分四平街に來り四鄭局員の歡迎を受け翌日早朝四平街を發し北京に向へるが四鄭局長は大連に乘する筈にて或は其他相携へて留京するや計り難しと云ふ兩局長の活躍は兩鐵路をして總ての事業を促進するものと推測し得べし

◆結氷中測量 四鄭鐵路鄭家屯より洮南に到る實測量を結氷中になす事の便利なるより近く是れが側量に著手すべしと云ふ

◆產米と信託

◎新設產業會社

◇滿鐵沿線の產業勃興

趙子爵其他の發起◇趙重應子外十氏の出願に係る忠北產業株式會社は一月三十日附を以て許可されたり今其內容を聞くに該社は清州を根據として忠北京鐵三道に跨り內鮮人共同組織にして清州及び京城大田の各方面に亘り資本金二十萬圓を四千株として拂込金を以て倉庫業金融業委託販賣、產具製作苗圃の經營をなし地方產業の開發に努め

殊に木浦に於ける

米の聲價高く多大の好評を博し居れり之れ一つに官民一致協力の致す處又工業の如きは繰綿業を筆頭に製油、精米等異常の發展を呈し繰綿工場の如きは協同里光州、潭陽、榮山浦、南平、木浦、麗水等に合計十八の工場を有し三井物產の繰綿工場及び木村精米所工場の如きは籾殼を利用して動力となし百馬力の吸入瓦斯エンヂンにて一日の燃料籾殼五百貫乃至六百貫目を消費し居れり之れが計算を聞くに一貫目一錢五厘內外に

石炭にする時は

少くとも千二百斤內外を要するを以て此の價格十五六圓を要し、籾殼の使用は裕に牛額にて足るの利益あり之れ一つに米の產業なる中心なりて浦の外產米、水產物等の集散市場となり產米の聲價高く…

◎製紙原料の自作自給成功す

製紙を製造する事業は有望なりと認めらるゝも其の原料に必要なる黄蜀葵は是非とも之を內地より移入せざるべからざるを以て不便少からざりしが總督府に於ては黃蜀葵に就て研究を重ね大正七年に於ては北道廳に囑託し黃蜀葵を栽培せしめ日本內地の主產地より種子を取寄せ試に各部に栽培したる所何れも良好の成績を示し同年秋に三千五百餘貫の收穫を得たり此の後先作付けを見るに至らば將來料格の聲價と相俟つて慶北の製紙額は頗に著しき增加を示すしと云々(大邱)

◎出穀薄らぐ(群山)

出穀狀態は近時著しく衰退したり▲群山に於ける出穀狀態の旺盛なりし時は最近一日五千六百叺の出廻りを示したるも昨今稍に至りて殆ど半額となりたる爲めにして而して昨今の氣配も再び前日の價格に歸るが爲め寧ろ出穀を見合はす氣配なるも家は何れも稀なるが如く之を聞く是れ出穀減退の最大原因なるが如し而して之れを昨年の出穀に比較するときは昨年の昨今と殆ど倍に出るもの、如し

◎平壤で賣れる雜誌の種類

◇朝鮮人間に雜誌…熱心…朝鮮人達がこんな雜誌を讀んで居るかと…雜誌の種類を一通り聞いて見ると先づ次の樣なものがその代表的なものである

◇子供の讀物としては第一日本少年の兒には幼年世界の四十五六部に次いで幼年俱樂部の三十五六部、日本少年の三十部內外がその主たるもので少女の兒には少女の友、少女世界、幼女の友、少女畫報と云つた風に男の方と變りはない

◇その次には婦人連が、どんなものを見て居られるかと云ふと、その一ばん部數の多いのが婦人世界で實に二百部以上に達して居る、次いで婦人界の百五十部位、主婦の友、婦人之友の四十六部、婦人畫報の三十部內外、婦人公論の二十四五部、女學世界も同樣三十部內外の讀者があるが妙なことには二三箇月前から婦人公論の讀者が減つて切り頽ねて此頃では二十五部位の月極め讀者が出來たと云ふことであるが、これも與樂連の頭が餘程進んで來た結果かも知れない

◇男の讀む雜誌として、ソコで同店員は語つた「何んなものが向くかと云ふと先づ中央公論の四十五六部を筆頭に太陽の三十二三部、中外の十六内外それから實業的方面の雜誌では實業の日本が四十八部位に商店界、實業界、ウヰンドータイムス等の各十部內外、其他一二宛の讀者位で比較的他の雜誌に比して少いのは商店向の雜誌である、要するに此の商店主は餘り雜誌を讀んで研究せぬのかと聞くと先づ忙しいからでせうと答へた」

◇茲に表はしたものは何れも月極めの購讀者の實數のみであるが此の外店頭で買ふものも隨分あるが然し何雜誌が幾らと云ひたてるほどの數には達しない、雜誌は先づ此位にして近藤らしい新刊書は聞くと別に變つたものもない樣ではあるが、面白い現象の一として近頃朝鮮人の…熱が…

◎水火の責苦

石炭と水道(長春)

給はがきと云へば朝鮮人が…去つて終ふと云ふことである昨冬來欠乏に窮乏を告げたる長春の石炭界は近頃に至り其の缺乏甚しく一方に水道給水の不足と共に現在の長春は殆ど水火の責苦に苦しめられ居れる狀態なるが之れに就て聞く處に依れば昨秋の軍隊輸送及び一般來の歸還兵輸送等により貨車配給上の支障を來したるにも依る…は勿論なるも

最大原因としては

滿鐵に於ける季節的の燃料缺乏にして貨車の四十五噸積の大貨車を全部以て運送力に大減退を來すに至り殆ど二十五噸積の車のみを使用して滿洲の石炭は…等支給の不足を限定し…供給の必要あることゝ困窮せる

哈爾賓及吉林方面

に於ても常供給せざる可からざる…て長春に供給せらるゝは優定の…殆ど半額は充たさざる位なれば…需要者の苦しみ一方ならざることであり…城內の支那人間に於ては石炭の…因る打擊は日本人以上にして一噸二十五圓と云ふ如き

突飛なる高値にて

…人居らざる…困難…殆ど此れ迄購入中々…の不足にて苦しむ…休業なし居るものあり…業者も少しものも多數ある由なるが此外燒酎醸造商其他にて…ものもある由なるが此の間に在りて

黑辣手段を弄し

各方面より日本人の手を廻して其れを商より買ひ價格にて買入れ其れを斤二圓乃至二圓五十錢にて賣却して多大の利益を得居る支那人も亦日本人にても常に一噸より少用せざる者が二噸乃至三噸の註文をなし其れを支那人に賣却して

不正の利を食り

居る者もありとの事なるが斯業者に於ても供給方法に就ては充分の注意を拂ひ多數量の註文を謝絕して成るべく少量宛にても一般的に給せんとの方針なりと聞くが請求者の增さざる限り當分此の困難は脫却し得ざるべしと而して現在の

價格は撫順塊炭

一噸十一圓三十錢を切込十一圓十錢なるが從來は利源石炭の優良なるものを選びて引取り居たるも現在は不當の次第に受け入れ居る爲め塊質非常に粗惡になり居れりと

	人口(總督の內地人)	
元年	一八〇三一	六、〇二八
二年	一七七二	六、〇〇八
三年	一五二二	五、一四〇
四年	一四六七	五、二九八
五年	一四九七	五、五七八
六年	一三九九	三、三六八
七年	一二六八	四、五四三

◉連絡船上の客

三日午前入港高麗丸二等客 …郎、浮洲茂雄、…田與一郎、石井幸次郎、…三郎、星野和熊、岡重三郎、古河末虎、何宗治、濟何宗欽、村田人三郎、西尾辰三郎、加藤勝之助、谷口利義、…丁韓隈、劉子賢、何宗孟、逢心、逸問、永三千二、三郎(六十四名)

氣象豫報 六日(金曜) ▼氣壓の配置▼ 高氣壓 …日本海南部七六二 低氣壓 …臺灣北部七八〇

(壬子) 大正八年 … 二百十日 三月十九日 …月二十日 …

演藝案內

有樂館 …活動寫眞 …

◉浪花館 …

◉黃金館 ◉クリスマスの前夜 ◉海底二萬哩 ◉海底六萬哩

◉大正館 ◉戰死大尉 ◉鐵道王の娘 ◉荒鷲四郎

◉舊劇 木曾の仇討 ◉新派 つきぬ恨 ◉活劇 怪城

壽座 …

文樂座 …

質 田村質店 大口 當金町長谷川町入口 電話二九一六番 商品擔保專門取扱

漬物問屋 大阪市南區…森內商店

賣藥請願

たんせきぜんそく 見る間に切れる!

嚴寒となつてたんせき、ぜんそくが愈々流行出しました。普通の風邪心地がたんとなりせきとなりぜんそくとなると最早油斷はなりません、捨ておくと肺炎、肋膜炎等に變じ遂には

肺結核の原因ともなります

永年痼疾のたんせき、ぜんそくの人は勿論、本年始ての人も早く龍角散を服用なさいませ。

龍角散は香味爽やかにて服みよければ如何なる虛弱の人、子供にも適し、服む度びに精神ハツキリと蘇生せしめ、咽喉の苦しみを除き、數年頑固のたんせき、ぜんそくも薄皮を剝ぐやうに自然と快癒せしむ。

かゝる人は必ず試みよ

● たんにて常にゴホンゴホンと惱む人
● ぜんそくにてゼイゼイいき切する人
● せき頻に出て夜中オチオチ眠り兼る人
● 流行感冒より起るたんせきの人
● 肺病にて常に力なきせき出づる人
● たん臭氣を帶び時々血の交る人
● 百日ぜき又はしはがれ小兒
● 音聲のかれ又咽喉のいたむ人

定價 三日分 二十錢 一週分 四十錢 …

本舖 東京市神田區豐島町 藥劑師 藤井得三郎 取次 全國各藥店にあり

商況

東京株式特電

三日後場引値

東新 同新 商船 同新 郵船 同新 汽車 同新 鐘紡 同新 東紡 同新 富士紡 同新 東京石油 同新 日清 同新 横濱取引 同新 新高製糖 北海炭礦 南滿鐵 同新 第一 第二 東拓 同新

東京現株中値

三日中値

東拓 同新 朝鮮銀行 同新 南滿鐵 第一 第二 京電 南滿製糖 朝鮮瓦斯 同新 郵船 同新 鐘紡 同新 東株 同新 東京瓦斯 日本石油 寶田 横濱取引

東京期米特電

東京四日前場より 當限 三十九圓 中限 三十八圓八十五錢 先限 三十七圓六十錢 三日後場 四日前場

大阪株式特電

三日後場 宇治川水 京阪電鐵 東紡 同新 合同紡 同新 日本綿 同新 商船 同新 郵船 同新 登島米穀 東株 同新 大阪株式 同新 日綿 湍鐵

寄付 高値 安値 止め 三七、五四 三七七五 三七、五四

大阪三品特電

四日前場 二月限 三月限 四月限 五月限 六月限 七月限 三七〇、七〇 三七五、七〇

大阪期米特電

四日前場より 當限 三十九圓七十五錢 中限 三十九圓三十錢 先限 三十七圓五十三錢 三日後場 四日前場

下關期米特電

四日前場 寄付 當限 先限中限 三六、三 三六、二

兵庫期米特電

三日後場 四日前場 寄付 高値 安値 止め

雜報

●正り高氣配 (定期)

米は大阪高を受け更に買氣を煽り今前場は三十八円の大關附と成り二十錢の新高値み附けしが夫れより大膽が底意高含みの折柄惣ち人氣を刺戟し今朝は三十六圓五十錢まで高値となり

高二三十錢

多少の商談行はれたり

●洋紙は持合 (閑散)

期に入りて商談なく沈靜の如く呈し居れるも併し他商品の如く不振を示さざるは各大手筋の積極的東業外國強固にして昨年末にも向投物現れざりしなどに因るべき大口の買入は先安見越にて買及び特約販賣業者の會合に於て卸値は昨秋以來の標準を崩さいるに收めたれば劃分內地市價の軟化望まれ難き模様なりといへば大勢は天張前報の如く晩春の頃迄中盜な持合ひ結局後何れかに變動を來すに至るべし

●砂糖限先高 (精糖)

は庭味糖硬勢の會社値上を受け今回の

十六圓四十錢の値

會社値

發表

せし趣にて當市況も一般取引は十七圓四五十錢を完全に實行せらるるに至りしが會社値の發表に至る二三四十方の割安値は維・見て更に幾分の引上げを行はんも宜ろあり

●白米小締まる

白米は原料高連れて二十錢方を引締め卸値四十二圓六七十錢を唱へらるゝに至れるか原さの採算上尙不引合ひ模様なるも現在小賣値との關係もあり精米所に於て引上げを忍び居れるもの如く何れ原料の如何によりて更に引締むに至るべし

●鐵材持合ひ (鐵材)

は新春に入り投げ、思惑たる一時の下過ぎ反動として各種十圓乃至十五圓方を引戻せしが前途商樂觀を抱くに至らざる一面目先下落を促すべき新規材料なきを以て此處み業者も聊かか氣迷ひにあるが如く依つて相場は不動の儘に推移しつゝあり

●穀粉類強硬 (穀粉)

類は前報の如く夫々値上げを實行せられしが其後原料益々高騰なると各製粉家の注々當みに販賣店にかける荷廻り恋の如くなれば傍眼先一段の騰貴は免かれ難き傾向なり

●寒天輸出不振

寒天は目下製造期なるも天候不適當なる爲め產地に於ては製造を見合せ居れるが海外よりの買氣は支那歐洲兩方面とも買氣乏く商況閑散を極めつゝあるが目下は支那向百七十圓歐洲向百七十五圓見當の唱へにして當業者中には今後の海外輸出については昨今の如き不振の維持すること無かる可く晩春那及歐洲方面より買氣到來するに至るべしさて樂觀し居れりと

●礦油市場閑散

月初市況沈滯市場は依然見送りの姿にて頗る閑散なるも相場は維持を招致し最近一本油物四十錢見當と呼ぶに至り一人氣なり

燈火油

の昨今の市況は日石寶田一二十錢方の合計筋かも依然強硬なると尙需要期中にあるため油物十二圓見當迄に居れるが目井不要期なる商地よりの輕油も唱始めらるゝこと、で先安は免るべし

輕油

は昨年正月にさざるべく漁地の需要殆み休漁せるより此方面の需要

●塗料閑散不味

塗料の需要期は石炭を始め一般せるも燃料が動き而して昨年前月中旬來の堀み持合ふ輕發油は低廉の不況により能く需要なく十七八円の相場み居れ 豆粕製造業の不況より僅か呼び居れり器械油は在荷漸く潤澤にて越月後氣比更に緩みマシン油物は八円紛時疑はしき成行也

●内地麥軟調 (小麥)

は內地粉製品側の頑强なる買控に從ひ當市場の人氣崩れいて軟調を辿り最近四升五合より四升五勺見當を唱へ月先前下押さん形勢なり斷く當市場の人氣は悲日變化せるに相俟て農家の賣物の出來も一向に目立たず極めて手控の態度は僅かにして本品の下押は當然の徑路なる可し高價み居れ

●大麥

は外米代用として可成の需要ありしが漸く潤澤にて三月限は三十九圓見當なりしも先月下旬以來は在荷減じて先物の高き八十錢方高値を示して居るなり

●麥安

況依然強調にて在荷少く七十錢と十錢方が高値を維持し人氣を見て

●硫安豆粕奔騰

硫安及び豆粕相場は先來大騰に於て强調の成行を示し居りたるが豆粕相場は月末に至り近が一段踏切に於ても高値に一寸下向き成行月二月限に於て何より旋道を提して切少みざるを見越し東京四六月物を購入する事を得るより七十錢方の高値を示し居れるが合下物に於ても東京連市物商に大凡を見越し東京四六月物は三十五圓四十錢方を唱へ豆粕は一般安の先高を見越され豆粕の大勢は先高を見込まれ以上の如き見物にて前途の品物に關係より二三月物强勢となるに依るべく相場は前途の品物の需要增加なりしを以て

●北海鹽魚類 (鹽)

東京表は鮮漁無に小漁類高値なるに拘らず市價連れ居て相應に見越し不況なる品は小賣新春二十錢方の口物を當時に低落せし上もも漸く品切れの爲め二十錢の上を見越し新春時代を外づれて新漁期になるに依りの者は次第に品少く買入は入荷皆無なるもの價格不振なりし見越し

▲千鯛 本品は年來輸入品を以て先物高値の傾向にあるも内地品の人氣も強く新春人氣にて買人氣の最近五十錢高の形狀なる横濱表より注文入り込み漸く上伸の思惑の荷動き出廻りの聲あるも

▲鯖 上海表は最近南産物に見直りの入荷にて或は近き將來に好音信に接するに保し難きも目下鯖の産額は一般に不振なる事を傳へ見込みとして買控の呼聲も立たざる事の模様

▲助宗子 出品は十一貫三百目み積み入荷合の市況相知らずの閑散持續にてカム上日より瓜廻りの高値を保ちたる許りなれば商況少時の間は大荷なき動き瞬を見越し待望

下關相場

▲朝鮮米(不變) 其後入荷減少の爲め産地の賣物なきと云る事情により今朝米は七年度産收穫の見込として人氣を支へ居るも米相場は別に變らず

▲大小豆(小麥) 大豆は昨年地方筋の買氣引立たざる爲め朝鮮の方は回復の兆なし豆は中々の上昇なき上朝鮮を以て一段と出廻り見込みにて變更

▲同 内地大豆 四十三圓三十錢

▲朝鮮白米 四十三圓五十錢

白米 四十三圓五十錢

錦川海大豆 二十一圓五十錢

(仲買)

仁川米豆取引所仲買人 仁川港町三丁目 仲買店 電話長 九〇五番

生魚市場

京城日丸市場 漁人の錦正休みにて生魚の相場も漁減少し鮮魚は少なく出廻り前日より値上げ 大形物一尾十錢前後の高値を示したり

仁川期米

▲四日前場 (我然爆發す)

第一節前後 强硬の續先大阪前場三十七圓五十錢迄の一錢二十錢を飛ばし人氣沸騰し當限三十七圓九十錢五十錢より三十八圓十二錢五十錢と躍進し

方の大上放れ入電

圓八十五錢と十七

八丁高値は寄付た

も買氣滿々たる爲さて暴騰に至り

(三巴仲買店)

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 振替口座京城四〇二番 電話長一一三一番

▲ ふり三十八圓さ 大阪門は又賣物多く七圓九十錢中の中九十一錢引 第二節當限四十錢に於ては一錢と十二錢の持上げ一錢引の七圓さ第三節當限四十錢の新先メ七錢よりの引上げ 第四節は十一錢八十錢と引續き

人氣愈々沸騰

更に二十錢と新高

値に爆發

第四節當限三十八圓メ七錢より人氣の賣物に壓され十八錢よりメ盛に賣物が出盛りの處より十錢の引上げ第五節當限十七圓さ盛返し六錢引前々活況に大曲内行はれ意外の大激戰を演じて散會したり

仁川米豆取引所 四日の四月限

前場 寄付 高値 安値 止め

前日との比較

十二錢 先限一三十圓八十五錢九十... 均値メ六錢 三十八圓平均...

大五仲買店 仁川米豆取引所仲買人 店主 豬飼政吉 電話長 三〇九番 自宅 六〇一番

北濱たより

▲依然小相場

式の探算も無論時の好配當を以て準として見る事は出來ぬけれども何株にもせよ現在の配當かと誤すてもの生して探算する人も八朱から戰前の平時に於て五朱配當の市價まで買はれてあたに於ても戰前の高からない値頃であるかと今日でも持續すると思ふが充實して居るのであるから採算上より見て今日の株價は割合に安くないのである

太仲買店

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 電話長 四〇番 振替口座京城

買餘地少なしと云ふの強弱論者の説ばかりのみ論ずる時は出來ないのである然ればこそ周圍の市情は面白から云ふことであるも左も頃みして氣の減入るやうな不景氣な事ばかりであるにも拘らず安値には利を拔くに吸々として居るのは會社の配當が殊高なのであるも昨今の株は値上りよりは低落して難き値頃に達し居れるも四圍の情や人氣の上よりは買ひ難いといふ板挾みに逢ふて居るのであるから羽目を外して一段安値に引き込まれたるが一段安に踏き上げらるゝ事もなからぬに限り元は依然小相場の範圍を徘徊するに過ぎないものであると相ばれるのである

白米小賣値

四十二圓六十錢

四十二錢五厘

白米標準値

株式會社仁川米豆取引所仲買人

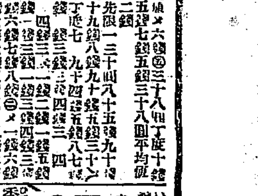
高田仲買店

仁川海岸町 三丁目 振替三八一 電話長一〇〇 電話長一一九

●前金御注文は紹介不要候 ●營業案内及營業時報呈上

前場當限三十六圓五十五錢四十錢 中限三十五錢 先限...

仁川米豆取引所仲買人 倉重商店



角力 毛谷村六助 廿六番

百二十五席 桃川桂玉口記 浪上義三郎速記

秀吉公は眞赤になつて怒つた、此のお方が赤くなつたのは山王樣のお前立の樣でございます、諸侯方も手に汗を握つて居りました 秀『コレ無德、吾を指して惡人とは何を以て申せしぞ、苟くも一天萬乘の君を守護いたし、下萬民を撫育して政事を正し四海を治めし故四民泰平を謳居るは皆予の功ならずや、身に些か犯したる罪科は無い』 五『默れ、汝は元尾州中村の土民の子にして、信長公に引立られ天正十年六月本能寺にて信長公明智の爲討たれしに、汝は中國より引返して山崎表に於て光秀を討滅ほし、三法師秀信公を以て織田の家督を相續させべきに、美濃の岐阜にて僅三十五萬石を宛行ひ、御連枝の信孝を殺し、信雄を追退けて織田の天下を奪ひ、吾こそ天下の主將なりと號して、從一位關白の爵に昇つて今日の榮華は何事ぞ吾こそ天下を奪つた國賊と白状いたせ』 吾も又速かに白状いたす汝が云はねば吾も云はぬ、如何に國賊返答あるか』と云ひ石衛門は突ッ立上つて繩取のを引搭ながら縁端へ近づかんといたす、人々は驚いて前へ立寒がる、流石の秀吉公も呆れてしまひ、秀『此奴は狂人じや、何で斯様な者を予の目通りへ引出した、其方には數居申付る』係りの三成へ押しぶちがかゝつて閉門となつたが、三成は醫い目にあふものだ、秀吉公は其儘奧へお引取りになりましたが、秀『賞に憎むべき奴は無德道人、前後に無い嚴刑に行つて遣りたい、其方共考へて見イ』○『左様にございます、牛割きにいたしたら如何で』秀『それも面白くないな』▲『逆磔刑は如何で』秀『それ等は皆有り來つた事である、新工夫に何か無いか』○『大地へ無德を埋めまして、首だけ出して置き、竹の鋸でゴリ〳〵挽かせましては如何』『其の苦しみは一と通りでありますまい』秀『鋸挽きか、それも宜いが面白くないな、何うじや、予が考へたのであるが、釜煎にして遣らうか』○『ハア、何ういふ事をいたしますので』秀『先づ大釜へ油を入れて釜の下を焚くので、油はグツ〳〵煮沸て來る、其の中へ彼奴を打込んでくれよう』○『成程是は良きお考へ、それが宜しうございませう』と茲に京都の七條の磧へ矢來を結廻しまして、其の中央へ大釜を据ゑ、中へドン〳〵油を入れて下から焚立てまするさ、グツ〳〵油が熱て來る、其の中へ打込むといふのですから實に珍らしい所刑でございます、市中の見物は矢來の周圍に集まつて見て居ります、其內に長谷川竹丸が附いて足輕小者が前後を圍み、裸馬に乘せて連いて參り矢來の內へ引入れ、馬より引下して一と通り罪狀を申聞けて居ります內に釜の中の油は熱立つて來た、釜の傍に大きな片口の中へ饂飩粉が解いてある、五右衛門を投に引懸けて饂飩粉の中へ突き込んで黄立つて居る油の中へ投り込んだ、是が天婦羅の元祖でございます、矢來の外に集まつて居た見物が箸を持つて待つて居た『親方、跡は五郎市の揚げかな』そんな物はありはしない、五右衛門の釜入りの事と云つて名代の所で、鍾の正面に釜があると、淺黄のお仕着で五右衛門親子を引出しまする、五右衛門は釜の中へ飛込んで親子の情と見るて五郎市を差上げて居る、處へ女房のおかつが覚け來つて、一と目會はしてくれといふ慾嘆、五右衛門が五郎市を釜の中へ打込む時に、熱いといふ些との間、恐い事だと思つてくれと五郎市を打込んで自分も往生してしまひますが、本來は油ではないさうでございます、湯がくらいふから湯に違ひない、五右衛門の辭世は我が爲め湯がく刑の九つは蓮ご消ねてなご恐るべき

九星問答

(問)何の新聞の九星欄にも『害』だとか『のぞく』だとか『赤口』だとか記入してあるのは何であありますか(何度生)

(答)察するに質問者は一月十四日の本欄を見て質問せられたるものでありませう『害』とは二十八宿の『のぞく』とは、暦の中段の『赤口』とは七曜でありますが、之を說明するにのは迚も一朝一夕では申上げられません、又ごちらかと申せば餘り斯な迷信に屬するこごは若い御方々には禁物だと存じます、只強て掲ぐる理由は、昔の御方々が『二十八宿』や『七曜』や『暦の中段』によつて日取を決める習慣があるので何處の新聞の九星欄にも出してる譯であります……ソレは昔は夫々弊な日取の記入してある暦が段々無くなつた爲で、昔の御方は又それが無いと何うも納まらぬ樣

(問)私は明治××年×月××日生の男子でありますが賣紙掲載の九星欄獨特の判斷法によつて運勢を見て頂けますまいか(仁川失敗生)

(答)折角ですが御斷り申します運勢の判斷なら京城明治町佛國教會下岡村介石氏に就て御伺ふこ宜かるでせう

二月六日

(舊一月六日)

(暦)木曜日 こうさう 東北▲赤口▲八白▲平

▼八白▲熟考に熟考を要すべき日

▼九紫▲平凡にして瓦全の日なり

▼一白▲或は此日飛んだ事を惹起される方面より持込まるゝや知れず

▼二黑▲親しみ深く愉快なる日

▼三碧▲得て力味甲斐のなき日

▼四綠▲思ふこさこの儘ならぬ日

▼五黄▲親愛の深きに互愉快に一日を送り得可し散財を注意すべし

▼六白▲福の舞込む如き嬉しき日

▼七赤▲或は目上の引上あるべし

牛乳 御用 岡野牧場

京城東四軒町 電話一〇六九番

新鮮なる御用牛乳 ですからアスコで盛に買つたら何うです

清美液

皮膚の美人と成るには一名『あれしらず』定價金二十四錢 五十五錢 營業所化粧品店藥店にあり

人蔘に優る強壯劑 淫羊藿エキス

通稱三枝九葉草エキス

主効 神經衰弱 腎臟病 肝臓病 貧血症 胃腸病 性病 リウマチス ヒステリー 老人の衰弱 精力減退

適應症 一、思考判斷力及記憶力の減退 二、讀書勞働の疲勞 三、筋骨の疼痛 四、產前產後及病後の衰弱及疲勞を恢復す 五、血の道頭痛 六、子なき人に良し 七、貧血虛弱 八、手足冷え腰の冷ゆるに良し 九、陰萎遺精及子宮病に良し

定價 二十五錢 三十五錢 一圓 一圓五十錢 二圓九拾錢 送料 郵內二錢 郵外十錢

全國一手販賣 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番

京城特約店 山岸天佑堂 北島支店

流行性感冒の手當

感冒が段々悪性に變化する

完全な手當と療法

咳嗽と咽喉の良藥

今度の感冒に效能も最も顯著なる

ホシ鎭痛解熱藥

定價 十錢 廿錢 五十錢

ホシ小兒風藥

定價 金十錢

全世界を騷がせた流行性感冒も昨今は稍々下火になつたけれども一般から云ふと近頃の感冒は其病勢が惡性に變化して來て昨今其死亡率が段々增加して居る、死亡の原因は感冒が因で一般に身體の衰弱を來し肺炎を誘發して遂に危險症に變化するのである本病に侵された時は初めの輕症の內に完全な手當すれば大槪は併發症を起さず良好に治癒するのである。

而して何人も本病に侵されたならば、責任的に調劑したるホシ鎭痛解熱藥を用ひよ今度の感冒の特長たる高熱及四肢關節の痛みは忽ち消へ去るべし、若し小兒が本病に侵された時は、小兒の體質を基礎として調劑したるホシ小兒風藥を服用せしむれば熱は消散し、痛みは去つて速かに治癒するものである。

而して本病者の內、痰咳を頻發する人はホシ祛痰藥か又咽喉を侵された時は、ホシ復方硼劑散を以て、毎日數回含嗽をすれば速かに治癒す。

ホシ祛痰藥

ホシ復方硼劑散

東京市京橋區南傳馬町三丁目

星藥製株式會社

電話京橋一七八五、三〇二〇、四一七番 振替東京二〇五二二番

御料 御園白粉

十數年の間引續いて高貴の御料に召させらるゝ光榮ある御園化粧品

誰方の肌にも濃淡自在に美しく着き上品な化粧榮えのする御園白粉

尼崎汽船出帆

阪神山木浦下ノ關大阪行 秀吉丸 二月四日後四時 君が代丸 二月十一日後四時

大阪神戶下ノ關山木浦行 大有丸 二月十三日後四時 神代丸 二月十七日後四時 赤城丸 二月十八日後四時

仁川海岸通三丁目(電話五九番) 高杉回漕部

朝鮮郵船出帆

▲敦賀行 浦潮、城津、元山、經由 平安丸 二月十日 元山發

▲浦潮行 大阪發、門司、釜山、元山、城津、清津經由 越後丸 二月十二日 元山發

▲雄基行 原釜山、各港經由 京畿丸 二月九日 釜山發 咸鏡丸 二月十一日 釜山發

▲元山雄基線 元山起點各港經由雄基 隱岐丸 二月十三日 元山發

▲大阪行 釜山發、城津、元山、釜山 平壤丸 二月五日 元山發

▲關門行 雄基發、清津、城津、元山、江原道經由 忠清丸 二月二十日 釜山發

▲金剛山遊覽便 元山發長箭 孫茂丸 二月十一日 元山發

▲鬱陵島行 釜山發浦項及各地經由 雄基丸 二月十五日 釜山發

▲濟州島行 釜山發 永涌、木浦 群山丸 二月八日 釜山發

▲濟州島行 木浦經由、寮珠島經由 慶興丸 公州丸 二月六日 九日 木浦發

▲釜山麗水線 釜山、麗水間往復 木浦麗水線 麗水、木浦間 隔日一回出帆

▲多島海行 木浦發多島海各島行 慶興丸 二月 日 木浦發

▲木浦行 木浦各地經由 全羅丸 二月六日 仁川發

▲海州行 仁川發 江華島經由 鎭南浦行 仁川發

▲大連行 青島行 江原丸 二月 日 仁川發

本社 京城南大門通(電話長一一一)

仁川 元山 釜山 木浦 京城 佐藤 山岸 元山 仁川 大阪 浦項 代理店 松原 運送店

其他各開港地ニ支店出張所アリ 電話長一〇一

汽車發着

京釜線(南行) 同(北行) 京義線(北行) 同(南行) 京元線(北行) 同(南行) 京仁線 湖南線

京城 南大門 龍山 永登浦 水原 成歡 天安 大田 新義州 平壤 開城 元山 仁川 前 後 (時刻表 判讀不能)

京城日報 第五版

[illegible]を援助せられ[illegible]請求あり之れに對し在哈爾[illegible]一、十二月二十三日[illegible]十三名オロワンナ[illegible]着し直に修理をなし[illegible]卒を[illegible]る間[illegible]於ては十二月二十[illegible]日露合[illegible]鐵道の現状に鑑み全會一致[illegible]管理下に[illegible]ナヤに到着[illegible]同二十五日鐵道院[illegible]工卒と交代して作業を開始せり[illegible]露國機關庫長及職工長は我職工[illegible]以上は假日[illegible]援助の概要にして之に關し[illegible]は日露兩當局者間に協定[illegible]要し一月二十四日イルクーツク[illegible]の資金も[illegible]回收され從つて市[illegible]況は月末日銀支店貸出高四千萬圓[illegible]の戸額に達しこれが市中銀行より

豫算總會終了

在東京 吐峰生

◇衆議院豫算委員會は、本日(三十一日)を以て大藏の質問を打切り、明一日より愈々各分科會の審査に移す事と相成候。豫算總會の審定は最初一週間にして一昨二十九日を限りたるに、二日間質問を延長したるは、委員諸君の勵精と謂はずんばあらず

◇吾人は過去十日間の議事を傍聽して三大事實を腦裏に印刻せしめ候。第一は原首相以下各大臣の無氣力也、無勇也、第二は在野黨の無能也、第三は政府議會共に識底經綸貧弱にて、共に世界改造の大業を談ずるの資格無き事實に候

◇惟ふに原首相の勵精振りは、歴代首相の企及し得ざる所、帝國の議會史上に一新例を啓きたるものに候。首相の答辯必ずしも簡明緊密を極めたりと言はず、中には隨分議辯に類し不明瞭に終るものもありと雖も、其の勉强振りは大いに推賞に値し候。殊に各般の問題を一手に引き受け、苟くも事の政府の高等政策に屬するものは悉く自ら辯じ自ら答へずんば已まず、眞に立憲的宰相の名に背かずと謂せられ候

◇之れに反し在野黨の不振は不可解千萬に候。或る程度憲政會は政府に質問せざるにあらず、議場に喧嘩せざるにあらずと雖も、役者が貧弱にして内容亦空漠粗漫也、而して政府は之を迎ふる事恰も網の籠下を翫弄するが如し。尾崎、武富以下の老將に至つては深く壺中に隱棲し、最早世代と交渉無きものゝ如し、野黨の振はざる所以無きにあらず候

◇若し此の際憲政會の爲めに圖らんか、積極的攻勢に出づるか、黨派を超越して政府包容の途に出づるか、二者其一を取らずんば不可なるべからず。然るに憲政會は未だ其何れにも徹底せず、寧ろ中間を彷徨して自ら煩悶焦燥するものゝ如し。吾人在野黨の爲め、將た憲政の進歩の爲め共に之を採らず

◇若し夫れ政府、議員の無思慮無識見に至つては、失笑噴飯禁ずべからざるもの之れ有り候。今や全天下の識者は、世界を再造すべく、全智全能を傾倒して講和會議に活躍し、列强の國民各々自國の委員を聲援して、平和會商の獲得を多からしむるに努む。假令彼等の主張に僞善あり驕慢あるにもせよ、世界改造の大運動に努力し貢獻するの熱意と光景とは、何人も之を窺視するを許さゞる一の[illegible]

◇然るに日本帝國の[illegible]の政府は秘密と不言實行とを唯一の隱れ家とし、議員は亦時局の眞相を道破し、國民精神を鼓舞作興するの能力あるもの無し、二三議員と政府者との問答の如き、寧ろ彼等の不用意無識を暴露するもの一種の國辱たらずんばあらず候

◇この一事は當時議會に對し特に重大なる不滿足を覺えざる能はざる所に候。吾人は政府が何故率直開放的態度を以て、帝國の使命を說き、議會は又何故正々堂々帝國の主張要求を中外に宣明して國威の發揚に努めざるかを怪しむ帝國議會を以て政友對憲政の爭覇戰と做すは、最早や到底時局を談ずるに足らず、吾人は日比谷の一言一動が、直ちに巴里、ヴェルサイユに反響して、世界の文化に至深の影響を與へ、世界改造の偉業に、不朽の大功績を貽さずんば已む能はず、これ當時議會に臨み政府議會の兩者に對し特に吾人の要望する所也。過去十日間の議會を精算して吾人の所感乃ち斯くの如し、吾人は讀者と共に益々彼等の緊張を促さずんば已まず候(一月三十一日)

總復員(二)

某軍事通談

一般產業の復員に際して各國が齊しく其の將來の國防に顧念する程度は大に吾人の研究を要する問題であるが未だ其の詳細を知る事の出來ないのは

▽深く遺憾とする所である然し英國の首相ロイドヂョウジ氏が大正七年末、英國戰後の經濟政策に關して言明したる一節に『英國は戰時の經濟に依つて單に商業上のみならず國防上並に治安上必要缺ぐべからざる產業の存在する事を發見したが此等の產業は將來如何なる代價を以てするも是れを衰微せしむる事は出來ない不正の攻擊不正の競爭に對して飽迄之れを確保し勢力之れを發展せしむるの方策は最も慎重に之れを考慮しなければならぬ』と又英國にては鑛物資源を英帝國の國防又は產業上有効ならしめんが爲めに其の一地方に於ける

▽鑛源の發達に關して其策することを一任務とする英帝國鑛物資源局なるもの設立を見んとしつゝあるが此等の一斑を以て見るも其の企劃を推知する事は出來るであらう戰爭の爲めに國家の管理に移すに至つた水陸の交通機關通信の施設を再び全く民營に移すか否か是れが爲めに何れの方策を擇するかと云ふことについて復興又は是が助長の爲め如何なる方法を選擇するかと云ふことについては交通復員上特に着目を要する既に斷片的のものではあるが是等の報道を綜合するに各國の企畫してゐる所は單に舊制を復活するに止らず國防と經濟とを

▽調和する點に深く顧慮してゐる樣である而して佛獨國に於ける大規模の海運復興計畫米國當局の鐵道及び通信機關管理制に關する意向等は既に各方面の報道に依つて周ねく知れてゐるが共に是には大に贊成する次第である工業復員並に軍需品の平時的用途轉用等の爲めにも各國は少からざる費用を計上し苦心考慮至らざる無く英國の如きは航空局の所管に關する問題を研究すると共に是れが平時的利用即ち商業空中輸送に關する調査を進めつゝあるを見ても其の一端を窺ふに足るであらう要するに各交戰國の國家總復員に關しては未だ詳に其の

▽一端を窺ふに過ぬ從つて僅に一般の趨勢を論斷する事は出來ぬが追次各國の行はんとする國家總復員が單に舊狀の恢復を目的とせず進んで革進改造を策しる點に深く意を注いで實施せられてゐる事は動かすべからざる現象ではあるまいか今諸交戰國に於て國家總復員の爲めに特に創設又は改造せられつゝある諸機關及び其の任務の概要を示せば左の如くである

先づ英國に於ては經濟調査委員會なるものが創設せられてゐる即ち是れはバルフォア氏を長として組織せられてゐるものであつて將來に於ける一般

▽經濟發展策 に就いて調査協議をなすのであつて又帝國會議は内閣各大臣及び各植民地相より成り戰後母國と各植民地との政治經濟的聯絡に就て精密なる調査及び討議を行ふべきものであつて次に戰後經濟省は大正六年八月に議會を通過したる新省法に依つて創設せられたるもので現戰爭に依つて生ずべき諸問題並に戰爭終了に方つて起るべき諸問題を調査研究し且つ報告するを任として居るのであつて本省の大臣は以上の目的を遂行する爲めに術他の大臣と同樣の職權及び責務を有してゐる又商事委員は閣臣並に民間實業家及び勞働者の代表者等を以て任命

▽平和時代に 移る過渡戰時より戰時に於ける經濟事情に關し調査研究を遂げしむるのである佛國に於ても戰後經濟國民協會なるものを組織してゐる又工務及び遞信省内に設置せられたる所謂敵軍の侵入に依つて破壞蹂躪せられたる地方の產業回復を任として二億五萬法の經費を以て補助を爲し得る權能を有する遞移局なるものもある(未完)

財界の新舊人(24)

西海生

笹岡一實君

東拓支店支配人

東拓は創立以來總裁も三代目となり、理事も大分入れ變り、本社も東京に移つてゐる。京城支店の管掌事務は以前の本社時代と大差はないが、課長の顔觸れも殆ど更つた、唯その間創立以來十年を一日として金融課長の椅子に勤續し來つた人に笹岡一實君がある。君は今では參事の最高級者として、商法上に於ての支店を代表する支配人となつてゐる。

▲

笹岡君は、現時の日本興業銀行理事として肩幅廣き岩佐重藏君が、日本銀行檢査部長より初代の東拓金融部長に就任した時、堅い間違ひのない男として日銀檢査局より引拔いで來たのである。岩佐君が辭しては村田俊彦君となり、更に三轉して高瀨梅吉君の時代となり、三輪の金融部長を經、川上常郎君の京城駐在理事として朝鮮に於ける社務を總攬する今日に至るまで、貸附課長(改稱前)金融課長として續いて來た。いかに不動產金融の擔當者とは云へ、夫々毛色の變つた四理事より不動の信任を得てゐる所より見ても、兎に角にも君がたよりになる人たる事を知るに十分である。

▲

東京市の人、知命を五つ越して居る。日本銀行の下級行員より身を起して、遂に今日あるを得たのだから、京城金融界に於ける自助的人物としては十八銀行重役足立君に次ぐであらう、又すべてを控へ目とし、石部金吉流に堅實な點も、確に君は足立君の向ふを張る。に十分の資質を具へてゐる、何しろ岩佐君の鑑識に誤りなく堅すぎる程堅い人だ。

▲

東拓金融部が殷賑まで甚だ不振の狀態にあつたのは、時勢の關係、重役の乘配方針、土地調査の未了等色々理由もあらうけれど、金融課長として常面の責任者たる君が常に餘りに消極的態度を執り、自發的に進むと云ふ道をとり得なかつたと云ふ事も數へねばなるまいと思ふに君は多年の經驗と忠實な努力主義によつて地位を進めて來た、間違ひない人ではあるが、才氣とか識見とかの方面に於ては多く稱すべきものがないらしい、而して言すれば君は他人よりレールを敷いて貰つて、そのレールを進む人物であつて、自ら道を開き得る人物ではないやうだ、現重役の時代に入り金融部の活動漸く自立て來れるは時勢の變化もあるけれど、新重役のレールの敷き方がよいのであつて、そのレールを君が金融課長として、大いに進行を勵まされてゐるからであらう。

▲

個人としては可哂な好い人であると、支配人金融課長だが、上の支配人はホンの名義だけにして、營ら支配人面をせぬし、任事も支配人振らぬ、社員の最高級者として今は前理事の舍宅に入つてゐるが何かの場合社員の代表となる事さへ固辭してゐる、常に研究し、又自發的に業務の發展を圖り得る人ではないらしい、從つて會社金融部の積極的發展を企圖する當面の人としては稍不足だけれども、川上理事の如き奇策縦横の重役が、その上に居つて指導を怠らねば相應に働く人だらう。

五色饅頭

劍花坊

京城の街も、しばらく黒い布で掩はれた。

これで思ひ出すのは、先帝明治大帝は、この李太王と御同年で有つた、それが八年前に崩御遊ばされた、李太王はこれ程生き延びられた、あの明治四十五年の、さうして大正元年の七月三十日の事が憶ひ出される、僕が赤子の心を訴うた川柳には

二重橋涙のあとの草の色

夢ごゝち鼎湖の弓を抱てあり

と云ふので有つた、花瓣には

バラ〱と御隱天の日の空が泣く

の句があり、すゞ六には

癈兵は喪章巻く手も無き悶え

の句があつた。

やがて八、九、十、十一、十二と月は閲ち、其年は暮れ、大正二年となつた、諒闇の正月、僕はまた歌つた。

あめつちは涙の中に新なり

松飾をした家も、個々見られたので

松飾人さまぐ〱にまばらなる

とも云つて見た、久坊句には

ましまさば四十六年御代の春

といふのが有つた、川柳でも悲しい事は歌へる。

出張所設置披露仕候

弊所今般各位の御引立に依り京城に出張所設置仕候間何卒此上とも御愛顧の程奉願候

西洋家具 室内裝飾品 公立普通小學校用机
式黑板 椅子卓子各種 中等學校用机
鐵棒 手行木 注油式廻旋塔
飛越臺 助木 曳塔機
體操器械各種 優良運動用具教具

京城永樂町二丁目(本町下ル左側)
龍山 松村工作所京城出張所
學校机黑板製造元
京城府漢江通十三番地
松村工作所本店
龍山公立小學校前
松村家具製造工場

實業之日本

本邦化學工業將來如何……瓊川生
本邦製藥工業の發展……
南米アルゼンチン渡航……在米 小松慶也
此後藤男と新渡戸……
教育家薄遇……
頭上の米價……
高くなるか安くなるか……
問題解決の四案 食糧問題……
國民教育 人間のデモクラシー……新渡戸博士
動物デモクラシー……
五千萬圓以上の會社を切り廻す人々
商戰の勇士……五十峰生
二月一日號 東京日本橋 實業之日本社 振替東京三二六

タダデ鶏の[illegible]利を舉げる時が迫りました
本邦創始 養鶏講義
大日本養鶏普及會
東京日比谷前 ウツボヤ書籍店

◎内地產杉丸太!!!
電柱用(武拾貳尺ヨリ四拾尺以下 末口貳寸以上六寸以下)數萬本
足場用(武間以上五間半以下 末口壹寸以上參寸以下)數萬本
其他各種
右廉價ニ販賣可致多數御入用ノ向ハ特ニ御相談可仕候也
京城岡崎町
丸三 幸洋行
電話長二八〇番

第拾九期決算報告

貸借對照表(大正七年下半期)

資產之部	
未拂込株金	三〇、〇〇〇・〇〇〇
家屋	二、九〇〇・〇〇〇
什器	七五〇・七〇〇
受取手形	四七三・三〇〇
貸方勘定	二、六八三・三〇〇
繰越損失金	四一九・六〇六
合計	五六、二三一・七〇〇

負債之部	
資本金	五〇、〇〇〇・〇〇〇
別途積立金	三、〇〇〇・〇〇〇
法定積立金	八五〇・〇〇〇
家屋減損積立金	一、三〇〇・〇〇〇
第一銀行	一、四二〇・二七〇
當期利益金	九四七・四三〇
合計	五六、二三一・七〇〇

損益計算

當期總益金	三、四四五・一五八
當期總損金	二、九七七・五八二
差引當期利益金	[illegible]
繰越損失金	四一九・六〇六
前期繰越金	五二七・一七六

右之通リニ候也

京城競賣株式會社

時計 販賣 製作 仁川本町 岐阜商店

株式會社百二十銀行第四十一期營業報告

貸借對照表

資	金額
一 拂込未濟資本金	二、五〇〇、〇〇〇・〇〇〇
一 諸貸出金	六〇、九六二、七一九・二〇〇
一 他店へ貸(二ヶ所)	[illegible]
一 仕拂承諾見返	三九八、三六五・〇五〇
一 預ケ金	一、八一九、〇〇〇・〇〇〇
一 有價證券	一、六三〇、二九・七八〇
一 營業用土地建物什器	一五九、六四〇・一九二五
一 所有動產不動產	八四六、三七五・〇〇〇
一 雜勘定	一五三、六〇二・八〇〇
一 現金有高	一、〇五七、〇三〇・〇〇〇
合計	九七、一九四、九二九・八四

負	金額
一 資本金	一〇、〇〇〇、〇〇〇・〇〇〇
一 諸積立金	七、〇〇〇・〇〇〇
一 諸預リ金	七四、六六九、七四六・二六二
一 仕拂送金爲替手形	三三〇、二二二・一四〇
一 他店ヨリ借(二四ヶ所)	七、九六〇、五五〇・九〇〇
一 仕拂承諾	一、八一九、〇〇〇・〇〇〇
一 コールマネー	四〇〇、〇〇〇・〇〇〇
一 未拂配當金	七、五一六・三七〇
一 未拂利息及未經過割引料	七五六、〇〇八・五九〇
一 當期純益金	五四九、〇一一・八九〇
合計	九七、一九二、〇四六・一五二

利益金勘定

金四拾七萬五千貳拾九圓六拾六錢 當期純益金

金七萬參千九百八拾貳圓參拾六錢 前期繰越金

計金五拾四萬八千拾壹圓八拾九錢

之ヲ處分スルコト左ノ如シ

金五萬圓 法定準備金

金五萬圓 別途積立金

金壹萬五千圓 役員賞與金及交際費

金卅參萬七千五百圓 配當金(年九分)

金九萬六千五百拾壹圓八拾九錢 後期繰越金

大正八年一月

株式會社百二十銀行

取締役頭取	安田善三郎
取締役副頭取	小川爲次郎
取締役	小西又助
取締役	森本清兵衛
取締役	右近權左衛門
取締役	内藤爲三郎
營業部長	森脇茂
監査役	河村清至
監査役	渡邊岩
監査役	籔田善治郎
監査役	安田善五郎

監査役籔田岩松氏任期滿了ニ付改選セシ處再選重任

冒險女優界の大王ヘレン、ホームス孃主演 ミューチュアル社作 十五篇卅卷 特別權利附
徹頭徹尾連續大冒險活劇
冒險大王海陸無茶苦茶の大活躍
第壹回 ヘレンの冒險
鐵道王の娘
第四卷第一篇 二卷上場
痛快、壯快、清快、無比、風を起し波を蹴り雲を衝き汽車、自働車、汽船、ボート、無茶苦茶の大冒險大活躍
■重なる出演俳優■ ヘレン、ホームス孃 レオマロネー氏 エルフアレー氏 レーモンド、スコット氏 エラ、ロイド氏 ビーマクゴワン氏 ジー、マクダニエル氏
●先般他館に上場されたる短尺物と御混同無之樣願上候
新派 活悲劇 戰死大尉 全四卷 久保田信一派出演
舊劇 荒鷲四郎 全四卷 澤村四郎五郎一派出演 海底と空中大忍術
五日より九日まで五日間
天活特約 黄金館

高級滋養強壯料
ペルミン
主要成分 有機鐵 有機燐 カルチウム 蛋白質 脂肪 マルトーゼ
特徴 可溶性 易消化性 同化高率 美味 服用輕便 貯藏耐久

◇各地藥店、食料品店販賣
◇說明書御申越次第進呈
適應諸症 神經衰弱 精力減退 貧血萎黄病 病後產後 妊娠中 授乳中 結核素質 腺病素質
東京 大阪 和光堂

新案獨學 イロハ辭典付
鮮語自在
誰れにもすぐに間に合ふ
必ず上手になる理想的新案獨學書なり
ポケット形 二百頁 定價五十錢 送料七錢 小包代引十二錢
發賣元 京城太平通 京城日報社代理部(振替京城三〇〇番)

京城日報社編纂
最新書式大全
◇定價金壹圓八拾錢 郵税十九錢 ◇總クロース美本六百頁
▲第一部民事▲第二部商事▲第三部刑事▲第四部交通通信▲第五部財政▲第六部產業▲第七部特許意匠商標實用新案▲第八部恩給年金▲第九部警察▲第十部學事ニ分類シ各官廳ニ差出スベキ屆書、申請書、訴狀、願書、不動產及商業ニ關スル登記、契約、通知、催告、答書ヲ始メ河海、土工、郵便電信等ニ關スル同法規ニヨル書式及船舶、土地、家屋諸税、度量衡、特許意匠商標、實用新案、内地共通ノ書式テモ掲載シ一々關係法規ヲ摘記シタル詳細ナル樣式ト勿論官衙官吏法律家實業家教育家其ノ他各階級ヲ通ジ何人ニテモ座右一本ヲ備フルニ於テハ他人ヲ煩ハサズシテ世事一般ニ亘リ公私ノ事務ニ付機敏ニ處理スルコトヲ得ベキ良友ナリ

第四十一回帝國議會

衆議院分科會（三日休憩後）

▼第一分科會（司法省所管）

午後一時半再開、鈴木富士彌（憲政）高木益太郎（國民）兩氏の質問に對し鈴木司法次官は各府縣に一任し來れるも今回三萬圓を計上せり又司法官待遇は從來行政官に比し頗る劣れり依て政府は本豫算にて年俸千九百圓迄昇俸し得る事とせり又司法、行政兩官吏の間に於いて衝突を惹起するが如き事無しと辯じ之にて司法省所管の質問を終り午後三時十五分散會（東京電）

▼第二分科會（內務省所管）

午後一時廿分再開、片岡直温氏（政友）は勞働問題は單に勞働者のみならず下級官吏會社員等の狀態よりも研究す可き必要ありとて政府の方針を質す、床次內相は生活者が物價騰貴の爲め苦むは事實なり仍て政府は官吏には臨時手當を給し勞働者に對しては目下方法考慮中なりと答ふるや更に片岡氏は資本家と勞働者は從來種々の關係あれど世界風潮一新の際なれば之が影響を受く可し右に對する政府の對策如何又現行法は勞働組合發生上に弊害あり行法制定の要無きや如何と追れば床次內相高木氏に答へたると同樣の答辯を爲す片岡氏は尙ほ現行法規中將來勞働問題に煩ひするもの無きや如何、內相は濫用の手心に依り其弊を除き得可しと答へ次いで土屋清三郎氏（政友）は青年團指導に就き政府の所見を質せば內相より夫々答辯あり午後四時廿分散會（東京電）

▼第三分科會（大藏省所管）

午後一時半再開加藤政之助氏（憲政）七年度剩餘金を質すや西野主計局長は明確ならざるも約二億圓ならんと答ふ加藤氏更に登錄稅地價の鑑定に就き政府委員との間に問答あり次に小川郷太郎氏（新政）の歲入豫算々定質問に對し松本主稅局長は營業稅所得稅は逐年累進しつゝあり戰後財界の狀況より見るも今後同一步調を續け得可く最近の實績を標準とせるは却て見積上堅實なりと思考すされど個人營業者在りては多少の消長ある可きを慮り特に百分の三を減ぜり又一割に十圓を增徵せんかの論者有るも少率の增加は止むを得ざる可しと述べ［illegible］

▼第五分科會（農商務省所管）

午後一時半再開野村嘉六氏（憲政）は政府は農務省設置の意無きやと質し農相は將來或は獨立を見るやも知れずと答へ尙野村氏農相間に二三押問答あり野村氏更に國民經濟調査會の顚末を今期議會に發表されたしと迫るや農相は困難を述べ之に就き臨時議會を開く程の要も無く已むなくば緊急勅令に依らんと答へ次いで大塚政府委員調査會の現狀を說明し押問答あり次で物價と通貨との關係に就き野村氏對農相の間に問答あり了散會（東京電）

▼第六分科會（遞信省所管）

午後一時十五分再開、正木照藏氏（憲政）の質問に對し若宮管船局長は米國に貸與せる船舶は一噸保險料五十六萬圓以內使用料七圓以內總計八百五十六萬圓なりと答へ尙日本船の損失十三萬噸の補償法如何との問に對し中西次官本問題は列國共同步調を執るものにして賠償方法未定なるも尙其見積は講和委員に交附し置けり次に釧路丸賠償に就き正木氏對若宮局長間に押問答あり更に正木氏は殖民地船舶を遞信省所管に移しては如何と問ふや遞相右に就ては尙明言し得ざるも其意圖ありと述べ次いで遞相は海洋自由問題に移り議題の的確なる解釋には未だ接せざるも其結果我海運政策に影響無きやに就ては考慮しつゝありと答ふ次いで正木氏補助に就き難詰するや遞相之れ時の勢なりと受け流し次いで肥役電氣局長並に天岡貯金局長より水力電氣及び貯金に就て說明あり之にて質問を終り散會す（東京電）

◇五大國委員會議 聯盟原則決議

五大國委員會議は左の如く國際聯盟の原則を決議したりと傳へらる（巴里電報）

一、國際聯盟は諸國の協力により文明を增進し勞働、衛生、交通、通商等の改善に努め且つ戰爭を未然に防止せん事を期す

二、定期に聯盟會議を開き國交に關係ある萬般の問題を審議する爲め各聯盟國は首相若くは特使を參列せしむ

三、第二項に定めたる聯盟定期會議の開催所は君士坦丁堡、海牙、ジュネーヴ（瑞西の西南部風光絕佳にして赤十字中央社あり）ジブラルタル（西班牙南端英領にして地中海咽喉）とす

四、常設事務局を設け大規模の手形交換所の如く諸國の間に仲介の勞を執り且つ其諸國間に於る抗議、苦情を處理、執掌し聯盟の外交的事務を辨ずべし

五、聯盟國間に紛爭を生じたる場合は係爭各國は爭議解決上左の三方法の一を選むを得

（一）係爭各國相互の合意にて特別審査員を任命する事

（二）海牙仲裁裁判の審理に俟つ事

（三）特殊の仲裁裁判を煩す事

尙ほ其爭議を前記三方法の何れにも附議するを肯ぜざる國は聯盟約違反なりとの宣言を受くると共に其國の全部を除ける聯盟國全部の強制を受け強制を爲さんとする聯盟各國の立法府にて國際聯盟法令の維持が武力制裁若くは經濟上の制裁かの孰れかによりて全うさるべきやを決すべし

六、前項三解決方法の何れにも準據するの合意成らざる場合と雖も各種審理員が紛爭の委曲を審査したる後尠くとも三箇月間は戰鬪を開始するを得ず

七、戰爭開始の已む無きに至らば國際聯盟は戰鬪の範圍を極限し海港の自由を保全し海上封鎖を限定するに努む可し若し爭を第五項の三方法の一に委ねん事を需要する聯盟の命令に從はざる違反國に對しては聯盟は其命令の貫徹を強行するに必要なる有ゆる封鎖手段に訴ふる事を得

◇植民地處分問題 圓滿に解決せん

獨逸植民地並に土耳其領占領地處分に對する假協定に就きては未だ細目の決定を見ざるも一般に各國の正當なる希望に副へ圓滿なる妥協を遂ぐるに至るべしと信ぜらる如何なる占領地も獨逸其他に復歸せしむること決して無し目下妥協を遂ぐる方法は關係各國に於て獨領及土耳其領植民地處分に對し委任の原則を適用するとを承認するにあり委任を受けたる國は他の民衆に對し他國よりも一層大なる權力を保有すべく從つて種々委任の形式あるべきが指摘せらる、英國はメッポタミヤ（亞細亞土耳其チグリス、ユーフラテ河流域肥沃の平野昔バビロニヤ、アッシリア二國の大に榮えしところ）の委任を許容さるべく西阿弗利加は自然南阿聯邦の道程を辿りて發展し遂に完全なる自治政府を樹立するに至るべし　英國自治領に隣接せる獨逸植民地に就ては結局英國自治領に併合さるべき事疑ひなく英國委員の考ふるところに依れば委任を受けたる國に對しては國際聯盟之に干涉し義務を遂行せしむる權能を有すべきも蓋し國際聯盟の干涉を必要とするが如き事件は決して發生せざるべしと（巴里電報）

◇行政權附與決議

三十日の講和會議は日本にマーシャル、カロリン二群島、濠洲にニューギニア、新西蘭にサモア等に於る各行政權を國際聯盟成立迄附與するに決したるも主權を與ふる事は拒否されたりと察せらる之を要するに聯盟は何時如何なる國に如何なる形式に依り行政權を與ふるや等の問題に關しては即ち聯盟國民が此委任權を保持するものなり從つて本問題の成行はウイルソン氏の勝利なりと思考せらる（卅一日巴里特約員發電）

◇管理細目協定期

卅日の講和會議は單に暫定的取極めを爲したるに過ぎず即ち右暫定極めに依り舊獨逸植民地に對する委任管理の原則を認むる事となりたるも聯合大國間に細目の協定を見るに非ざれば當分適用されざるやも知れず右細目の協定は追つて討議さるゝ筈なり（三十一日巴里特約員發電）

◇プ島會議と我委員

プリンセス島會議には我が委員としては安達、本田兩氏又は加藤恒忠氏の一人書記官一名と共に出張する事となるべしと（巴里電報）

◇米國大統領動靜

米國大統領ウイルソン氏は二月十五日巴里を歸國し數日間滯在更に佛國に赴くべしと（巴里電報）

◎日本態度讃美 外相の聲明に對し

［illegible］るのみ日本の立場が露國の親友たる立場にあるとは何人も明白となるべし日本外相の議會に於ける最近の演說は［illegible］に親交ならんことを希望するものなり［illegible］と述べ次いで［illegible］に導きたるが如き暗黑なる國民思想に陷らしむるとなし云々へ［illegible］

◇共和黨管理反對

獨逸植民地國際管理の報傳はるや米國上院共和黨議員は大反對を爲し兩國際聯ノックス氏は之れ無用の責任を米國に負擔せしむるものと喝罪しロッヂ氏は巴里派遣の任務は速かに講和を締結するに在り斯かる提議に日を暮し阿弗利加の不滿を買ふは不都合なりと論じ議論喧囂を極む之れに對し民主黨側より暫く忍耐し我が代表者の爲す處を信認せよと說き其の他二三ウイルソン氏の爲め辯ずる處ありたり（北京特電）

◇在露英軍撤退準備

英國は在露軍隊を三月頃撤退せしむべく既に準備中なり尙米佛兩國が英國と同樣の行動に出づるや否や不明なり（巴里電報）

◇米對佛撤兵提議

米國は英國の贊同を得て露國より總ての軍隊を速かに撤退せしむべしとの提議を佛國政府に提出せり（巴里電報）

◇吉會鐵道借款草案提出

吉會鐵道借款本契約に就き日本側は既に草案を支那側に提出せるを以て近く吉林より北京歸來の著なる支那側委員の到著を俟ち交涉開始の運びに至る可しと觀測さる（北京特電）

◎約束手形確實性增進問題 商取引改善策として

京城商業會議所にては商界に於ける在來の慣習上約束手形の支拂所を概ね振出人の自宅拂とせる者多く從つて手形債務の履行上に於ける手數からず特に期日の如きは動もすれば遲延せんとする傾ありて

▲手形の確實性　は頗る薄弱なるやの嫌ひありたるを遺憾とし先年約束手形支拂所の一策として約束手形の中支拂場所を銀行とするものに限り銀行は之に特別の便宜を與へ割引料の如きも自宅拂の約束手形よりは低率ならしめ以て手形市場よりは自宅拂約束手形の數を減少せん事を企畫し之を銀行集會所に提案して種々協議する所ありしが銀行側に於ても市場に不確實なる約手の横行するを憂ひ居たる折柄なりし爲め直ちに贊同し銀行拂の約手に限り特に低率なる割引料を以て取扱ふこととなりたる爲め爾來

▲約手の流通　上に大變革を來し從來銀行と取引なかりし者も漸次銀行との取引を開始して自宅拂約束手形の數は著しく減少するに至り延て今の如き比較的進化せる狀態に移る事となりたる次第にして往年の混沌時代に比し頗る面目を一新せる觀あり而も約束手形の存在を否定する能はざるは勿論銀行に於ても現に之が割引を爲しつゝある趨勢にして銀行を支拂場所と指定せるものと自宅を支拂場所とせるものとの差は即ち

▲步合の高低　に存して之に過ぎず斯ては約束手形の資性は普遍なる能はざるの憾みあり商取引の圓滑なる進展は勢ひ阻害さるゝのあるを以て會議所にては更に徹底的に約手の確實性を確保する爲め銀行を支拂所とせざる約束手形に對しては［illegible］べしとて近く常議員會の協議を經たる上此提案を銀行集會所に提出すべしと

◎食糧充足方策（六） 玄米輸入の利益

內地米は其價格外米より高きを以て內地米を輸出して外國米を輸入すれば著しく利益多きは言を俟たず進んで外國米を玄米で輸入すれば其利益更に大なり

▲玄米を輸入　して之れを精白すれば糠小米等の副產物を得ると共に精白工程の利益を受くるのみならず說者或は玄米を船積して長途航海せば腐敗すべしとて往時の實例を擧げんとし之れ單に玄米のみに限られたる事に非ずして白米と雖も或一定の期間を經れば必ず腐敗するを免れず只玄米は腐敗を來す期間が白米に比し幾分長しと云ふに過ぎざるのみ而も今や多年の經驗と科學の進步とにより玄米中若干の糠米を混入すれば空氣の流通を良くし完全に防腐の効を發し得ることが確め得たり加ふるに近時

▲航海術の進步　は汽船の速力の增高せしことは驚くべく此懸念からしむるに至れり現に歐米に於ても［illegible］自作米を白米に精白して食用に供し自作玄米と他にて精白せる米とを交換して食ふことなし之れ自ら精白するに充分なる時間の餘裕と機械を有するが爲にして他精白の米を食するは極めて不經濟なるに因る若し外國玄米を輸入し當地に於て精白せんか何等臭味の存するなく極めて美味の食料たることを知悉するに至らば農家は喜んで自作玄米と外國玄米とを交換するや必せり

▲差益を收む　其以上細叙せし如く外國玄米を輸入することは何れの點より見るも其の利益最も大なるに拘らず實は之れと逆行し輸入玄米は近年大に減少して今や全く皆無となれり此奇異なる現象は果して何處に起因するや蓋し外國にては少くも一日一萬石を精白し得る完全にして大規模の機械を使用し操業亦巧妙にして燃料は粉殼等を利用するものなるを以て精白工賃は極めて低廉なるを得るに反し我國精米業は之れに及ばざること遠く彼我の精白技術の巧拙に至つては到底比較の限りにあらざるにより我れは彼れに對抗し得べきに非ざるなり

▲今其の實例　を示せば明治廿九年より三十年に亘る米大凶作なりし際輸入外米は七百五十萬石に上り翌三十一年は大豐作なりしも外米の輸入を繼續し［illegible］

◇歸還隊門司に入港

［illegible］分步兵部隊將校以下七十六及び北方派遣鐵道隊將校以下七百六十及び乘馬二百九、頭は〇〇丸に搭乘し去る一月卅日浦鹽を發し二の島にて檢疫を終り四日午前九時入港せり出迎の第十二師團長及び官民代表は折柄の大風雪を突破し門司港に着め諸官憲、本邦市民等の官民其他岸壁に待ち居たる船も出して上陸を開始せんとしたるも風雪益々激しく幾度か運輸部の小蒸汽は［illegible］爲め陸軍運輸部棧橋に臨時小會議を開き終に同日の上陸を中止し五日早朝より上陸開始の事となりたり（門司特電）

◎濟南の近況　京城某所著信

▲獨人所有地處分　濟南に於ける獨逸人の所有地に係る地所家屋買收の件は青島民政部に於ても大に希望せる所にして民政部より銀四十五萬圓を其の買收金として濟南日に付在留日本人の有力者は銳意その買收方に援助する事となれり

▲日支商品陳列館　日支商品陳列館を濟南に設立する事は刻下の必要事として其の經費は實に銀五萬圓乃至銀十五萬圓を青島民政部に支出方を依賴する事に決定したるが設立に關する研究は日本實業協會に之れを委託する事となれり

▲獨人放逐問題　濟南に於ける獨逸人の放逐に就ては北京外交界に於ても問題となり目下英佛兩國側はその放逐を主張し米國は之れに反對の態度をとり居り日本側は何れとも旗幟を鮮明にせずその成行きを觀望し居れる如し

◎京城木炭市況 品薄の爲め提價昂騰

京城に於て消費する木炭の供給地は京義線（金郊瑞興沙里院の各驛附近）及京元線（東豆川洗浦間各驛附近）及漢江上流の地方にして其主なる地名を擧ぐれば

▲京義沿線　金郊、汗浦、南川、物開、瑞興、沙里院

▲京元沿線　東豆川、漣川、大光里、鐵原、平康、洗浦

▲漢江流域　楊州、加平、春川、洪州、楊平、驪州、堤川、原州、槐城

なるが是等產地の木炭は鐵道沿線の不足に依り出廻り意の如くならず從つて京城に於る木炭界の現況は在荷拂底と云ふに非ざるも品薄は蔽ふ可からざる事實なり從つて價は愈昂騰を告げ昨今に於ては根炭一俵の小賣相場に一圓六十錢の高値を唱ふるに至れり元ら產地筋に於ては各地共相當の貨を有するも前記の如く貨車の供給不十分なる爲め輸送遲延し勝ちなり當市中の在荷をして益稀少ならしむる次第にして今後貨車の配給如何により相當の出廻りを見るに至るならば炭價も亦從つて下步調を呈するや疑ひの餘地なかるべし試みに大正七年十月より現今に至る京城市中の木炭價格を月別に表示せば次の如し

月別	根炭 卸	根炭 小賣	白炭 卸	白炭 小賣
十月	三〇〇	三四五	二五〇	二九〇
十一月	三〇〇	三四五	二五〇	二八〇
十二月	二八〇	三二〇	一九〇	二三〇
一月	二九〇	三二五	二〇〇	二四〇
現在	三〇〇	三五〇	二三〇	一八〇

▲備考　右表の價格は各上等品十貫に對する相場を指示するものなり

◎京畿地方費豫算 事業縮少を餘儀なくせん

大正八年度京畿道地方費豫算は目下道當局に於て編成中なるが未だ關係各係より豫算編成資料の全部出揃はず從つて具體的計劃は樹つる能はざるも

▲大體に於て　物價騰貴の影響を受けて事業縮少方針を執り前年より幾分縮少せらるべし即ち何事業に依らず膨脹又膨脹を要求さるゝ今日に於て本道地方費歲入に屬する賦課金さし［illegible］は重要なる資源の一部分を占め居りし屠畜稅の時局の影響を被り牛價昂騰の結果大正六年度及び七年度に於て［illegible］

◎林野調査令附則

大正八年總督府告示第三號朝鮮林野調査令附則第二項の地域追加指定の件五日官報にて告示さる

◎鮮銀店長打合

朝鮮銀行にては舊正月にて滿洲方面の事務稍閑散なるを利用し奉天天津其他二三支店長を本店に召集し事務の打合をなしつゝあり

人事消息

▲橋本豐次氏（木浦府尹）四日夜入城　▲宮川五三郎氏　同朝退城　▲西村一心氏　▲本田幸介氏　同

鳥瞰錄

西伯利方面から歸つた某氏の話によると西伯利政府は近く山林や山の鄕下げをやる相だ▲滿業主の一握千金組は早く行くがよい［illegible］

◎營業開始廣告
舊正月にて休業中の處來る八日より營業開始仕候間倍舊の御引立願上候
京城府觀水洞一四四（水標橋通）
支那高等御料理　大觀園　電話六三三番

朝鮮及滿洲　二月號（第百四十號）出
李太王殿下の薨去を悼む……釋尾旭邦
王者の國と覇者の國……井上博士
戰後の世界的六大事業……志賀重昂
國際聯盟成否……田男爵
議會を通じて觀た原內閣……釋尾旭邦
東京まで……釋尾旭邦
病院のローマンス
京城の辯の內幕
須磨子の自殺と抱月の再婚
發行所　京城南山町一丁目　朝鮮及滿洲社

コールタール
京城龍山漢江通り八　金物商　島田忠作商店

御使用先
朝鮮駐箚軍司令部其他諸官衙廳舍
龍山鐵道倉庫並諸會社銀行倉庫
京城印刷所新築工場

金網入硝子・磨板硝子・摺硝子・縞板硝子・雲板硝子・雪硝子
本社　兵庫縣尼崎市　極東硝子株式會社
販賣店　協同組商業部　京城南大門通五丁目

京城太平町二丁目七十三（太平町大通り）
入院隨意　片山內科醫院　電話九五一　片山信夫

資本金　貳千貳百七拾萬圓
積立金　壹千參百參拾萬圓
總預金　貳億七千萬圓
株式會社第一銀行京城支店　京城本町二丁目
頭取　佐々木勇之助
支配人　竹村利三郎

［illegible］錢と崩れ五錢引先三十八圓二十錢［illegible］

仁川米穀取引所［illegible］

…に大斐左の武器を渡せたり南東及西伯利に於て過激派掃蕩の爲め斷乎たる現實的措置を執りたるは事實上聯合國中日本あ…なる國…時に又獨逸と爭鬪せる同盟及び其他政策の健全強盛なる國…合國にして正當且つ鞏固なる平和の恢復及聯合國との友好關係的感情は日本國をして露國を互…

下關期米特電

…に立會ひ當限三十六圓三十錢乃至三十…十八圓十錢と上伸し七圓九十…錢平均値…六錢三匁…五錢三匁…九錢五錢九…

混凝土工事中の總督府新廳舍

景福宮內に新築中の總督府新廳舍は目下混凝土の工事中で寫眞に見ゆる如く今は第一階の床迄を完成し西半は第二階の床迄出來上つてゐる中央の櫓は其の下に練れた混凝土を引き上げて更に上から鐵管を傳つて所定の所へ流し込む可き引揚機である此建物の總坪數は十萬七百五十七坪即ち二千四百十八萬貫で丁度超弩級艦三隻の重さに等しい更に又現在の混凝土作業は至極十四萬九千樽のセメントと八萬五千石の砂利と四萬三千石の砂とを要し此セメント樽を積上ぐる時は十萬尺の高さとなり富士山の八倍ある混凝土の柱が普通一本八十七尺で七尺角のもの總數二千六百二本あり之を一本に繼ぎ合すと二里二十九町の長さとなる又之に要する鐵筋は一寸角のもの總延長百三十二里六町餘に達する廊下の總延長は二十四町十間に及び昇降器の總行程三町十二間もある實用面積七千八百二十七坪で若し密集して人間を收容するなれば優に十二萬五千人を入れ得る中央に出來る大ホールは巾六十五尺長さ百十五尺天井の高さ十七尺で南山本願寺を其儘此のホールの中に入れる事が出來るそして混凝土作業は三年間を要するが本年から一部の張石工事に着手するさうだ

外遊の思出

北米と南米　南阿と南洋　＝4＝

世界の寶庫南阿＝米國民の血

東拓技師　秋山眞男氏

亞爾然丁名物の競馬は前に御話したやうに所謂名聲自稱であつてその競技の盛觀は世界に誇るに足るべく從つて競走用の名馬が莫迦々々しいほどの

◆高價で 賣買されて居りますが同地では單に馬ばかりが高いのではなく牛も隨分高價なのがあります。種牛で九萬五千圓と云ふのがあつたことも珍らしい値段と云はねばなりますまい。

××××

南阿弗利加最近の人口は六百萬人で中四百萬人はヅール人、百三十五萬人が白人、殘りが黄色人或は雜種等ですが近來は大分開化の域に進んでゐるやうです。殊に同地の各都市などで最も眼を惹くものは日本から輸入された

◆力車 です。…ズール人が動物の角を生やした頭飾りなどを着け胸の邊に毛皮をブラ下げたりして二人乘りの俥を引つ張つて走る格巧は實に珍奇極まつたものです。それでも我日本から輸出した俥が彼んな未開地邊にまで用ひられて居ることは決して惡い氣持ちは致しません。同地は御承知の通り

◆金剛石 金、羊毛、駝鳥の羽根等を產しますから此の天然の寶庫を探るべく且つ又海外發展の勇氣を養ふべく同方面にも邦人の活動が欲しいものと思ひます。

×××

現下の北米に遊んで私の最も切實に感得したことは國民全體に亘つて理想的民主々義の思想が漲つて居ること、到る處に

◆圖書館 が完備して居ることでした。米國民が如何に人道正義平和と云ふものを欲求し且つ之を如何にもして實現せしめようと努力しつゝあるとよ…りもなく私の眼に映じました。私は大學の講堂や圖書館等にも通つて米國民の性情や思想傾向などに注意して居りましたが現今の米國民は口頭巧に正義人道平和を說くのではなく彼の

◆血管に 漲りつゝある…は疑ふ餘地がないやうでした。此點から見てウイルソン氏の演說や宣言書も米國民全體の叫びであり米國民全體の血を以て書かれて居ると云つても過言ではなからうと思はれます。米國は漸く人道主義の假面を脫いで軍國主義に傾きつゝあるなど云ふ人もあるやうですが私として之を見れば大なる誤見だと信じます而して今日は日米人の親善の實際に於て行はれつゝあるを感じました。

皇后宮より成瀨氏に御見舞

成瀨女子大學校長の病症は其の後著しき變化なく黄疸症も稍減じて食事も普通に攝取することを得て氣分も頗るよいさうです一日午前十時大森皇后宮大夫は同人の資格を以て其病床を見舞はれましたが其際　皇后陛下より有難き御諚と御見舞として御下賜の御菓子を傳達せられましたので氏は只管優渥なる思召に感泣し病床ながら紋服に改めて之を拜受されたさうです（東京）

亞爾然丁の競馬場

茨城六疑獄

長谷議員選舉違反續報

數萬圓を以て投票を買收

茨城縣疑獄に亙く近來の大疑獄と…せしめた…縣下に於ける…件に關する疑獄事件の關係者にして同年に亘り嚴密なる取調べを續行の結果一日を以て四十四名は愈有罪と決し水戸地方裁判所の公判に移され縣議事堂にて公判開廷さるべしとは前報の如くなるが其內容を概記すれば昨年六月十日茨城縣多額納稅議員の選舉に際し茨城農工銀行頭取元代議士齋藤要氏は茨城縣の財界を代表し一人の議員を擧ぐべく同縣の竹內權兵衛を擁立し一味と謀つて同氏の當選を期すべく四萬餘圓を以て選舉資格者初見新郎を除く他の五票を買收せり其

▲買收價格は 堀江文之助、宮本逸三、坂本茂右衛門、三…の六千圓を最高とし…崎…次郎、…城萬藏の三千圓等にて…に係る平野、能木…人…に三千…橫領せし又高崎派は竹內派に對して憲政會土浦支部の應援の下に五月七日水善旅館に會合し原俗次郎の五票を取纏める方針にて策を施し藤田勘兵衛より

▲一萬九千圓 を調達し滑谷仙之助の六千圓を最高に極力買收に努め藤澤外三名を二千圓乃至三千圓にて買收し互選資格…故宮木藤兵衛に對しては二年後高崎辭職し宮木に讓るべく巧言を以て投票に應ぜしめ別に八百圓を贈りしものなり（水戸）

▲竹內派（有罪）
茨城縣久慈郡大宮町製紙業（茨城農工銀行監査役）候補者　竹內權兵衛
同縣水戸市備前町茨城農工銀行頭取（元代議士）參謀　齋藤要
外二十三名

▲高崎派（有罪）
茨城縣行方郡麻生町（憲政會土浦支部長）候補者　高崎三重郎
同縣治部土浦町　應代議士　參謀長　原俗次郎
外十七名

伊藤公殯殿參拜

德孝殿にて李王、王世子に謁見

伊藤公爵は四日午後三時四十分吉田式部官、佐伯典…、大木宮內…を隨へ山縣政務總監、宇佐美內務部長官、遠藤秘書官等と共に馬車、自動車を連ねて德壽宮を訪ね德孝殿に於て李王、王世子兩殿下に謁し太王殿下薨去の弔詞を申上げたるに兩殿下は之に對して鄭重なる御挨拶ありそれより一行は殯殿に於て靈柩に禮拜し同四時宮門を退出せり

▽國葬事務開始

葬儀掛次長伊藤公以下入城せるに付今五日午前十時より葬事務所中樞院に於て山縣葬儀掛長同次長李完用伯伊藤公同掛國分李王職次官其他各掛員出席國葬事務に關する正式打合せ會議第一回を開き諸般の事項を協議す可し

▽差備員任命

國葬以內の事務を執る爲に

故李王殿下御葬儀に關し國葬以外の事務を執る爲め朝鮮の舊慣に依り差備員なるものを左の如く指定し其外李王家職中より執事五、六名を選定し國葬迄の間交代宿直の任に當らしむべしと

▲守陵官長　侯爵李海昌　同李海昇
▲代宮員　侯爵李載覺　金宅鎭
▲御葬儀顧問　侯爵李載完　同尹澤榮　同朴泳孝　伯爵李完用　子爵閔泳徽　同李載崑　同宋秉畯　同趙重應　男爵李載克　同金春熙　同趙東潤　閔泳瓚
▲總護使　子爵閔泳奎
▲殯殿主監　男爵李載克　同趙東潤　閔泳瓚　伯爵李址鎔
同都監　子爵李埼鎔　尹弘燮
同管理　子爵趙民熙　閔俊植
同典衛　尹建榮　閔商植　尹德榮　黄葵性　金潤東
▲國葬主監　外部監、監造員、董若干名　子爵閔泳徽　伯爵李完用　子爵李載崑
同都監　李源鎔　金宗鎭
▲洪陵主監　閔泳達　男爵金宗漢　男爵金春熙
同都監　李禹珪　李丙瓚　外部監、監造員、監董若干名
▲行狀製述員　李載完
▲誌文製述員　閔泳奎
▲謚冊文製述員　李載崑
▲哀冊文製述員　閔泳徽
▲誌文書寫員　尹用求
▲謚冊文書寫員　李完用
▲哀冊文書寫員　閔丙奭
▲謚寶篆文書寫員　尹澤榮
▲碑石前面書寫員　朴泳孝
▲梓宮書上字　李載克
▲下玄宮銘旌書寫員　趙東潤
▲改銘旌書寫員　李容稙
▲行狀、誌狀編輯所堂上　朴容大
▲輓章書寫員　李容稙　李恒鎬　韓昌洙　金寧鎭　李禹珪　金寧鎭　閔弘基　尹弘燮　李丙瓚　李琦鎔　李源鎔　金宇鎭　李德柱

白晝の殺人

老婆杵で亂打されて

二月二十七日午後四時頃全羅南道羅州郡…面柳谷里原籍岡山縣吉備郡角木榮五郎（六十）の妻すみ（五十）が何者かの爲に斤量三貫目位の杵にて面頭部胸部等を亂打され慘死せるを發見し榮山浦分隊に急報したるより光州地方法院より別所檢事現場に急行取調を行ひ犯人探索中なるが被害者は昨春夫榮五郎と共に東拓移民として渡鮮し…貧困を…

▽傳染劇し

畜產界の大恐慌　輸送を中止す

此の恐るべき鵞口瘡は一月三十日初めて發見せられたる際は四頭に過ぎざりしに僅々數日後の二月三日迄の罹病牛は實に百二十八頭の多きに達し病源は定州新幕沙里院方面の輸送牛にて直ちに輸送方中止を打電せり（釜山）

☆賑ふた節分の夜

節分の四日は市內の各料亭の主人や藝娼妓が思ひ〳〵に化裝して捨て難い昔の情緒を忍んで居たが中にも松葉亭の主人は鮮人に化て長煙管に莨をスパリ〳〵燻らしながら是れもお化の同亭仲居…藝妓…居並ぶ其處へ…の大學生に化した藝妓駒菊や妓生…が飛び出してキヤツ〳〵騷いで居た日暮頃からは『福は內、鬼は外』の聲が…と撒かれる豆の音と共に寒い夜の町を賑はしたが灯がついてからは例のお化連中が一層多くなつて…妓町や遊廓方面はお化見物で更けるまで可成りの人出があつた。

立春（りつしゆん）

五日は立春である『東京歳時記』に『立春は正月の節なり。大寒の後十五日（中略）元日は一月の始めなり。立春は正月の氣の始めなり。一年の天節是れより始まる時なれば誰て心を改め其の始めを正しくすべし』とあり『居家必用』に『立春祭（中略）立春は歳の始也、故祭（中略）』とあり。立春は朝鮮（京城）の…到で…五日午前五時四十分から其の節にいるのである

○釜山　鵞口瘡猖獗

◇釜山赤崎移出牛檢疫所に發生　罹病牛實に百二十八頭

釜山鎭赤崎牛島に設置されある鮮重要產物の一なる移出牛檢疫所に於て鵞口瘡發生し四頭の病牛を出したるより釜山署にても容易ならざる問題なりとなし同署は云ふ迄もなく檢疫所にては極力防疫に注意を怠らざりしが其後益傳播し卅日初發以後三日午後迄に六十三頭と云へる猛烈なる傳染をなすに至りたる故に同要署間に於ては今後の傳播を發ひ各自に嚴止なる…鵞口瘡と決定せしものは進んで撲滅…防遏に努めつゝあり今回云ふ夥しき數を示し而も右の中七十頭は二月三日の一日間に發生したるものにして尙は二月四日の分は調査未了なるも百頭を下らざるべしと見込にて其

▽傳染の速か なる驚くべきものあり若し是れが內地に迄延せんか內地牛は朝鮮牛よりも罹病劣れる關係もあり更に一層慘害を逞しうするに至るべく釜山警察署にては宮村署長…と協力して防疫を講じつゝあり…は前日來終日檢疫所に詰切り檢疫所警醫の如き

▽徹宵活動を 續け少しにても疑はしきものは即時隔離又既に罹病牛たることと決定したるものは所有主も進んで屠殺しつゝある有樣なるが何分朝鮮畜產界の大打擊と云ふべく因に目下釜山に在る輸出牛は約千八百頭（…電）

○橘氏結婚披露宴

朝日新聞京城…派員橘香橘氏と浩氏令妹松子孃との結婚披露宴は四日夜朝鮮ホテルに於て催されたるが主客合せて約九十名…加丈夫氏の…對し來賓を代表して小原農商工…長官の謝辭…あり…の挨拶あり頗る盛會なりき

○高麗丸缺航

四日夜釜山出港の聯絡船高麗丸は途中海上風波の爲め下關に引返したる旨通報ありしが右の爲め五日の釜山出港の聯絡船も臨時取消しとなりたり（釜山特電）

大正七年下半期　第八十二期決算公告　貸借對照表

負債之部

一資本金	六、〇〇〇、〇〇〇・〇〇〇
一諸積立金	九〇〇、〇〇〇・〇〇〇
一事務員退職慰勞資金	二、三六〇・〇〇〇
一諸預り金	二一、〇八〇、八八九・九六六
一他店ヨリ借	四、三一五、二九〇・四五〇
一仕拂承諾	八二一、〇〇〇・〇〇〇
一借入金及コールマネー	四〇一、〇〇〇・〇〇〇
一未拂利息及未經過割引料	一七四、八八一・六九〇
一未拂配當金	八、四三〇・〇〇
一前期繰越金及當期純益金	六一七、四九八・一二八
合計	三四、五七三、九二八・六六四

資產之部

一未拂込資本金	一、二五〇、〇〇〇・〇〇〇
一貸金	一五、四四八、〇〇一・一一〇
一割引手形及荷付爲替手形	九、五八四、六九一・四一〇
一他店へ貸	一、〇六一、八六四・七二〇
一仕拂承諾見返	八二一、〇〇〇・〇〇〇
一預ケ金	一四五、五六一・三三〇
一大藏省證券	一〇六、〇〇〇・〇〇〇
一英國政府國庫證券（大藏省證券）	二〇〇、〇〇〇・〇〇〇
一諸公債證書	一、二二六、四二六・三八〇
一社債券及株券	三八七、八七五・二〇〇
一雜勘定	二〇・五〇〇
一營業用土地建物	五三五、一五六・二三〇
一所有動產不動產	一七七、四四一・〇九〇
一新築費	二、三四〇・〇〇〇
一現金	一、三九六、八四九・六九四
合計	三四、五七三、九二八・六六四

利益勘定

一當期純益金	二三八、五九三・一七〇
一前期繰越金	三七八、九〇四・九五八
合計	六一七、四九八・一二八
內	
一積立金	二五、〇〇〇・〇〇〇
一賞與金	二三、八〇〇・〇〇〇
一事務員退職慰勞資金	四、七〇〇・〇〇〇
一配當金（年壹割）	一八七、五〇〇・〇〇〇
一後期へ繰越金	三七六、三七八・一二八

右之通り候也

長崎市築町百七番戶第壹號　株式會社　十八銀行

頭取　永見寬二　副頭取　松田英三　取締役　足立瀧二郎　同　松田精一　監査役　草見和平　同　藤瀨宗一郎　同　十田又三郎

最新刊

書名	著者	定價
戀の哀史須磨子の一生	秋田雨雀　仲木貞一　合著	定價四拾錢送料拾錢
性	…	…

京城本町一丁目　大阪屋號　電話…

●縄叺廉價販賣　全北沃溝產縄叺　群山府九條通　森田商店　電話三三七番　振替京城二四五七

寫眞助手一名募集す　年齡二十歲以上三十歲以下にして寫眞撮影に經驗ある者希望者は履歷書携帶來社あれ　京城日報寫眞部

肥料入荷!!
▲大豆粕　▲過燐酸　▲骨粉　▲木灰　▲硫安　▲其他各種
廉價提供
京城南大門通三　戶田本店　電話長三八六番　振替京城三七五番

京日案內

●古本熱心高價買入　是非御賣拂を乞ふ　電話二一九五番　▲本町二丁目　▲御報次第

鮮人社員招聘　二十五歲以上の紳士を招聘す希望者は履歷書帶參…

牛金恩給…　京城永樂町…江州屋本店

毛皮なめし仕立　江州屋本店

看護婦名募集　…京城醫院

藥局生至急採用　…小川醫院

電話讓受たし　光化門…　坂本

母と子 (百)

北島春石作　森田久畫

神崎邸 (四)

『誰しも好きで病氣にはならぬけれど、嫁入してから間もないだけ、貴女の氣苦勞は並大抵でなからうと察しますよ。』と、幹尾は飽までも、慈愛深い心を持つてゐた『けれども、わたしも昇一郎もね、貴女を氣の毒にこそ思ふもの、、決して惡うはとつて居らぬゆゑ、すぐにもお醫者樣に診ていただき、切めては一日も早く良くなり、可愛らしい初孫をうんで、他に希望のない老女を喜ばせて下さいよ。』

『……はい。』

『ねえ、來年の今頃までには、きつと初孫の可愛い顏が見られると信じます。それを、わたしも何よりの樂みにしてゐますからね。』

幹尾はどこまでも優しかつた。

『別に誰方ともお伺ひはしませんが……』と、幹尾の方へ氣を兼ねながら言つた『あの、密々に申上げたい事があるからと、斯樣に仰せでございます。』

『わ!!密々にとは……』

それを聞いても聞かぬ振、幹尾は靜かに座を離れて、

『貴女の氣分が惡いのを知りながら、つい長々と話込んで濟まなかつたね。おいしや、わたしは彼方へゆくから、あゝ炬燵を拵へておくれよ。』と猶もやさしい眼を向け『これじや失禮をしますよ。』

『こちらからも後程お邪魔をいたさせていただきます。』

『あゝ貴女が話にお出でなのを待ちますよ。』

さう言つて、幹尾は嫁の居間より立去つた。

あの難しき母のお惜と較べたらば神と惡魔ほどの相違もある。憖ういふ姑に仕へる自分は、何といふ幸福であらうと喜びが深いだけ、心ならずも秘密にしておく自分の前身が悲しまれた。

さうした心の煩悶より、志保子が差俯いたまゝ、遣瀨なげな嘆息を洩らすと、幹尾の晴々した眉のあたりも打曇つて、

『何うやら氣分も惡いやうな……未だ昇一郎の戻るには間もあらうから、少し横になつては何うですね。』と氣遣ひ顏。

『いゝえ、大したことはございませんから、御心配は御無用に願ひます。』

『さうではありません……無理な我慢をして惡くなつては大變だからね。』と、志保子の斷るのにも拘らず、幹尾は心忙しく手を鳴らす。と、小間使が顏を出して、

『奥樣……中洲のお實家からお使の方が見えました。』と取次ぐ。

志保子は不審顏に『實家からの使とは誰だらうね。』

そのあとで、志保子は小間使を顧みて『あの、實家から使が見えたとお言ひだつたね。』

『はい、如何いたしませうか。』

『さうねえ……』と、暫く考へたが、密々申上たいとの添口上が氣がかりなので、ともかく、一應逢つて見ることにした『では、あちらの應接間にお通し申してください。』

『はい。』

急いで小間使が立去つた後、志保子は羽織だけ着替てその跡につく。

やがて、應接間の扉を啓いて『……わたしをお尋ねなのは……貴方でございますか。』

『は、僕です。』と言ひつゝ椅子を離れた青年は、固くなつて初對面の挨拶をした後『突然お伺ひして相濟みません。』

『いゝえ、何ういたしまして。』と志保子はその青年の樣子を打眺めながら、

『實家からお使にと伺ひましたが……それに僞りはないでせう、ねえ。』

『……………』

けれども、彼の青年は脚下に眼を落したきり、言葉もなくて、たゞ嘆息を吐くばかりであつた。

京城本町 千代田號印舖 電話八九七番 八九八番

妊娠時の注意 浮腫は危險

――直ぐ專門醫に見せよ――

婦人が妊娠する時には身體に種々な變化が起ります中にも惡阻は其最も著しい例ですが其他に往々にして浮腫を起す事があります、此浮腫は惡阻などゝは違つて他に病氣が在つて起るものですから餘程注意しなければならぬ此ち浮腫の原因は心臟病、脚氣、腎臟病、既往子宮の靜脈壓迫等です、此中妊娠前から脚氣心臟病腎臟病等かおつても少しも變りが無くそして

◇妊娠後 に浮腫に現はれる場合があります、斯る場合には直ちに醫師の診察を受けて手當を加へなければなりません、之れを放つて置くと危險な事になりまして遂には少し身體を動かすも息切れがして終には床に就くやうになります、殊に恐ろしいのは其末が臨月間近になつて子癇のやうな發作的病氣を起すからです此子癇になると姙婦は全く人事不省に陷つて

◇齒を嚙みしめ口から泡を吹き四肢に痙攣を起すものでして此發作が數多くなり又激しくなると姙婦の心臟が弱り爲めに生命を失ふ事になります夫でなくても是等の病氣の爲めに又は腎臟病の爲めに流產又は半產になり或は早產となる事がありますし又或は早期胎盤剝離と申し

◇胎兒が 娩出されない內に胎盤が先に剝がれて出血し、母兒の生命を危險ならしめたり又產後降り物が甚だしくて母體の生命を侵す事抔があります、妊娠中の脚氣が治癒せない爲めに產褥になりましてから嬰兒に乳を與へられない場合があります尤も妊娠子宮の爲め靜脈壓迫されて輕度の浮腫位ならば前者の場合に比較して先づ寛敗方でありますが妊婦は成る可く

◇足を下 無い樣にし床に臥す時にも少しく高く置く樣にすれば血液の循環は多少善くなります然し妊娠時に浮腫がありますのは普通の事ではありませんから產科專門の醫師に診察して貰ふ必要があります

子供の急病(一) 其手當の種々

――何うして鑑別るか

凡ての病の中でも殊に小兒の病氣は一瞬間を爭ふ事があるから病初の手當が肝要です、先づ保育者たるものには多少病兒に對する知識があつて欲しいものです、でないと

▲醫師 の來る迄の手當が講じられないことになる、例へば同じ風邪を引くにしても三十八度足らずの熱で小兒がグッタリすることもあるし八九度の熱で元氣のいゝこともある、一回嘔吐してグッタリすると後から熱の出ることもあるし度々嘔吐下痢しても元氣のいゝ場合がある、凡て前者が

▲重病 で後者は輕症であります、斯樣に一般症狀の觀察が必要です、常に元氣で良く肥り發育の好い小兒が機嫌が何となく惡い、大きな小兒なら外から歸つてスグ寢轉ぶ、時には板の間へ寢る此の場合には大抵熱があるものです、次には意識の狀態が變る例へば始終ウトウトと眠り勝ちになり遠方をボンヤリと眺め

▲顏色 が茫然としてゐる此場合には無論重い病氣です、若し此場合下痢などあれば消化不良が一步進んでゐる、腦の場合には腦膜炎を起したもの、初生兒の場合はスグ顏色が變り一步進めば手足が青紫色を呈して來る、此時は[illegible]い病氣で大きな小兒ならば大病であります

外科一般 皮膚科 泌尿器科 花柳病科 安部修二
安部醫院
京城永樂町二丁目金光教會隣 長電話四一九番

代用食の研究 手打麵の製造法

夫婦と子供六人の家庭で毎日夕飯だけは拔きにして、メリケン粉製の手打麵を食ると一人前僅に四錢餘しか掛りません又大人ばかり十人居る

▼家庭 でも、一人前五錢つまり十人前五十錢かければ充分です。この麵に何か野菜物を附けて食れば結構だと存じます。製法は極めて簡單で十人前三十錢のメリケン粉を擂鉢の中に入れてかたく練り麵棒にて伸ばし適宜に切つて汁の中に入れ十分に煮て熱い中に食るのです。この麵は一名變防麵とも申しまして、この頃の

▼寒さ に食すれば、身體も溫かになり、一度食すればその美味なことは忘れられません。是非この麵を世間一般の方が試食して下さることを願ふ次第です。製法の道具は一つのチャブ臺と、長さ一尺の麵棒一つあれば充分でございます

日報歌壇

すゞ菜

はなれすむこの身に一つに淋しさのきくれぎまた庭の粉雪

陽の色　京城 平生 松平

めに光りあまた並びしはだか木の空淋しも雨雲なりけり

かそけくも時計の刻みきこゆれば いつか陽白く地に落ちきたる

闇の夜　あづさ

ゐなぎし時底ふかきを夜かけてまたも涙のこぼるゝなりけり

ほの光る燈に向へばこれはまた十九のわれの瞳の冷めたさ

たつぷりと猫洞酒つぎてとりあげしコツプ冷めたき冬の夜かな

……友へ……

波の子よ　京城 野口 庄

マドロスの息なくくわが部屋のあまりにせまく彼の横顏

南海の波よりもなほ大洋の前途の君を思ひしと聞く

ふところの手帳に悲しき歌を書く君……汽車を見るなり

日報柳壇

花坊選

京

花道を五步で謠は京へ着き　凸坊

見ぬ戀は東男と京女　同

能因は京に寢ながら奧の旅　同

奉迎に物慣れてゐる京の町　詩腕坊

京訛りだが大膽な女なり　同

夜に入るまで歩るいて見た京の町　菜尺

京の花雲より外は女なり　省雨

武藏坊京の五條の橋の上　笑溪

京の地理旭將軍不案內　同己

新妻を京人形のやうに見る　同坤

新刊紹介(到着順)

▲名ばかりの妻(金子けい子翻譯) 此本は外國で好評を博した婦人向き小說二十餘種の內から六篇を抽出して翻譯したものださうです、面白い筆を振つて、永い味のある本である(一圓二十錢、東京[illegible])

▲農業世界(一四の二) 農業に關する多方面の材料を集めたる有益なる雜誌にして高からぬ價なり(二十錢、東京博文館)

▲少年倶樂部(二月號) 外觀も華麗にして趣味の附錄として大正七年度各中學校入學試驗問題解答を添ゆ(二十三錢、東京本鄉大日本雄辯會)

▲遞信協會雜誌(一月號) 大正八年を迎ふ(床次遞相)年頭雜感(…)大阪結婚と社會の問題(植村正久)その他資料に說林に雜錄に例により多趣味の記事多く其他のものにも興味多く參考となる事多し(十二錢、遞信局內協會發行)

今日の御惣菜

○三白和 薄紙のやうに伸ばした板昆布を極めて、細く鋏にて切り熱湯に入れて茹で、水に晒し、水を切り置き、獨活を細く刻み、水に浸けてアクを拔き、白い身の魚を刺身のやうに切り、三品を盛り、酢味噌を中央に置く、酢味噌は味噌を裏漉にて、酢、砂糖にて調味を整へる

露鐵援助經過 (陸軍省發表)

[illegible]當我野戰交通部長は直ちに之れに應じ鐵道工卒約六十名を[illegible]すと同時に東清鐵道[illegible]

二一月十四日以來將校の指揮する下士卒四十六名の工卒[illegible]

[illegible]日本職工を以て之を[illegible]するの必要を是認し又我中央部に於ては諸鐵及鐵道院の職工を以て[illegible]

[illegible]班の作業開始を大に歡迎し又露國職工と我職工との關係は圓滿[illegible]

[illegible]

お化粧問答

(問) 鼻赤にて白粉を塗つても其處だけ赤くて見苦しく又白粉を塗つても顏全體が浮いたやうになりまして困ります。(岐阜、冬子)

(答) 赤鼻は血管神經の障害から來るのですから、血管神經を刺戟するものは避けて、便通をよくする事に心がけねばなりません。そしてお化粧の際にはクラブ美身クリームを化粧下とし、一番高尚で美しい艶の出るクラブ白粉を幾分濃加減に塗り上げクラブ粉白粉を打つて置きますれば美しく見へます。お顏全體に白粉が浮いて見へるのはお顏に剃刀を當てないからでもありませうが、お化粧前の生地の整へ方が大切です、夫には皮膚の美を整へるクラブ洗粉で御洗顏なさつて、クラブ美身クリームを常にお顏全體に塗めて薄く塗つて置きますれば、イザお化粧と云ふ時にも決して困る事はありません。斯樣な方法を常に採つて白粉を塗られましたなら其上を水刷毛でよく落付ける事が肝要です。

美の素

クラブ白粉

他の白粉より

一步進んだ白粉

最新式の一等白粉

此のクラブ白粉は

日本名物クラブ洗粉本店所屬の內外の學者技術家達が協力研究の結果發明致しました最新式の一等白粉で、美容と衛生上他に類のない特長を具へ、附きが良く香ひが床しい上に、何とも云へない高尚な美しい艶が出ます近來大都會の貴婦人間では、洗粉ばかりでなく、白粉もクラブに限るといふので、非常な人氣でございます。

白粉もクラブになさいまし……クラブ白粉は皆樣のお氣に召して居ります

お化粧の順序

クラブ洗粉

クラブクリーム

クラブ白粉

ぼたんばけ

水ばけ

ぬれタオル

クラブ粉白粉

クラブ頰紅

美人

惡性感冒に

ハカリ印のヘブリン丸

を用ふれば直ちに解熱し惡寒を去り全治する事は既に本劑を用ひられたる人々の實驗せらるゝ所なり

本舖 大阪 合資會社 參天堂藥房

定價十錢以上 家庭用五十錢、一圓、

僞物あり御注意

りん病 請合藥

ばい毒 請合藥

京城南大門外停車場通 ドラック商會朝鮮本部
京城黃金町三丁目電車通り ドラック商會支店
龍山練兵場電車交叉點前同支店

五光商會汽船出帆廣告
◎元山西湖、城津、清津行 第三[illegible]丸 月 日
釜山 大連同酒部(電話一三)

共同汽船仁川出帆
阿波 大連直行(關東都督府命令航路) 共同丸 月 日正午
仁川代理店 元山代理店 京城取次店 河村運送店

◎日本郵船仁川出帆
大連、秦皇島行 田丸 二月七日正午
撫順丸 二月十日正午
高砂丸 二月九日正午
神戶 阿波 [illegible]
仁川海岸町一丁目 日本郵船出張所

京城日報

二月五日夕刊（朝夕併せて八頁）

發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社 發行兼編輯人 奧田直毅 印刷人 小川三之介

第四十一回帝國議會 衆議院分科會（四日延著）

▼第一分科會（文部省所管）

午前十一時開會鈴木富士彌氏（憲政）支那留學生問題に關する質問に對し中橋文相學校教育のみならず學校以外の施措亦必要なり殊に支那人輕視の風を除去せざる可らず尚支那內地に於ける學校建設の運びに至らずと答ふ更に鈴木氏對松浦水產局長との間に水產教育に就いて問答あり次で押川方義氏（無所屬）小學教員優遇に就き論じ教員俸給全部を國庫支辨と爲すの必要を力說するや文相國庫支辨は考慮を要すと答へ尚押川氏御下賜金用途と國民思想統一とに關する質問を爲し正午休憩に入る

▼第二分科會（內務省所管）

午前十時四十分開會北井波治目氏（新政）北海道拓殖計畫に就き質問し俵北海道長官今回の拓殖計畫は主として官行拓伐及び未開地の拂下を以て主要とすと述べ內容を說明し二百四十萬町步は國庫林として保存し未開地拂下は全部競賣さする能はずと答へ次に佐々木正藏氏（憲政）神社局擴張豫算の趣旨を問ひ塚本神社局長敬神思想を涵養せしむる爲めなりと答へ有森新吉氏（國民）神社建設に就き質問し正午一旦休憩午後一時十分再開し井島義雄氏（政友）の質問に對し塚本局長神職中怪しき氣なる祈禱を爲すものに對しては警察にて取締を爲し居れりと答ふ次で川村警保局長新聞紙取締不統一に就ては甲地と乙地とに事情を異にするにも因ると答へ次に松岡勝太郎氏（憲政）癩病患者取締に就き質問し川村局長全國五箇所に收容所を設け千三百廿餘名の患者を收容し居れるが成績良好なりと答へ同氏更に神社合併昇格に就き質問し塚本局長の答辯あり午後二時四十五分散會

▼第三分科會（大藏省所管）

午前十時五十分開會、小川鄉太郎氏（新政）滿鐵政府配當金、製鐵所益金に就き質問川田政府委員の應答あり之にて歲入經常部の審議を打切り臨時部へ移り加藤政之助氏（憲政）預金部在外預金に就き質問し森銀行局長英國一億七千七百萬圓米國六千九百萬圓にて米國に在るものは銀行預金及び英國庫證券又米國に在るものは殆ど短期公債を買入れたりと述ぶ町田忠治氏（憲政）八年度公債に就き市場は右公債を消化し得るやを問ひ森局長消化し得らるゝものと思考すと答へ尚ほ町田氏の質問に對し森局長八年度臨時國庫證券發行高三億萬圓は爲替決濟に供す輸出貿易獎勵は必要無しと思惟す八年度對外貿易受取勘定は四億圓の見込なり尚郵便貯金利子引上の意無しと答へ正午過休憩（東京特電）

午後一時五十五分再開加藤政之助氏（憲政）織物組合に補助の意無きやと問ひ松本主稅局長目下考慮中なりと答へ尚鈴木梅四郎氏（國民）と政府委員との間に問答あり之にて歲入臨時部の兩部を終り歲出經常臨時の兩部を一括して質問する事となり小川鄉太郎（政友）井上角五郎（政友）兩氏の質問あり之にて質問を終り各特別會計の質問に入り小川鄉太郎氏各植民地のものに就いては總督、都督の出席無くば責任ある答辯を聞き得ざるべし政府の所見如何と述べ古賀拓殖局長政府は責任ある政府委員を任命せりと答へ加藤政之助（憲政）平田健太郎兩氏より鞍山站製鐵所に關する質問あり之に對して宮尾、古賀兩政府委員より交々答辯する所あり、中村啓次郎氏（政友）は滿鐵の輸送力圓滑ならず政府の所見如何と問ひ古賀拓殖局長官右に就ては目下考慮中にて尚賃銀の改正も近く實施すべしと答ふ中村氏と下村民政長官との間に瀾水力電氣問題に就き問答する所あり次に鈴木梅四郎氏（國民）と政府委員との間に朝鮮教育費補助並に朝鮮鹽に對する問答あり同三時三十分散會（東京特電）

▼第四分科會（陸軍省所管）

午前十時三十五分開會、高木正年氏（憲政）の質問に對し田中陸相時局の改廢は目下調查中なり朝鮮駐劄憲兵隊は廢止するを得ずと答へ高木益太郎氏（國民）朝鮮、臺灣駐屯軍經費を特別會計に移す考へ無きやと問ひ陸相不可能を答へ更に高木氏の質問に對し兵卒の待遇に關しては一年兵役に就ては軍隊の精神教育上餘り短期なりと答へ小田切磐太郎氏の質問あり休憩

午後一時四十分再開、柏原文太郎（國民）高木正年（憲政）小川鄉太郎（新政）小田切磐太郎（政友）高木益太郎（國民）諸氏の質問に對し田中陸相主計總監は兵卒の給料八年度五割增なり、論功行賞は速かに發表すべし、西伯利派遣兵に對しては平時より倍額の支給しつゝあり、步兵の營內教育は二年以下に短縮する能はずとの答辯ありて陸軍に關する質問を終り午後四時散會

▼第五分科會（農商務省所管）

午前十時開會、上田彌兵衛氏（新政）の質問に對し農相米の收穫豫想統計は正確を期する爲め改正方法を講究中なり外米建値實施が產地相場に影響せるや否やに就ては調查中なりと答へ更に上田氏と道家農務局長との間に米價問題及び農業倉庫建設に關する二三問答あり次いで道家局長は武藤金吉氏（政友）の質問に對し株式取引所は成るべく許可せざる方針なるが現物賣買は地方にも其設置を許可するやも知れずと答ふ武藤氏更に飼育獎勵地主對小作制度改善に就き質問す農相右に就きては目下研究中なりと答へ次いで磯部尚氏（政友）の製鐵所原鑛價格等に關する質問に對し吉川製鐵所理事の答辯あり零時十五分休憩

▼第六分科會（鐵道院所管）

午前十一時開會正木照藏氏（憲政）小荷物遲滯理由に關し西村丹治郎氏（國民）は揃美線起工に就き各質問を爲し石丸鐵道院副總裁の答辯あり又鐵道連絡の爲め九年度に千噸級一隻、二千噸級一隻の汽船を建造すべしと答へ永田茂造氏裏日本縱貫線に就き問ひ石丸副總裁目下舞鶴峰山間の計畫あれど來年度に於て實施するや否やは未定なりと答ふ尚ほ永田氏より鐵道事故正木氏より鐵道不正事件並に高架鐵道の引續き地下鐵道との方針に就き質問し石丸副總裁は地下鐵道の方適當にて目下調查中なりと答ふ又床次總裁より廢軌制採用に關しては今急に之を採用する考へを有せずと答へ正午休憩に入る

午後一時半再開、川口木七郎氏（新政）の鐵道網の質問あり工藤卓爾（政友）佐々木正藏（憲政）柴安新九郎（憲政）野村嘉六（政友）小林主查（政友）林毅陸（政友）の諸氏より鐵道線路築港に關する御土產案の希望質問あり正木照藏氏（憲政）各欵項の立案不徹底なるを責め之にて同院所管の質問全部を終り午後四時十五分散會（東京特電）

衆議院本會議

國際聯盟＝武富氏首相問答（四日）

四日午後一時開會勞頭緊急動議に依り武富時敏氏提出國際聯盟に關する質問上程

▲武富時敏氏（憲政）登壇今回の講和會議に於て帝國單獨の問題即ち青島、南洋諸島處分の如きは幾に聯合與國との諒解を得異論を生ずるものと思惟せず、殊に獨領植民地不還附に決せる以上其占領國に歸すべきは國際公法の精神に見て異論無き所なり然るに近來外電の傳ふる所に依れば右は講和會議に於て國際管理に歸すとか占有國の委任統治に委するとか、占有國の如何に依り其統治權を制限するとか種々の說を傳へ居れり政府は此眞相を說明して國民の疑念を一掃し輿論を統一し國民外交の効力を發揮せしむべし」との主旨にて原首相の答辯を促す

▲原首相 登壇目下開會中の所謂講和會議は五大國の豫備會議にして其內容は公表せざる事に協定あり又公表す可き事ある時は發表する事となり居れり故に今會議の內容を公表するを得ず、國際聯盟に就ては其成立するや否や又成立せし曉に於ても其形式を如何にするや等に關しては尚何等決定し居らず全く未定なり又獨領占領地乃至土耳其等の敵國の領土を國際聯盟の委託に依り各國にて統理する事に就きては全く未定なりと答へ次いで

▲小山松壽氏（憲政）より勞働政策に關する質問あり右は政府より書面にて答辯する事とし次いで大正七年度法律案第一讀會に入り田中陸相より荒川五郎氏（憲政）の質問に對し陸相より師範學校卒業生の一年現役兵は戰爭に際して召集せざる方針に於て該制度を規定せりと答へ九名の委員附託輸出羽二重精練業法中改正法律案右に就農相の說明あり九名の委員附託次に憲政會の衆議院議員選擧法中改正法律案に移り藤澤幾之輔氏（憲政）提案理由を說明し秋元氏（政友）の質問あり國民黨も一同委員附託するに決し次に長崎與一氏（政友）より宮崎鐵道建設建議案、八田宗吉氏（政友）より野岩羽鐵道速成に關する建議案の說明あり午後三時三十分散會せり（東京特電）

▼平元鐵道 ＝六日上程＝

平元鐵道急設建議案提出に關し代議士牧山耕藏氏より四日午前八時平壤商業會議所大橋會頭宛左の電報ありたり（平壤）

平元鐵道急設建議案提出者は牧山耕藏、江藤哲藏、頭本元貞、奧田龜造、松田源治、上埜安太郎の諸氏及賛成者政尾藤吉氏外五十二名にして六日上程牧山代議士より說明の後委員附託となり十四日頃通過の見込なり

▼朝鮮生牛關稅 免除案提出

大正七年法律第三十七號中改正案は規定の賛成を得て四日衆議院に提出せり本案の主旨は大正七年法律を以て朝鮮生牛の關稅を免除し移入を獎勵せる實績に鑑み更に朝鮮牛生牛の關稅を免除し朝鮮牛の生肉移入を增進せしむるにあり（東京特電）

◇歸著點はモンロー主義

一月三十日米國海軍卿ダニエル氏は海軍豫備役兵に訓令して曰く向後數年間は海軍を縮小するが如きこと無かるべし米國は何れの國に對しても軍艦を建造せんとするものに非ず何となれば米國は國際聯盟が萬國間に友誼と親交とを齎し軍備の縮小を來すに至るべきを信ずるを以てなり然れどもモンロー主義保全の爲め强大なる海軍を必要とす（紐育電報）

◇グラスゴー靜穩

グラスゴーは靜穩に歸せり既に多數の軍隊は市中に派遣せられ目拔きの場所には鋼鐵のヘルメットを冠り銃劍を持ち居れる哨兵整列し居れり尚全同盟罷業委員長補縛せられ電車は運轉を開始せり前日の騷擾に依り負傷したるもの市民三十餘名警官十四名なり（倫敦電報）

◇聯軍不撤退希望

露國軍務長官トロッキーは聯合國軍が露國より撤退せざらんことを希望し此際時局をして寧ろ紛糾せしめんとしつゝあり（倫敦電報）

◇對米經濟戰開始

日本優越なる地位を保ちて

モーニング、サン紙の報道する所に依れば日本は米國商業界に優越なる地位を保ちて經濟戰を開始せんとし之が爲め日本實業家は政府の後援を受け居る由傳へらるゝを以て米國の小賣商人は茲に競爭者を加へたるが如く感じ居れり東京の某デパートメントストアーは來年中紐育に支店を設置するならんと傳へらると（紐育電報）

◎平元鐵道の價値

平壤元山兩地の人士が多年熱望しつゝある平元鐵道敷設は總督府にて大正九年度より十四年度に至る

▲六年繼續事業 として施工の事に略決定せし旨該總督の談として公表されしが右に付き有力者の談に曰く平元鐵道の經濟的價值は必ずしも多きを望み難からん何となれば該線は朝鮮の脊髓山系の表裏に併行し平野としては僅に成川陽德その他二三を有するに留まれば也現在の如く交通不便にては空しく地下に埋藏されある鐵石炭金等の鑛業方面は新鐵路の開通に伴ない意外の發見を見るやも圖り難く期待を有し得るは此の方面なるべき平元交通上より觀れば纔に

▲一新生面 を開くべし 滿津會寧間の鐵道並に近く工事に著手する吉會鐵道により北滿方面と北鮮日本の連繫を策するに對し平元鐵道の新設は裏日本と元山平壤を經て南滿を連絡する一大捷徑路と化し將來日本海橫斷航路の發展充實と共に南滿洲と中部日本間に取引せらるゝ物資は釜山經由を去つて本線路に多く依る事とならんとの觀測も下し得ざるに非ず尤もソハ海運賃元山港の設備敦賀の海陸連絡狀態等より詳細に比較せざればその如何なる程度の

▲利用增加 を來し得べきかは速斷し難きも若干の推移は當然なるべし更に軍事上の見地より平元線の價値を見れば一朝北滿西伯利方面に有事の際會寧線と對立し兵力軍需品輸送上に於て多大の貢獻を致すべし尚ほ平元線の建設費は約三千六百萬圓を要するもの如く一哩當り三十萬圓を計上するべしとの事なりこは山岳地帶の鐵道にてトンネルその他に巨費を要するためならんが財政獨立匆々の總督府としては該線の建設に上記の如き巨費を支せんとするは

▲非常の奮發 と云ふべし最後に同線の開通は元山平壤兩地の發展中繼貨物の增加を來し兩地間の發展と共にその繁榮に好影響を來す事は少からざるべし

◎朝鮮米移出制限は不可なり

入江拓殖局書記官の談

入江拓殖局書記官の談片に曰く李太王國葬儀の當日は國務大臣の代表者並に各官廳代表者の參列ある筈なれど議會開會中とて全部の顏揃ひを見る事は或ひは困難なるやも計り難し

▲食料問題と鮮米 食糧の缺乏は刻下の緊要問題として議會にても大いに論戰の花を咲かし居れるが要するに昨年の實收豫想は五千四百七十萬石となり需要額に比し四五百萬石の不足あるが故に之を補ふには外米の輸入に俟つ外なし若し現在の儘外米を輸入せずして端境期に及ばんか恐るべき事態を惹起せんやも知るべからず鮮米移出制限問題の如き鮮內米價の騰貴より見れば或る程度まで必要なるべきも然も鮮米禁輸は內地米價を飛騰せしむべく過般山縣政務總監の聲明として發表されし如く移出制限は容易に行はるべき事にあらざらん、蓋し朝鮮特種の事情により移出を制限したればとて均しく一國內に於て物資の需給關係に故障を設くる如き事は好ましき問題にあらず

▲開墾助成と朝鮮 食料增產策として開墾助成法案今期議會に政府より提出せられしは周知の事實なるが、該法は內地のみに効力を有し植民地には及ばず何んとなれば內地の未墾地は多く私人の所有に係りその開墾には政府より利子位の補給をなさざれば開墾は困難なり然るに朝鮮の未墾地の如きは殆んど全部國有にて現に國有未墾地利用法の存しその開墾には相當の便宜を計りつゝあるを以て現在に於てはその開墾助成金交付は內地程必要に非ざるべし唯將來は必要の時期を待つべく予、尚ほ總督府の豫算によれば明年度に十七萬餘圓の水利事業助成の計上あるが該費目は一種の開墾助成金とも見るべく刻下必要の施設たるべし

▲朝鮮財政獨立 朝鮮も警察費に於て陸軍省より憲兵費の支出を受くるも大正八年度より財政獨立を實現するに至り予の如き朝鮮出身者は朝鮮の爲に慶賀に堪へず又再昨年退鮮以來久しく鮮の隔々として邁轉しつゝある事を日當拓殖局にて見聞し欣快に感じ居れり滿鐵職制改正問題は世上喋々風聞を聞けど予等は全く關知せず恐らく風聞子の揑造に過ぎざらん滿洲築港問題の下院上程は運動者に於て成功せしやう聞きしがその實行は何分巨費を要するを以て容易の問題に非ざるべき乎

◎電氣事業取締規則中改正發布

電氣事業取締規則中改正の件は六日官報にて發布さるべきが右は現行規則に於ては高壓電線を支持する腕木は全部赤色に塗ることゝなり居り內地に於ては腕木又は碍子の孰れかを赤色となし高壓電線なることを表示することゝなり居り朝鮮に於ても亦內地と同樣に腕木又は碍子の孰れかを赤色となすことに規則を改正し當業者の利便を圖らむとするものなり

◎鮮銀增配

年九分に決定

朝鮮銀行にては五日株主に對し總會召集通知を發し來る二十日東京に於て大正七年下半期決算案並に利益金分配案を附議する事となりしが株主配當は最近まで年八分の割の限定なりしも精算の結果純益金百六十六萬圓に達したるに付此の內より缺損補塡準備金並に配當平均準備金及び重役賞與金を控除したる殘額乃ち株主に對し配當し得べき利益の額は百萬圓を超へ拂込資本金に對し一年百分の十二の割合を超過する事となるに付該超過額の二分の一は朝鮮銀行法により當然政府に納入せざるべからざるに至れり之れ一に結局鮮銀營業好況の結果純益の激增を來したるものに付株主配當も亦增加するを適當とすべしとの議論內部に有力となり乃ち一分增配年九分の配當案を株主總會に提出する運びに至れるなり因に役員賞與金は純益の一割を收得し得る事となり居れるも同期の賞與は八萬餘圓乃ち五分の低率に留め居れりと（東京）

◎東拓殖產打合

東拓支店にては南鮮の出張所長七名を招集し八年の殖產施設に付打合せを行ひつゝありしが五日終了すべし

◎咸興畜產組合認可

咸南咸興郡咸興面定野秀一外九名より豫て申請中の咸興郡畜產同業組合設置の件は一月三十日附認可せられたり

◎山西會社認可

豫て資本金三萬圓を以て釜山府大廳町山西武治郎外一名より申請中の乾物糖粉貨柑橘雜貨販賣業を目的とする山西合名會社設置の件は二月一日附許可せられたり

◎繭糸會社認可

豫て群山府全州通吉田宇之助より申請中なりし全北繭絲合資會社は二月一日附を以て其筋より許可の指令ありたり因に該會社は資本金十萬圓にして所在地は全州郡なりと

○入江書記官滯在期 拓殖局書記官入江海平氏は李太王國葬委員として四日夜入城朝鮮ホテルに入れり尚ほ氏は李太王國葬儀終了まで滯在の豫定なりと

○米國大使一行入城期 米國大使モーリス氏夫人令孃一行は來る七日南大門著入城朝鮮ホテルに一泊翌八日參內に向ふ可しと

人事消息

▲河野節夫氏（忠淸南道事務官）五日出發赴任 ▲松二平氏、辰二郎氏（成鏡北道事務官）五日帰任 ▲二平氏（總督府技師）蠶種試驗の爲五日附を以て全北康津郡へ出張を命ぜらる

八面鋒

◆マーシャル、カロリン兩群島も、何うやら先づ日本の物になりたるが如きも、國際聯盟の成立迄は、唯行政權のみを與へ、主權は附與せずと云ふ。一體國際聯盟は何時成立するものにや、若し成立せざりしならば、兩群島は如何なる處分をなすや。行政權のみの附與なれば、今日唯今と何の異なる點なし、換言すれば、兩群島は現在の儘にして、當分放棄すべしと云ふに等し。要するに此の結果を見んとするは、日本側の强硬なる主張に對して、ウイルソン君の勝利と云ふを得べし。

◆軍事設備の不許可、關稅の不許可、市場獨占の不許可、一言にして盡せば一切の開放也。ウイルソン君の提案たる國際聯盟、委託統治は、要するに舊獨領の一切開放也、行政權の附與、統治委任を受けたる國は、何等の利益を享有するものぞ、佛國新聞に非ずと雖も、戰爭は何の爲に行はれたるやと、叫ばざるを得ざる也。

◆ウイルソン君は、ヴエルサイユに於て、其の手腕を四角八面に振ひ、國際聯盟を眞ッ向に、花々しき武者振を見せつゝ、遂に其の主張通り、舊獨領植民地の處分に對しては、國際管理に迄漕ぎ付け、大に得意の色あり。然るに其の本國に於ては上院共和黨の國際管理に大反對の聲を聞く、若し夫れ國際管理にして、米國の主張なりとせば、其處に大なる矛盾を發見せざるを得ず、ウイルソン君個人の主張とせば、提案は米國の提案なりと云ふを得ざる也。

◆世界永遠の平和の基礎なりと稱せらる、國際聯盟の原則は、海牙仲裁々判を擴大したるものに似たり、違反國に對する聯盟國の態度は、宛然大戰に於ける聯合國の觀あり。然れども將來獨逸の如き橫暴者の現はれんか、又しても大國爭の發起は免れざるべし。否、聯盟は戰爭の範圍を極限し、海港の自由を保全し、海上封鎖を限定すべしと云へば、將來の戰爭は一人々々の決鬪なりと云ふにあるか。

◆世界平和の爲軍備の縮小、制限を主張するウイルソン君の米國が、大海軍の必要を云ふは、矛盾ならずとせず。假想敵を造るに非ずんば、今日何の爲に大海軍の必要あらんや。

◎木材着荷 舊龍山漢江河岸に全部集積しあり

鴨綠江產 紅松、胡桃、原木
內地產 栓、鹽地、朝鮮松丸太
板 堀口一尺以上 長さ二間以上三間 約四千本
小割材 新荷著

右薄利御相談に可應候

京城本町二丁目電話長三七〇番
小野田セメント特約販賣 山本村太郎
京城岡崎町停留場前電三〇四七番 同 材木置場

カバー附 最新式

東鄕印 繩機貸附

●●於製繩競技大會一等賞受領 ●●製品は常に高價出荷は迅速 業務擴張と成績立證の爲一郡二臺先著順に
代金は使用後割拂と特價提供 ○製莚機も特價
特約店へは店備機提供長期附等の御相談に應ず ○圖入說明書御郵送
製造元 大阪市築港 電西五〇七番 藤田商店

金ペンの氣持よく走る心地と体裁の頗る良い萬年筆はパイン萬年筆に限る

純金ペン 八圓八十錢 最新形 六圓八十錢 インキ止式短軸 四圓九十錢
西洋向 四圓八十錢 學生形 二圓八十錢 ビジネスペン（一圓九十五錢）

發賣元 京城太平通 京城日報代理部

製造元とのやくそくで

砂糖、麥粉、食鹽、金巾、綿布、石油、洋燭、鍋釜、瓦、乾物、罐詰、ビール、サイダー、葡萄酒、日本酒、醬油、染粉、足袋、其他日鮮人向雜貨食料品

割の安い品そろいの

大おろし店 仁川本町 河野本店 電話二八二番

剃味が最善です

歐米品より優秀なる

日本製 ☆印 西洋カミソリ

A號 一個金一圓三十錢 送料四十錢
二號 一個金一圓二十錢 送料四十錢

販賣 東京銀座弓町 福田商店 電話京橋一六五二番 振替東京二〇〇〇七

伊太利アチステ、チアンヌド孃來る

二月十一日火曜午後八時三十分朝鮮ホテルに於て伊太利アチステオペラー奏唱

入場歡迎

エルピラ、チアンヌド孃 ルヒニー

入場券は朝鮮ホテルにて發賣

大正七年七月一日改正現行

◇平元鐵道 敷設の内議決す

多年の懸案であつた平元鐵道は既報の如く大正九年度から建設に着手する事に總督府の内議が決定した次の議會で豫算さへ通過すれば九年度から直ちに工事に取り懸り七箇年後即ち大正十五年度迄には竣工せしめる筈である線路は現在の平壤炭礦線を延長し咸鏡線高原附近で南部咸鏡線と接續して元山に聯絡する豫定である新線の建設區間は約百十八哩で平元間の距離は約百五十七哩であるから京城平壤間の距離百六十五哩にくらべて約八哩短く京義京元の兩線を迂回する現在線路三百一哩にくらべると其半分にしか當らぬ譯である、寫眞右は平壤牡丹臺、左は元山停車場

◎葬祭場迄は……國葬式にて

御墓所へは朝鮮樣式

=五日國葬會議にて決定せる如し

李太王殿下國葬祭場は五日午前中の國葬會議の結果愈々訓鍊院と確定せるものの如く葬儀の樣式は德壽宮より葬祭場迄は從來の國葬に則り只大輿だけは朝鮮式を用ひ葬祭場より金谷御墓所までの葬列樣式は全然朝鮮の儀例に從ふこと、決定せるが如し

◎大綱は五日中に決定

國葬事務正式會議始まる 伊藤公の瀟洒な黑毛襟の外套

故李太王殿下の國葬事務に關する正式打合會議第一回は五日午前十時半から國葬事務所會議室に於て開かれた事務所に充てられた德壽宮構なる中樞院の正門には故大勳位李太王殿下國葬事務所と大書された黑痕鮮かな看板が眼を惹く。溫氣漂たる午前九時卅分に國田師團副官が元氣の佳い

▽徒歩姿 で門を入る。續いて平澤司令部副官が同じく徒歩でやつて來る。同四十分に兒島警務總長が腕車の中から姿を現はす續いて尹德榮子の自動車が著く。十時三分前に掛長山縣政務總監が遠藤秘書官を隨へ自動車を驅つて來て二階の掛長室に姿を消す。やがて調度品を入れた宮内省の

▽大鞄が 二個搬ぎ込まれる。それから村田總督附武官其他の委員が相前後して參集し各自掛室に入つて行く。十時を過ぐる二十分に至つて掛次長伊藤公一行の馬車が玄關に著く。すると公は中折帽に黑毛皮の襟を著けた外套を羽織つた瀟洒な姿を車外に現はして玄關前に待設けた本社の寫眞班の願ひ『寫眞かね』と

▽微笑を 含み乍ら一寸足を停め岡田式部官佐伯掌典大木書記官等を隨へ二階の次長室に入つて行く。二階には西一番の廣間を會議室に充て儀式掛長、次長、總務、會計、營繕等各室が向ひ合ひ隣合せに設けられて居る。會議室には縱に一列の卓に白布を蔽ひ正面が掛長その左右が掛次長の席に充てられ其他掛員が向ひ合ひ卓を挾むやうになつて居る。斯くて

▽十時半 に至つて掛長山縣政務總監を始め伊藤公、李完用伯、國分李王職次官、宇佐美内務部長官、趙重應子、兒島總長、宋秉畯子、岡田式部官、佐伯掌典、藤波通譯官、村田武官、東條武官、大木宮内書記官、入江書記官、尹德榮子、荻田總務局長、遠藤秘書官、工藤事務官、岩井技師其他掛員漏れなく出席直ちに

▽會議に 移りたるが正午までには何等議決せず正午休憩後午後も引續き會議を續行した其結果葬儀一切の大綱は大抵五日中に決定を見るべしと思はれる。

◎元帥刀

御親授は四月か ◇元帥九名へ

昨年八月廿九日勅令を以て制定せられたる元帥佩刀は同十月一日元帥府に於いて佩用規定を定め宮内省にては芝區愛宕町の小松崎茂助氏に製作納入方御下命ありしが右

佩刀 は全長三尺一寸五分刀身約二尺五寸頗る緻密美麗を極めたるものにて刀身鞘飾り其他夫々別々に製作するものなれば一刀にしても餘程の時日を要し最初二月初旬頃製作を了し御親授あらせられ十一日の紀元節には各元帥に佩刀せしむる筈の所

延期 し來る三月十五日までに納入の豫定となりたれば三月下旬又は四月上旬頃現在元帥たる伏見宮貞愛親王殿下を首め奉り山縣、奥、長谷川、川村、寺内各陸軍側元帥及び東郷、井上、伊集院各海軍側元帥九名に對し天皇陛下より夫れぐ

親授 あらせらるべし尚今後元帥府に列せられ元帥の稱號を賜はる者には右佩刀に元帥徽章を添へて下賜せられ戰時若くは事變に際し出征の時若くは正裝禮裝及び通常禮裝の場合に佩用するものなりと(東京)

◎園侯極樂寺を訪ふ

特使一行舊元旦の彼南に著す 沈默侯アイスクリームを呼ぶ

新嘉坡出帆以來極めて平穩なる航海を續けつゝありし丹波丸は二月一日朝ペナンに到著せり。在住日本人代表者數十名は直ちに講和特使西園寺侯を船中に訪問し侯に對して百年前馬來のケグ王が佩用せりと傳へらるゝ名高き古劍一口を贈れり。斯くて午前九時侯を除きたる一行の人々は周圍に朝集せる美しき彩色を施されたる土人の小舟の間を縫うて上陸しオリエンタルホテルに休憩す。一行は關根船長同地日本人會長等の案内にて自動車を驅り眞黑或は銅色の土人の往來繁き市街を通過して有名なる極樂寺を訪へり。此日恰も支那陰曆一月元日に相當したるを以て戸々支那國旗を掲げて祝賀しつゝありたり。尚ほ侯は郊外に清遊を試みたるが氣候頗る暖かくアイクリームを呼ぶに至れり。一行は夫れより植物園を見物野生の猿や栗鼠が木から木へ飛ぶ態など珍らし氣に打興ぜり。侯は元氣旺盛なるも沈默勝なり是れ恐らく毎日到著する講和會議の情報を受取る毎に其胸中縱横の畫策に多忙なるが爲ならん。此夜は一泊二日朝馬賽に向け出發の筈(ペナン特派)

◎露獨過激派の陰謀

數億の金で危險思想を撒布す 我國民も此の際特に戒心せよ

昨今盛んに行はれて居る流言につい某要路は語る『この際最も警戒すべきは獨逸の新謀政策で、獨逸帝國崩壊後の今日、尚此の惡辣な策を續けるのは先づ聯合國を離間し

▲講和に依て 生ずる獨逸の打擊を少くすると共に一面露國過激派と通じて世界に革命を起させようと云ふので、露西亞の過激派は世界の各地に黨員を派して一生懸命になつてゐる。印度方面にも來て居るらしく浦鹽邊にも潜み居るだらう、伯林と巴里は彼等が一番骨を折つてる處で遂に此の間も露都から

▲伯林に四億 留の露貨と一億馬克の獨貨を運動費に送つた。巴里では種々な手段で各方面から盛んに日本を中傷して居るとも限らない、支那では一週間以前に革命主義宣傳に對して一枚の印刷物をも配布させぬ樣獨露兩國民中不逞な奴はドンく追つ拂ふことにした。我國でも

▲在留敵國人 に對する警戒は決して緩めては居ないが巧妙な彼等の事だから國民は此際特に戒心して斯かる運動に惑はされてはならぬ』(東京)

◎下關地方 大吹雪

積雪五六寸 興行物休止

五日朝釜山に入港せる關釜聯絡船高麗丸航行に困難す 高麗丸事務長の談に依れば下關地方にては四日朝來紛々として降雪あり午後に及ぶや猛烈なる寒風を伴ひて大吹雪となり市街は各戸悉く戸を閉ぢ劇場活動寫眞等の興行物は一切休止し街路は人通り全く絶え夜に入りては一層物凄く遂に是が爲め高麗丸も出港時刻を豫定より約四十分許り遲延したるが此時既に積雪は此處五六寸に達し居れり下關附近の海上は波浪比較的に穩かなりしも降しきる大雪の爲め針路を見定むるに由なく航行上困難を極めたるが五日午前二時頃漸く對馬北端近海に入りて漸く霽れ無事釜山に入港するを得たりと(釜山特電)

◎釜山零下十度

釜山地方にては四日午後より氣溫著しく降下し零下十度と云ふ近年稀なる寒氣にて上水道一時は殆んど全部凍結すると云ふ狀態にて府民困難を極めたり(釜山特電)

◎牛羊の出入を停止す

鵞口瘡流行の爲 鵞口瘡撲滅の爲臨時防疫令第九條及び第十條に依り當分の内釜山府凡一洞に於ける牛、羊、山羊、及豚の出入往來及び牛市場の開設を停止する旨五日總督府令を以て發布せり

◇國葬會議始まる 列席のため……右より尹德榮子、李完用伯、伊藤公

◎流行性鵞口瘡は?

どんなものか=急性發疹に屬す ◇惡性の流行ならば半分は死ぬ……

今度釜山鎭方面に發生した鵞口瘡と云ふ牛疫は一體どんなものであるか、斯く郊外に其の流行傳染が甚しいので官民ともに之が豫防防疫に努力して居ると云ふことは昨紙夕刊にも記載してあつた通りであるが其の

◇病症、病原 經過其他の事項に關し某大家の談を聞くと此の流行性鵞口瘡と云ふのは一名口蹄疫とも言つて急性發疹に屬する傳染病で口腔の粘膜とか蹄の皮膚及び乳房等に水疱を發し主として牛、豚に多く稀には羊、山羊にも發し例外としては馬、犬、猫其他家禽に傳染し又人間に傳染することも無いとは言へないそして一度此の症に罹ると病の輕重其他の事項によつて一時免疫質となると云ふ學説も行はれて居る樣である

◇病毒の本態 に關して此の病の原因として種々の説があるけれども要するに未だ明確でないとの事である病毒は唾液とか水疱の含液、乳汁、血液、糞尿、呼吸等に存し頗る鋭敏にして糞便等の中にあつては實に數箇月若くは一年間も有力に生存して居るものである而して病獸から直接に傳染し或は媒介物に由り間接に傳染し專ら交通貿易に由つて傳播するものであるらしい即ち之が豫防として隔離交通遮斷消毒等に超したことはないのである此の鵞口瘡の症候として牛にあつては口腔粘膜、蹄冠及び趾間の皮膚に水疱及び潰瘍を發し羊、山羊、豚に在つては病症概ね足に局限されある樣である第一

◇口腔の症候 としては平均三日乃至五日の潜伏期を經て發熱し口腔粘膜は紅を潮し同時に食欲泌乳の減少は申す迄もなく反芻も止を呈し凡三日を經れば齒齦、舌、頰、唇等に粟粒大の黃白色水疱を點見し其水疱は漸次增大して行くのである水疱には初め澄液を含んでゐるが後になると溷濁して膿樣の液に變じ終に水疱破潰して潰紅色を呈し頰に唾液を漏らすに至るのである水疱は多く口腔に發するを常とするのである本病の經過は一二週間であるけれども合併症ある時は經過一變するのである第二に蹄の症候としては蹄冠部及び趾間の皮膚は口腔粘膜の如く紅を呈し熱痛を帶び一兩日を經て

◇水疱を發し 水疱破潰すれば病獸は跛行し多くは伏臥することゝなる通常一二週間を經れば治癒するものであるそれから此の鵞口瘡の經過及び豫後として述べて見ると口蹄疫の經過は毎に良性で輕重の別あるも概して短期の經過を取り二三週間内に治癒する樣である斃死は皆無と言つても良い位である然らずとも百頭中僅に一頭位に過ぎぬ然れども惡性にあつては成長獸は百頭中四五十頭哺乳幼獸は五十頭乃至八十頭位斃死した年もある而して一厩舍若くは一牧場中に於ける疫の經過は四週間乃至六週間に亘り普通としては極めて迅速に傳播するも或は又徐々に蔓延することもある

◇一旦治癒に 赴けば經過して居たものも速かに舊態に復するのであるが時としては衰削して泌乳減少、皮膚粗剛、乳房經久蹄病、痒性皮疹、跛行等の如き餘病を續發することもあると云ふことである

▽療法 厩舍を良く乾燥せよ

而して此の鵞口瘡には別に所謂特効藥と云ふ樣なものはないので其療法としては先づ攝生療法として病獸に軟食を與へ又厩舍を良く乾燥せしむる等も必要なことであるそれから外科的の療法としてはタールとかアルコールの繃帶を施す等の方法もあるし又一種の血清療法として接種法と言ふのがあるけれども此の療法は未だ一般に應用せられて居ない樣である先づ此の病氣に罹れば第一に體重が減少し乳量を減じ而も飲用することは出來ないし交通遮斷の豫防法を採らなければならないから賣買も出來ない使用も出來ず隨分各方面に

◇損害を及ぼ すことで農家の耕作期でないから此の點には差したる支障もない樣なもの、矢張り穀物其他薪炭荷物の運搬として牛を使用することも出來なくなり又牛乳業の如きは乳汁の販賣不可能となる譯であり又今度は慶南各地に流行の兆を呈して居る樣であるから此等の點から來る損害と不便は到底免るゝ事は出來ない譯であらう殊に間島方面から咸鏡道地方に運搬交通の機關を絶たれると云ふことになり國境貿易等にも多少の影響は免れまいと云ふことである

◎不良少年『神明團』捕はる

搔拂つた短刀を所持す

東京神明小學校の生徒芝區宮本町十一おでんや和蛇定吉次男彌之助(一七)は神明團なる不良少年團を

◇組織し 同町卅五松下角次郎長男神明小學校六年生友一郎(一三)同番地中村道之助四男同年生(一二)同町十八待合千代鶴事小松秀次郎二男同校四年生光次(一二)同町十七會社員清水新之助長男同校六年生鶴松(一二)及同人弟同校二年生竹雄(九)同區四國町二ノ五職工藤川吉元郎長男同校四年生宇太郎(一二)外

◇數名を 團員とし昨年五月以來同區宮本町一道具商高橋吉藏方より數回に短刀數十本を盜み出し各自送々所持したる外同町文具商野口しづ方の萬年筆七本其他價四十圓餘を竊取し外數箇所に於て惡事を働き贓品は通行の屑屋等に賣卸し活動見物或は

◇飲食に 耽り居たる事發覺し一日北紺屋署の柳井刑事の手に一同取押へられ目下永井警部補取調中なり(東京)

◎金融理事投身す

精神異狀か

慶南昌原金融組合理事相澤房太郎氏は三日朝同組合の井戸に投身す原因は精神異狀よりなりと(馬山)

◎汽船行衞不明

米國運送船の

一月十九日大豆を積載して清津を出帆し神戸へ直航せる露國汽船(七百噸)は途中風波に遭ひて行衞不明となりたるが同船出帆當日は恰も浦鹽を出帆し本國に向へる米國陸軍運送船ワーレン號の咸北漁大津沖にて行衞不明となり目下各關係者は非常に憂慮し居れり(清津)

◎無煙炭で窒息

京城西小門町二十四番地重並直造方雇人鮮人朱(三五)は二日夜火鉢に無煙炭を吹き室を密閉して眠に就きたるが翌朝に至り同人は右無煙炭の瓦斯にて窒息せること、主人が發見して其旨所轄警察署に屆出で警察署よりは檢視の上屍體は屍親に引渡したり

◎電車で負傷

龍山元町三丁目新炭商金泰淳(四七)は三日午後五時半古市町十四番地先の電車線路を横切らんとして折柄進行し來れる百十號電車に觸れ頭部に擦過傷を負ひ直ちに蓬萊町今里病院に擔ぎ込み目下手當中

◎培花學校小火

五日午前十一時市内光化門町一丁目培花女學校寄宿舍人部屋の溫突より出火將に大事に至らんとする處を消し止む損害なし

◎象の放火

濱□寺動物園 ……火に盡力せしも遂に象舍を全燒し居たる象一頭を燒死せしめ……

◎滯貨八十萬噸

……在の主要驛の滯貨量及び此が輸送に要する貨車を示せば左の如し……

天氣 京城地方 晴一時曇

事務員採用

年齡二十歲以上にして中等學校卒業程度のもの採用す希望者は履歷書携帶本人來談あれ

京城日報社 營業局

▼特賣廣告▲

▲銑繰絹 一尺付 金五十五錢

但し在品僅少 御注文は振替又は電話にて

京城日報代理部 振替口座京城二〇〇番

演藝案内

有樂館 早川演藝部直營 ……
社會の流木 ……
幽靈船 ……
人情劇 狂亂の人 ……

浪花館 京城明治町 電話二六〇 ……

黃金館 ……
荒鷲四郎 全四卷 ……
鐵道王の娘 ……
戰死大尉 全四卷 ……

大正館 櫻井町 電話八七三 ……
活劇 怪城 全三卷 ……
舊劇 木曾の仇討 全三卷 ……
新派 つきぬ恨 全五卷 ……

文樂座 本町五丁目 電話三六八 ……

壽座 京城本町 電話五七八 大阪歌舞伎中村玉六一座 ……

……須磨署にて消防隊を指揮して消……めたし原因は……炭火を入れ置きたるに無心の我が……鼻にて其上に藁を押込み遂に大事に至りたるものなり（神戸）

朝鮮統治の狀況（十四）
大正七年に於ける諸般施設

財政（二）

大正七年度に於ける歲計の需要に應ぜむが爲大正七年六月制令第十四號を以て煙草稅令を改正し製造煙草の消費稅率を小賣定價の百分の二十五に增加したり。而して自家用葉煙草に對して課稅せざることは課稅の公平を失し延て消費稅の收入にも影響すべきを以て從來の耕作稅を廢し葉煙草にも製造煙草と同率の消費稅を課し、葉煙草を葉煙草取扱所より引取るとき引取人より徵收することとせり。然れども納稅人中には今尚自ら耕作したる葉煙草を喫用するの習慣存するが故に民度及び風習に適應せしめむが爲特に耕作面積を制限して自家用葉煙草の耕作を認め其の耕作に係る葉煙草には消費稅を課せざる代りに耕作稅年額八十錢を徵收することと爲したり。其の他改正葉煙草稅令に於ては葉煙草を二種に區分し各稅額に差異を設け負擔の權衡に努め又從來消費稅納付濟の製造煙草を輸移出したる際は消費稅に相當する金額を交付したるも之を廢止し消費稅の取締を簡易ならしむると共に煙草製造保護上遺憾なきを期したり。煙草稅令の改正に依る大正七年度煙草稅收入豫算額百七十六萬二千餘圓にして之を大正六年度同上豫算額八十一萬三千餘圓に對比せば九十四萬八千餘圓の增加を算す。而して製造煙草消費稅增徵の結果製造煙草の小賣定價は概ね之を引上げたるも消費力一般に增進したると他の物價著しく昂騰の際なりしかば消費者に於ては何等の苦痛を感ぜざるものの如く、製造者の販賣價格の如きは漸次增加の趨勢に在り。又從來の耕作稅は其の轉嫁甚だ困難なるのみならず、且其の負擔は消費力に適應せざるに反し葉煙草消費稅は引取人より其の價格に應じて比例率に依り徵收するを以て斯る不利を芟除し得たり。加之消費稅標準たる葉煙草の價格は葉煙草貯藏場に葉煙草を保管する期間に鑑定するを本則とするも、鑑定の迅速と公平を圖る爲從來の藏置場制度を擴張し葉煙草消費稅未濟の儘之を藏置場に搬出することを許し、藏置場に於て集合鑑定を受けしめたるを以て鑑定の迅速且公平なるは勿論藏置場に搬入するときは金融上の利便あり自然從來行はれたる取引上の弊害を一掃することを得て當耕作者の利益を大に增進せしめたるは疑ひなき事實なりとす。尚自家用葉煙草耕作稅は從來の耕作稅に比し幾分增加したるも全葉喫用葉煙草にも製造煙草と同率の消費稅を課することと爲したる結果之と權衡を得せしめむが爲增加したるものなるを以て、自家用葉煙草耕作者は稅額の增加を已むを得ざるものとして不平を唱ふる者有るを聞かず。

大正七年三月法律第五號を以て公布せられたる所得稅法の改正は朝鮮に於ける法人の所得稅に關して亦當然其の適用を受くべきものにして稅率約二割の增加を見るに至れり。大正七年度に於ける收入增加見込額は約四萬七千餘圓なり。

又同年三月法律第九號戰時利得稅法の公布に伴ひ朝鮮に於ても亦同法制定の趣旨に從ひ大正七年五月制令第六號を以て戰時利得稅令を公布し法人の所得、船舶又は鑛業に關する權利若くは設備の賃貸に因る個人の利得に對し課稅することとせり。而して大正七年度に於ける收入見込額は約四十一萬五千餘圓なり。

時局の影響に依る穀價其の他の物價、勞銀等の昂騰は農作物の豐穰と產業の發達と相俟て一般經濟界の進展を促し且課稅基礎の明確を期すると共に銳意徵稅機關の改善に勗めたる結果租稅の徵收成績は前年に比し遜色なき好果を收むるを得たり即ち大正六年度末に於ける內國稅調定額一千五百九萬二千餘圓に對する徵收濟額は一千五百五萬四千餘圓を算し、其の步合は百に付九割九分七厘の割合に相當し前年に比し調定額に於て百四十二萬五千餘圓、徵收濟額に於て百四十一萬四千餘圓の增加を示せり。

政府の專賣に屬する紅蔘は製法の改良と產額の增進と共に良好の成績を擧げ收入亦年每に增加の趨勢に在り大正七年に於ける蔘圃の掘採間數は十二萬六千三百四十間にして其の內政府に收納せる水蔘は數量六萬七千八百十二斤なり。而して是により製造したる紅蔘の數量は二萬五千五百八十四斤にして拂下收入金額百九十萬五千餘圓なり

全北の米と全南の棉（下）
三南の富源を連絡せしむべき途
吉松慶北第一部長談

次いで全羅北道群山に於ては昨大正七年の移出貿易中米は一千三百萬石の巨額に達し大正六年度に比し五百萬圓の激增を呈し居れり、此の一事を見るも群山は米の群山にして又米の外何物もなき狀態なるを實に最近群山に入港せる米穀積取船が十二艘に及びたる到底他地に於て見る能はざる盛況なりき而して群山を圍繞する沃溝郡は實に細叺の名產地にして一箇年裕に百五十萬枚を算し群山に於て輸出用として使用し尚餘りあるのみならず他道に輸送せんとするの狀況を呈し居れり、斯くして目下全北平野の產業は殆んど此地に湊集せられ車馬の往來米ならざるはなきの狀況を呈し全北の米が棉の全南と相對し全羅南北道の分界をなし居れるの狀況痛快なりといふべし尚ほ全北平野を見るに萬頃江の平野は今や水利組合五組合に及び更に之が聯合會の實現を見んとする盛況にて此等組合區域の面積は總計一萬六千町を有し工事費百七十九萬圓に達し居れり而して最近井邑、金堤の平野には一萬餘町の水利計畫ありと聞く、斯して米の全北、水利の全北たることの特色を益々發揮し居れりといふべし而して全羅南北道の產物は一つに官民協力の賜にして今や將に著手せられんとする五州輕鐵に依り益々開發せられんとするの狀勢にあり。今是等の兩道を以て慶尚北道に比較するに慶尚北道は田畑相亞均し其作物も孰れに偏することなく米、麥、大豆の如き主產物を始め棉の如き特用作物に至る迄產せざるなし而して大邱の地たる是等物產の集散地なるのみならず南鮮經濟界の中軸たり、之を地理上より云へば大邱を中心として慶尚北道は東方に展開せるを以て更に西に顧して大邱より高靈を經由し慶尚南道居昌より咸陽を經全北雲峰、南原淳昌の地より全南に出で潭陽、光州、羅州より木浦を結ぶことを得ば所謂三南富源の地を連結することとなり同時に此等の富を吸收する我が大邱の利便蓋しいふべからざるものあり之れ余の木浦に於て招待せられたる懇談會に誓言したる所にして頗る彼地有識者の同意を得たる處なりしなり敢て我道の有志者も此等に向つて研究されんことを望む切なり

各地の物價

近頃物價の暴騰は殆ど天井知らずで、日用品の拂底には何處でも等しく困つて居りますが、就中、先日來の通信にある如く酒より高い石油の相場が出たり、食物より高い炭薪を使はねばならぬ仕儀となつて、生活難の聲は各地に漲つて居ります、之れに對して吾社朝鮮滿洲各地に多數の支局通信部を設けて居りますから、其機關を利用して各地の物價と特殊の料金等を比較することとして一月三十一日現在の調査を取纏めて到着順により掲ぐる事に致しました

(品目)	(單位)	仁川(京畿)	水原(京畿)	成歡(京畿)	淸州(忠北)	裡里(全北)	全州(全北)
白米	一升	一等四十三錢五厘	四十一錢	四十錢	四十錢	(石拔)四十三錢九厘	上四十五錢
醬油	一升	地製六十錢	六十錢	四十五錢	五十錢	四十二錢乃至六十錢	六十三錢
砂糖	一斤	十九錢	二十錢	二十一錢	二十二錢	十九錢	二十錢
食鹽	一升	八錢	九錢	十錢	十四錢	十二錢	十三錢
牛肉	百匁	五十四錢	四十錢	三十錢	三十五錢	(斤)九十錢	六十錢
鶏肉	百匁	八十錢	六十錢	(取引なし)	六十錢	一圓五十錢	七十錢
鶏卵	十個	三十五錢	二十七錢	二十五錢	三十錢	三十錢	二十八錢
石油	一合	七錢	九錢	十錢	十錢	十錢	十錢
淸酒	一升	一圓二三十錢	一圓二十錢	一圓廿五錢	一圓二十錢	一圓二十錢	地酒九十錢
飲料水	一荷	……	……	……	月四十五錢	……	……
家賃	一ヶ月	二圓	三圓	二圓	三圓	三圓	一圓八十錢乃至一圓

(家賃は日本式家屋にては標準立ち難きを以て溫突一間一箇月の料金とす)

(品目)	(單位)	仁川	水原	成歡	淸州	裡里	全州
理髮	一回	三十錢	二十五錢	二十錢	三十錢	三十五錢	三十五錢
髭剃	一回	十五錢	十五錢	十錢	十五錢	二十五錢	二十錢
湯錢	一回	二十錢	四錢	(湯屋なし)	四錢	五錢	四錢
髮結	一回	二十錢	五錢	(髮結無し)	五錢	十錢乃至二十錢	十五錢
旅館	一泊	二圓五十錢	二圓	二圓	二圓	三圓	二圓

裡里は鮮人旅館五十錢

(旅館は內地人旅館の中等を標準とし晝食なしの料金なり)

(品目)	(單位)	仁川	水原	成歡	淸州	裡里	全州
旅館の酒	一本	二十錢	二十錢	二十二錢	十五錢	十五錢	十八錢
料理屋同	一本	二十五錢	二十錢	十五錢	十八錢	十八錢	十八錢
藝妓	一時間	八十四錢	九十錢	一圓	八十錢	八十錢	八十錢

右の表の中に藝妓があつて女髮結のない地方もありますが、之は地方へ行くと別に珍らしくも何ともないことで髮結が無ければ無いなりに銘々が結合つて而も島田でも丸髷でも女人既足に結上げるから妙です

北鮮は牛疫で大打擊を蒙る
◇運輸機關杜絕の狀態◇

一月十六日穩城郡等に發生したる流行性獸疫口蹄疫は非常の勢を以て傳播し同月二十七日迄に會寧郡のみにて三百六十一頭の罹病牛を見たるが更に隣郡茂山、鍾城各郡に蔓延し同日迄に四十餘頭を斃牛せるに更に月末に至りては富寧郡鏡城郡にも流行し遂に三十日には淸津府にも侵入し三十三十一日の兩日間に十五頭の罹病牛を出し尚ほ益蔓延の兆あるが目下淸津には白豆運搬の爲め牛車の集合するもの多きに一朝同疫の流行蔓延せんか運搬界の打擊甚だしかるべしと恐怖せしめつゝあり斯の如き狀態にて今や咸北道の北半部は該疫の流行地たるの觀あるより當局に於ては牧場と協力し極力之れが撲滅に努めつゝあり尚同疫は大抵三週間にて全治し斃死するもの少きも其間牛產力なきを以て只さへ缺乏に苦しみつゝある運輸界は一層の缺乏を來し一般に及ぼす打擊少からず因に同疫系統は對岸間島より侵入せし由（淸津）

忠南北の輕便鐵道
公州より鳥致院を經て淸州忠州に

京釜線鳥致院を起點として忠南公州及び忠北忠州に通ずべき輕便鐵道は已に實測を昨秋迄に終り居りたるが此程に至り一部線路變更の必要あり大崎技師一行九名鳥致院に來りたり該工事は來る三月中旬頃より用地買收に着手し地主の承諾を得次第起工すべしと（鳥致院）

出獄者救濟
◇釜山補成會の事業と新築◇

釜山監獄に於ては出獄者の內身寄なき者に對する大正七年度の釜山補成會の事業成績を揭ぐれば左の如し旅費を貸與したる者（五）旅費を給與したる者（三）衣服を貸與したる者（六）衣服を給與したる者（三）一時宿泊せしめたる者（二）食費を給與したる者（一）就職を紹介したる者（一）合計二十四名なるが此の內譯は內地人六名、朝鮮人十八名なり而して旅費貸與者より返戾し來りたる者四名、時衣貸與者にて返戾したる者四名とす同會の事業成績は最も良好に處理されつゝあるが目下の問題となれるは收容場新築の計畫なるも未だ其機に達せざると一は同會の基金にして會長理事は大いに同會の爲めに計りつゝありと（釜山）

熊退治
◇村民が寄つてたかつて◇
顔を引掻かれし者

平安南道寧遠郡小白面翼里一三〇農申鳳柱（三七）は同地附近の山林に薪を採りに赴きたる處圖らずも一頭の大熊が冬籠りせるを發見したるより之れ幸ひと直に歸宅するや部落民十數名を語らひ各自獵物を携へ申鳳柱は案內役として山林に分け入りて大熊の潛める穴の口に到りたるところ穴の內なる熊は之れを知り矢庭に穴より飛出すや眞先に進み居りし申鳳柱に飛びかゝり鋭き爪にて申の顔面に負傷せしめ尚ほも申に飛びかゝらんとせしより外の者が携へ居たる槍を以て巨熊の口の中に突き挿れたるにぞ流石の熊も深手に倒れたるを一同隙かさず槍にて突通し遂に捕殺したるが一方申は有眼下部頰肉と拇指大の深さ骨に達する傷を負ひたり（平壤）

釜山と穀物
◇一月中に於ける賣買高◇
取引上の好現象

釜山穀物市場一月中の賣買高は

(品種)	(個數)	(最高)	(最低)
籾摺米	七五二六	四三二〇	三六五〇
中白米	六三三三	三九〇〇	三六〇〇
玄米二	一五八六四	三八六五	三四八〇
滿中白	三七一	三七二〇	三五五五
滿玄米	二八	三八三〇	三七一〇
砂米	三九七	一八五〇	一七〇〇
西貢米	四〇〇	一一五〇	
小麥	三四〇一	一九一〇	一七六〇
小豆	一〇四二	二〇七五	一六六〇
大豆	三五二〇五	一七七〇	一六七五
裸麥	六五	一七〇〇	

本月中出來高總計は二十七萬〇六百二十一個にして前月の二十九萬八千五百八十六個に比すれば二萬七千九百六十五個の減少を見たるもかこハ網粟米は相當にありたるも前月に比較し市場は保合相場にて活氣なく米を持てる者は總て入庫して市場に顯はさず之に反して先高思惑をなすが爲め在庫品の割合に賣買高少く又內地期米の軟弱に影響して注文少き結果にも依るものなり而して前年の同月十二萬零九個に比するに十四萬八千六百十二個の增加を示せるは之れ全く年々を逐ふて市場外に於ける個人賣買減少し總て市場に持ち込みて取引する時は商機を失はざるのみか時々市價の變動に依り確實に取引の行はるゝを認識すると共に市場の賣買出來高も增加したるに起因するものなり尚同市場に於て與開賣付と內地注文とに依り輸送廻着の關係上或一定の日限と現物の見本とに依り期日の見越契約に基づき賣買即ち銘柄賣買をなすを得る事となり前月の如きは同種契約に依る出來高實に四十四萬二千個と云へる多額に達したり（釜山）

絶影島船渠
◇株式組織にて經營す◇

釜山絶影島に於ける船渠は最初大池西條兩氏協議の上組合事業として地均し埋築等をなしたる所其後一時山本唯三郎氏の出資說ありしより若松釜山府尹も斡旋したるが遂に不調に終りたるより其後釜山有志間に於て種々協議の末從來の規模にては時勢に適せざるを以て株式組織の下に釜山船渠會社を設立せんとの議起り有志間に於て再三會合の結果各地に於ける同種の事業を調査し又一方には朝鮮郵船會社との交渉もありし事あり發起人に於ては是非とも釜山港の爲め設立の步を進めんと時々會合しつゝあるが去る二日夜南濱小倉庵に於て其後經過並に今後に於ける方針等につき大池、迫間、西條其外數氏の發起人相會し相談會を催したり（釜山）

芥の中から月六百圓
零れた豆を拾ひ集めた新財源

昨冬來盛んに淸津に出廻りつゝある元豆は淸津稅關構內にて取扱ひの際包裝より落ち零るゝもの夥しく構內は一面の白豆を以て地面も見へざる程なるが此等の白豆は徒らに地中に踏み付けられ居るの有樣なるより淸津府廳にては目下計畫中なる物產陳列場建設費の一端に充つべく之が拾得方を稅關及び荷主側の承諾を得て昨年暮より鮮人夫をして拾集めを爲さしめ居れるが一月末迄の拾得數量百餘叺に及びたり而して目下白豆相場は下落の際とて好相場にて賣行なき府廳にては補食用として一叺六圓の廉價を以て希望者に分配する事となせるが白豆は米と共に炊ぐ時は相當に食用するを得べしと（淸津）

氷雪を冒して
獨で奧の奧へ
入込んだ醜業婦

露領の我が醜業婦は最近露領南烏蘇里地方の秩序が漸く恢復せられたりと見るや形勢觀望中であつた渠等は早くも活躍を試みつゝあるが先づ第一に國境慶興の一醜業婦は單身氷雪に鎖されつゝある煙秋子に入込み露人支那人朝鮮人の差別なく盛んに金を捲き上げて居るさうなが解氷期に入らば盛んにドシ〳〵入り込む事だらうと（淸津）

電氣興業豫算
資本金千萬圓の

近く平壤に於て總會を開催さるべき朝鮮電氣興業株式會社の豫算槪算に就ては既に報道せしところなるが更に此が詳細を見るに先づ同社の資本金一千萬圓に對し拂込み金三百萬圓即ち一株十五圓拂込み二十萬株にして內事業資金は五百十萬圓にて拂込み金以外の不足額二百十萬圓は借入金を以て此に充當すべく而して事業資金は三百二十二萬七千圓にて內主なるものを擧ぐれば七十八萬圓三千五百キロ三相交流發電機三基六十萬圓汽罐一千馬力六基三十六萬七千圓瓦斯發生爐七萬五千圓送電用配電板九萬六千圓エコノマイザー六基四萬八千圓汽罐諸用鐵管五萬圓瓦斯フアント据付一基四萬圓冷水裝置一式三萬七千五百圓送風機三基其他附屬品及び据附費等にて總計二百四十四萬一千四百圓を算せり而して工場用建物及び敷地十一萬九千百圓にして內譯の主なるものは四萬圓發電室三萬八千五百圓汽罐室二萬圓工場敷地其他又硫酸工場は一六萬五千圓として內四萬五千圓家屋十二萬圓煙突並機等外に數種十三萬圓諸設備七萬六千圓事務所社宅物二十九萬五千五百圓豫備費及び運轉資金なるが此の內本計畫に於ける電力販賣價格は發電所渡し一キロワット時定額一錢五厘とせるを以て送電線路並に變壓配電所設備費は本豫算中に計上せざるものなり次は採炭事業費百八十七萬三千圓にて其の主たるもの左の如し十萬圓（電動卷揚機）二十萬圓（鐵道敷設車輛其）萬圓（坑內用諸機械）五萬圓（ポンプ）五萬圓（電動機）五萬圓（壓搾機）十萬圓（汽機關車）九萬圓（工場家屋敷地）十萬八千百圓（採炭工場）四十萬圓（諸設備）三百五千圓（事務所建物）五萬圓（創業費）なりと

新聞紙と廣告（承前）

萬人の精神に對する大さか小さかいふことは周圍前後のものに比較しての上のことである、隨つて小なる廣告が必ずしも注意を惹かぬと限つたことはない、要は注意の原則を利用して種々な排工夫を凝すべきである、次に廣告文の質に就て述べんに之に對する一般原則としては讀者に餘り骨を折らせないといふ事である、即ち手つ取り早く讀み得るやうに文章を作るべきである、此の

原則 からして廣告文は簡潔強力でなければならぬ、又その內容は消極的のものであるべきか將た誇大積極的のものであるべきかと云ふにそれは讀者をして不信又は不快感を起さしめざる程度に於て誇大にせなければ目的を達することが出來ぬ、不信を起さしむる廣告の內容とは、是程迄に言ふてゐるが果してその通りに效能があるか又は便利であるかと思はせるやうな廣告文をいふのである

結局 半信半疑の念を起さしむるが如きものである、之れは都合によると購買心を起さしむるかも知れぬが、假し購買心を起さしめて一度買はせた所が怨り〳〵した上顧客に向つて購買の不

……の步調を辿りて下押し十二月末より一月に入りて尚一段の低落を示……

……主旨を達成せられんことを望むと云ふにあり（安東縣）

時計貴金屬指輪眼鏡商

遠方の御注文は代金引換にて送る
京城本町二丁目 御用達 三浦天龍堂

サスガは大學
見事に治る

新石油各油卸 炭 山城德用品
國旗類 小賣
犬印石版
活版インキ
貿易雜穀商 藤富國太郎商店
京城本町三丁目 電話長一九〇二八番 振替京城一七七八 電略（ク）又八（フ）

目ニ見ヘテズンぐトキク
シマズ イタマヌ
井上博士ノ ロート目藥

五十錢 廿五錢 十五錢

慢性りん病
藥劑師 淺田藥局
大阪市南區櫻川四丁目 振替大阪三〇二四九番

おもしろい程きく
荒川のカギヤピリン
かぜ つかぬやうに
彼是と手遲れせぬ樣直服用あれ
現今の流行かぜには頗る妙
丸劑と散劑とあり◇小兒には又專用の小兒用カギヤピリンあり◇
◎藥價 ◎十錢◎廿錢◎卅錢◎五十錢◎壹圓
本舖 名古屋市京町 荒川長太郎
◎全國到る處の藥店に販賣す◎

瀨戸 外科 皮膚科 醫院
京城旭町二丁目（舊三丁目） 電話二四九八
醫學士 瀨戸潔
（診察時間 九時）

內科 小兒科 ヂアテルミー科 入院隨意
京城府明治町二丁目（本町江戸川横より入る） 電話三七八番
中島醫院 院主 中島貞信

強壯、補血、興奮、保溫、鎭痛、鎭咳、健胃、利尿、緩和、發汗、收斂等ノ諸治的效力ヲ有スルヲ以テ
特約大販賣店 京城日報社代理部 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番

李太王殿御納品 下嘉品
品質撰擇
本品ハ純良白蔘ヲ原料トシテ精製セルヲ以テ金褐色（紅蔘ト同色）ニシテ粘著力強ク佳ナル雅味ヲ有シ、尾蔘ヲ原料トシテ速製セル暗黑色ニシテ苦味強ク臭氣ヲ有スル粗惡品ト同視スベカラズ。

小鳥捕用 カスミ網
極上絹糸製◎其他雁鴨兎網紙漉網等種々あり
吉備商會 京城永樂町二丁目

純良の藥品と賣藥が揃つて居ます
クラブ化粧品代理店ですから御値が御安いです
京城本町二丁目角 古城贊化堂 電話一〇二三

痔瘻專門
京城久枝肛門病院
京城明治町二丁目（本町より入る中央） 電話二一〇二番
內地旅行中の處歸城診察に從事す

商況

東京株式特電

[illegible]

東京現株中値

[illegible]

東京期米特電

[illegible]

大阪株式特電

[illegible]

大阪三品特電

[illegible]

大阪期米特電

[illegible]

下關期米特電

[illegible]

兵庫期米特電

[illegible]

雜報

●三品持合ひ　米棉二圓二十錢　綿布も七九物　十一圓二十錢

●織類逆戻り　復舊　昨年末の安値　デリ安

●鑛力板低落　約二圓方低落

●平板小弛む　三十錢安

●雜鑛類區々　錫は十圓安　肉ケル

●鮮白も昂騰　五十錢方　引締

漸次に縮少

●白綿小綴商狀

各地商況

○大邱米況

仁川正米　地摺玄米三十　五圓二十錢

生魚市場

仁川期米　▲五日前場（結局安保合）　九十五　十五　先三十七圓　錢安に寄付

●正米強持合　返り半田　約五圓方を引　下落一割五分方

調　デリ々強　辛く持合

支那粟反動安　新期入荷　十七圓七八　十錢見當

●白米は亂調　六七十錢高　安値四十一圓　四十三圓五十錢以下

市場雜觀

先〇七錢より

注文杜絶の有樣　的緊　定期に氣預

實米を賣繫ぎて十　呂盤が採り得る値　一度正米の賑追受・大暴落

仁川米豆取引所　五月の四日限

東京たより

●小口落止問題

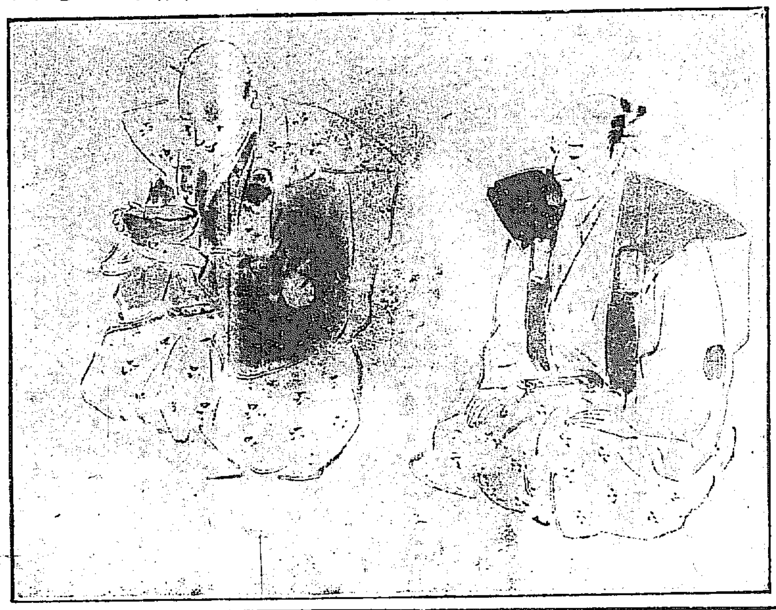
仁川米豆取引所仲買人　（志）仲買店

仁川米豆取引所仲買人　仁川海岸町三丁目　今村覺次郎

正米師の買物にて　釜山群山筋

卅六番角力　毛谷村六助

百三十五席　桃川桂玉口記　浪上義三郎速記



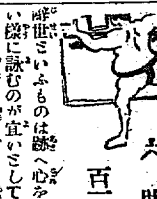
辭世といふものは跡へ心を遺さない樣に詠むのが宜いとしてございます、淺野内匠頭長矩侯が切腹の時に

風誘ふ花よりもなほ我はまた春の名殘りを如何にとやせん

是は何うやら跡へ心を遺した樣に思はれます、五右衛門の辭世は

石川や濱の眞砂は盡くるとも世に盜人の種は盡きまじ

是は近松門左衛門の作でございますが、全くは前申上げた如くに相違ございません、然し石川やの方が名高うございますが、是れに就て妙なお話がある、或る泥棒がお召捕れになつて死刑場へ引出され愈々首を斬られようとする時に



降介、前野丹波守の家人妙心寺へ入つて切腹をする、秀次公は三十六人の愛妾を悉く斬捨て屍骸を一ツに押て塚を立てましたのが、今に殘る畜生塚でございます、偖是といふのも仙石權兵衛秀久の働きによる處で、越前守と任官させ信州小室より仙石の出石へ國替となつて五萬八千石を給はりました、其他淀田、遠、青木、中島等へもそれ〜恩賞の沙汰がある、此の仙石越前守が四本柱の根形に着して檢查役を勤めました、偖又隣の柱に着して居りますのは大谷刑部少輔吉隆、是も名代の器量人、前名を平馬と云つて秀吉公の執り立を蒙つて越前敦賀に於て六萬石の諸侯となりました、秀吉公は此の吉隆を寵愛されたが、洵に不運な人で、後に大病に罹り盲目となり身體が段々崩れて來る、お役御免を願つたがお聞屆なき故に皮の袋を拵へてそれを冠つて勤めたといふ、一日茶會を催して秀吉公が茶碗を取つて廻し喫をさせた時に、吉隆が茶碗を取つて頂き一と口喫んで次へ廻す時に茶碗の中へ膿を滴した、次席に居た三成が厭いて喫ぬ譯には叶はぬ故、目をねむり思ひ切つてグツと喫む、其の心持の惡さ堪まらないもので無い、秀吉公お笑ひなすつて三成に對ひ『コリヤ三成、其方は吉隆の喫み殘した茶を喫むといふはあやかりもの、病氣は餘事であるが、器量と云ひ武勇と云ひ萬事吉隆にあやかれ』と仰せられたといふが實に吉隆は器量人でございました。

〇何うか私の云ふ通りお書きなすつて　役人宜しく〜　〇石川や濱の眞砂は盡くるとも、世に盜人の種は盡きまじ　役人「コレ〜待て、聞いた樣な辭世だ、ウーそれは石川五右衛門の辭世ではないか　〇左樣でございます　役人何だ他人の辭世を盜むのだ　〇ヘエ是が此の世の盜みじまひでございます』と云つたので役人も甚い奴だと云つて呆れたといふ話しがある、五右衛門は釜ケ淵と云つて地名が遺つて居る、新關白秀次公の名前を出さんといふのが五右衛門の見上げた處で、けれども天知る地知るの例への如く自然秀次公のお頼みといふ事が相判りました、京都聚樂の邸へ討手を差向けました、秀次公は大いに驚き高野山へ逃げ登つて院主を以てお詫をしたが、秀吉公のお肯き入れがなき故、遂に廿八歳を一期として自双いたしました、御付人の木村常陸介

十二月七日

▼九紫▲損益共淡き日と知るべし
▼一白▲思ひ遣りの甲斐のなき日
▼二黑▲福運に運遁ふ日なれば心
▼三碧▲花やかに沈著いて好機を捕捉すべし
▼四綠▲嬉しき日にして目下の者により立てらる
▼五黄▲福徳の舞込む日にして吉
▼六白▲得て骨折り損に終る日
▼七赤▲何うかする日
▼八白▲願つたり叶つたりの日

○清津と隱元豆

人參王

京城本町　電話一四八〇番　（ツ）津村兄弟商會

MITSUWA QUINA-IRON WINE

being prepared from the best materials after thoroughly scientific investigation, is absolutely free from all defects will be found in general tonics. It contains two powerful specifics: Quina and Iron, which we may affirm it without exaggerations, are the most efficacious remedies for regaining energy to persons of weak constitution, inappetence, poverty of the blood, nervous diseases and general debilities in the organism. The wine is greatly nourishing to all people, without exception, whose mode of life, both physical and intellectual. Mitsuwa Quina-Iron Wine is very delicious and agreeable to take and moreover, easy to be absorbed and assimilated.

Price ¥ 1.70

病者の食慾を催進して榮養を佳良ならしめ治病の完璧を期し回春の喜を迎へしむべき滋養强壯料

◎ミツワ規那鐵葡萄酒

定價一壜金壹圓七拾錢（内地以外は關税實費を加ふ）

香味色佳良滋養力偉大

健胃補血興奮作用卓絶

本品は山梨縣宮崎葡萄酒醸造所監製の天然葡萄酒を基礎とし、純良有効なる規那並に鐵を特殊の操作を以て配合し、周到なる用意の下に精製せるものなるが故に、容易に吸取する變ひなく、規那、鐵及葡萄酒の健胃、興奮、强壯等總ての効力を遺憾なく發揮し、天然の佳香、美味を具へ、食慾缺乏、榮養不良、慢性の發熱、貧血、萎黄病、貧血より起る神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、産後並に病後の衰弱、一般の虛弱等に際して適用すべき無比の滋養的飲料なり。

▼如斯人は强壯料◎ミツワ規那鐵葡萄酒を適用ふべし▲

MITSUWA GINSENG WINE.

Mitsuwa Ginseng Wine, being rich in the nutritive properties which build up vitality and strength is very delightful to taste and also remarkably wholesome and nourishing to the weak and sick. By means of the exclusive method the fresh juice of the grape and the efficacious Ginseng are mixed in a well-balanced combination. Then it is assimilated completely and transformed, with the least possible tax on digestion, into the elements of active capacity and power. Mitsuwa Ginseng Wine is especially effective to be applied in the following cases: Energy decline and low spirits, Nervous debility, Innutrition before and after delivery, Night spoil, Poor appetite, Indigestion, Poverty of Blood, Hysteria.

Price ¥ 1.80

健者の物質代謝を旺盛ならしめ疲勞を除き身體の强壯を圖り尚新活力を賦與し得べき模範强壯料

◎ミツワ人參葡萄酒

定價一壜金壹圓八拾錢（内地以外は關税實費を加ふ）

風味高潔滋和滋養豐富

元氣增進興奮作用優秀

本品は科學的研究を經て、効力卓絶なる人參を、周密の操作に依り、芳醇無比の葡萄酒に配合したるものにして、其の色は紫紅にして澄爽、其の香は芳芬にして淸爽、其の味は濃醇にして輕快、能く何人の嗜好にも適し、元氣を增進せしめ、榮養の佳良並に身體の强壯を圖し、精神の困憊並に筋骨の疲勞を除き、常健者に於ても滋力を賦與するに於いて他の物を以て代ふべからざる効果あり、本品は隨時隨處飲用すべく、一度沸騰したる水或は諸種の清涼飲料を以て稀釋するも可なり。

▼如斯人は强壯料◎ミツワ人參葡萄酒を用ふべし▲